

岩手県奥州市文化財調査報告書第二集

奥州市胆沢古文書資料集第二十七集

胆沢の古文書

若柳惣之町 阿部家文書解読編二三（土地その四）

奥州市教育委員会

発刊にあたって

「若柳の惣之町阿部家文書」解説編二三（土地その四）をお届けいたします。

「若柳の惣之町阿部家文書」は江戸時代後半に肝入を務めた旧若柳村の阿部家に伝わった文書群です。旧若柳村に関係する江戸時代後半から明治時代初期までの文書がまとまって残されており、地域の基礎情報となる重要な文書群であることから、奥州市指定文化財に指定されております。

今回の解説集は、これまで三冊にわたって解説してまいりました土地関係の続編となります。本冊には、田畑を担保とした借金や田畑の売買、耕作者不在となった田畑の管理に関する文書が多く含まれており、江戸時代の村方においてどのように田畑を管理していたのか、その一端を垣間見ることができます。これらの文書には、仙台藩直轄地（御蔵入地）と仙台藩士の知行地（御給人様前）が分けて記されており、仙台藩における地方支配の様相も窮い知ることができます。

古文書は貴重な歴史的遺産であり、解説され広く活用されることによってその価値が発揮できるものです。今後も多くの皆様が多様な活用をしていただけるよう、調査を続けてまいります。また、本冊からは岩手県奥州市文化財調査報告書の一部として解説集も位置付け、デジタルでの公開を行います。デジタル公開により、より多くの方に古文書を活用していただけるよう、環境を整えていく所存です。

最後に、胆沢古文書研究会の皆様のご長年にわたるご苦勞への深甚なる感謝と、更なるご尽力・ご協力をお願い申し上げます。

令和八年二月二十七日

奥州市教育委員会 教育長 高橋 勝

凡例

- 一、本書は、「若柳惣之町阿部家文書解読編二三―土地その四」です。対象は、解読編二二に次いで《土地》に分類されるものです。
- 二、これまでと同様、目次及び本文に目録番号が付されています。『若柳惣之町阿部家文書目録』とあわせて活用願います。
- 三、解読文は、可能なかぎり原文に忠実に記載されています。しかし、明らかに書き直しのために抹消されている文字、文章などは解読を省略しました。
- 四、判読できなかった文字は□、 で示し、解読に不安のあるものは文字で記されています。明らかに誤字脱字と思われるものは、文字^{○の誤カ}・文字^{脱カ}と記しました。また、文章理解のために、異体字や当て字、読みの難解なものなどは、適宜ふりがな等を追加しています。
- 五、古文書特有の文字々〳より、お〳等、助詞尔〳に、而〳て、茂〳も、者〳は、江〳へ（え）やメ〳貫（かん）（「しめて」と本来の意味での使用もある）などはそのまま記載されています。「変体かな」は原文理解のために、奈王^{ニナワ}のように振り仮名を追加しています。
- 六、本書の中には、差別につながる語句や文章が含まれているかも知れません。しかし、当時の社会を理解するための基礎資料の提供という本資料集の性格に照らして、特別の点検を行なっていません。
- 七、本資料集の編集等については、元奥州市文化財保護調査員（胆沢地域担当）のご指導を、解読については、胆沢古文書研究会のご協力をいただいています。
- 七、本書の校正は、胆沢古文書研究会鈴木公男、佐々木いく子両氏に行なっていただきました。

| | | | |
|---------|--|------|-----|
| 目録番号四二二 | 地形分遜願申上候御事 | 掲載省略 | 93 |
| 目録番号四二三 | 地形分遜願申上候御事 | 掲載省略 | 93 |
| 目録番号四二四 | 地形分遜奉願候御事 | 掲載省略 | 93 |
| 目録番号四二五 | 乍恐地形永代遜渡候分 <small>等</small> 前願左 <small>二</small> 申上候 | 抄録 | 93 |
| 目録番号四二六 | 御蔵入本地 <small>并</small> 新田永代遜渡高老 <small>人</small> 調 | 掲載省略 | 94 |
| 目録番号四二七 | 〔地形分遜願（五通）〕 | | 94 |
| 目録番号四二八 | 乍恐奉願候御事（永代遜渡願） | | 100 |
| 目録番号四二九 | 〔地形遜渡願断片〕 | | 102 |
| 目録番号四三〇 | 地形分遜新御百姓願申上候御事 | | 102 |
| 目録番号四三一 | 〔地形分遜新御百姓願〕 | | 104 |
| 目録番号四三二 | 地形分遜新御百姓願申上候御事 | | 105 |
| 目録番号四三三 | 〔永代遜渡内証文断片〕 | | 107 |
| 目録番号四三四 | 高分前願 <small>并</small> 新代御百姓願 <small>控</small> 扣 | | 108 |
| 目録番号四三五 | 高分 <small>ケ</small> 願 <small>人</small> 前遜高調帳 | | 113 |
| 目録番号四二六 | 地形永代遜渡 <small>証</small> 證券 | | 116 |
| 目録番号四二七 | 地形永代遜渡證券 | | 116 |
| 目録番号四二八 | 地形永代遜渡證券（断片） | | 117 |
| 目録番号四二九 | 地形永代遜渡證券 | | 117 |

| | | | | | |
|---------|---|-------|---------|-------|-----|
| 目録番号四三〇 | 〔地形永代分遜願断片〕 | …………… | （明治貳年） | …………… | 118 |
| 目録番号四三一 | 奉願候田地賣買之事 ^{〃壳} | …………… | （明治十二年） | …………… | 119 |
| 目録番号四三二 | 奉願候田地賣買之事 | …………… | （明治十二年） | …………… | 119 |
| 目録番号四三三 | 乍恐奉願候御事〔永代分遜願〕 | …………… | （文久三年） | …………… | 120 |
| 目録番号四三四 | 上若柳散田前 ^江 代御百姓附 ^{〃付} 相成候分調 | …………… | （文久三年） | …………… | 122 |
| 目録番号四三五 | 上伊沢上若柳散田代御百姓付等 ^二 而散田片付調書上 | …………… | （文久三年） | …………… | 124 |
| 目録番号四三六 | 上若柳散田代御百姓付高人頭左 ^二 申上候 | …………… | （元治元年） | …………… | 126 |
| 目録番号四三七 | 〔持高 ^并 散田前高壺組調（断片）〕 | …………… | …………… | …………… | 128 |
| 目録番号四三八 | 〔年数散田片付調（断片）〕 | …………… | …………… | …………… | 131 |
| 目録番号四三九 | 上若柳散田片付代御百姓 ^并 年数持添地前願拾貳通控牒 ^{〃帳} | …………… | （文久三年） | …………… | 131 |
| 目録番号四四〇 | 地形遜り年季地之事 | …………… | （文久三年） | …………… | 146 |
| 目録番号四四一 | 地形年季質地 ^二 相渡証文之事 | …………… | （天保九年） | …………… | 146 |
| 目録番号四四二 | 地形年季質地 ^二 相渡証文之支 | …………… | （安政七年） | …………… | 147 |
| 目録番号四四三 | 地形年季質地 ^二 相渡証文之支 | …………… | （安政七年） | …………… | 148 |
| 目録番号四四四 | 地形年季質地 ^二 相渡証文之事 | …………… | （安政六年） | …………… | 149 |
| 目録番号四四五 | 地形年季質地 ^二 相渡証文之支 | …………… | （安政六年） | …………… | 149 |
| 目録番号四四六 | 〔年季質地控（断片）〕 | …………… | （安政六年） | …………… | 150 |
| 目録番号四四七 | 地形年季質地 ^二 相渡証文之事 | …………… | （安政六年） | …………… | 150 |

明治四 未ノ年分

田畑 彦人前高調牒^{II帳}

十二月 村長方

(注一) 貫文について—これまでと同様、○メ○文と表記する。
(注二) 参考の為に、(注)として「明治二年下若柳高人数名歳御改帳」と照合する。

専左衛門組

高田代九メ五百拾八文 丈左衛門

三メ六百式拾弍文 保助

式メ七百八拾八文 保治

式メ式百五拾八文 専左衛門

壹メ式百九拾四文 慶助

五百文 源太郎分 丈左衛門

百三拾壹文 長三郎分 同人

四百拾七文 与藏分 同人

式百五拾五文 大吉分 同人

三百八拾五文 種藏分 同人

式拾壹メ百四拾八文 丈左衛門

(注) 屋敷名[㊦]と略す。

高四メ四百六拾七文 惣之町[㊦]屋

高三メ六拾三文 惣之町[㊦]屋

高壹メ八拾八文外 前惣之町[㊦]屋

高式メ式百七拾三文 上若木[㊦]屋

高壹メ百四拾三文 筑後[㊦]屋

拾五文 五右衛門分 丈左衛門

式拾五文 留藏分 同人

八拾四文 吉三郎分 同人

三拾五文 六拾九文 慶助 専左衛門

八百五拾六文

幸吉組

高田代式メ拾四文 幸吉

式メ六百八拾文 良吉

壹メ百弍拾九文 米太郎

式メ八拾五文 与四松

壹メ七拾六文 勘之助

八メ九百八拾四文

高畑代 七拾七文 米太郎

式百四拾壹文 良吉

百七拾三文 幸吉

百拾六文 与四松

権十郎組

高田代壹メ五百四拾九文 同人

壹メ四百三拾三文 善作

高式メ六拾九文 上ノ町[㊦]屋

高壹メ九百五拾八文 福田[㊦]屋

高式メ四百六拾弍文 宮田[㊦]屋

高壹メ七百弍拾四文 中田[㊦]屋

高壹メ六百弍拾九文 若木[㊦]屋

高畑代 七拾七文 米太郎

式百四拾壹文 良吉

百七拾三文 幸吉

百拾六文 与四松

高田代 七拾七文 米太郎

式百四拾壹文 良吉

百七拾三文 幸吉

新[㊦]屋

〃 八百八拾四文 源太郎

高巻ノ九百九拾七文

竹の内屋

〃 巻ノ五百九拾弐文 甚助

高巻ノ七百分

只原

〃 七百八拾三文 民治

善作

〃 貳百六拾文 米太郎分

直右衛門

新里村今入作

〃 百四拾巻文

三右衛門

〃

〃 六ノ九百七拾七文

権十郎

〃 高畑代 百三拾弐文

甚助

〃 百八文

善作

〃 三拾文

源太郎

〃 百三拾文

善七

入作カ

〃 四百拾六文

忠太夫組

高田代巻ノ弐百七拾文

同人

高巻ノ百九拾六文

柿木屋

〃 巻ノ六百五拾七文 富治

富治

高巻ノ九百五拾八文

松原屋

〃 巻ノ七百七拾巻文 六左衛門

六左衛門

高巻ノ九百弐拾巻文

柳林屋

〃 巻ノ貳百七拾三文 七郎治

七郎治

高巻ノ三百六拾六文外

柳林屋

〃 九百六拾巻文 久右衛門

久右衛門

高巻ノ百九拾五文

荒町屋

〃 八拾八文 留藏分

〃 四百四拾巻文

〃 五百九拾九文

〃 貳百弐拾六文

富治

新五郎

専左衛門

権七

新里村今入作

〃

〃

〃 八ノ貳百八拾四文

高畑代 百四拾四文

〃 貳百三拾四文

〃 三百弐拾七文

〃 百七拾三文内五文金右衛門分

〃 八文

〃 貳拾文

〃 九拾三文

忠太夫 久右衛門

富治

新五郎

権七

七郎治

〃 九百九拾九文

源右衛門組

高田代巻ノ六百四拾七文

同人

高巻ノ三百拾四文

甘草屋

〃 巻ノ貳百五拾八文

孫三郎

高巻ノ五百八拾五文

松原屋

〃 巻ノ七拾五文

種吉

高巻ノ百五拾七文

中野屋

〃 七百弐拾四文

圓藏

高巻ノ貳百弐拾四文

館屋

〃 巻ノ六拾巻文

五右衛門

高五百五拾巻文

四反町屋

〃 貳百五拾文

〃 五百文

〃 五百拾四文

〃 百拾八文

〃 百九拾四文

圓藏分

同人分

源右衛門

宇三郎

五郎助

宇三郎

五郎助

新里今入作

〃 七ノ三百四拾巻文

高畑代六拾三文

〃 貳百弐拾六文

〃 四拾三文

〃 六拾巻文

〃 百拾六文

〃 百九拾四文

源右衛門

孫三郎

五右衛門

圓藏

種吉

五郎助

伊惣治分 一拾五文 権之丞分

内十八文

健左衛門組

高田代 壹ノ八百九文 同人

〃 六百七拾文 弁治

〃 壹ノ貳百貳拾七文 清五郎

〃 五百六拾四文 養作

〃 七百貳拾文 喜代^{脱カ}之進

〃 八拾六文 留藏分 健左衛門

〃 四ノ三百五拾六文

高畑代 三百五拾貳文 健左衛門

〃 百四拾六文 弁治

〃 拾九文 清五郎

〃 百貳拾六文 用作

〃 百拾四文 喜代之進

〃 七百五拾七文

高田代 壹ノ七百七拾三文 同人

〃 壹ノ五百五拾五文 庄助^{正しも}

〃 壹ノ文 金藏

〃 壹ノ百七拾壹文 圓助^{貞之助とも}

〃 壹ノ貳百三拾壹文 勇治

〃 九百拾四文 金之丞分 庄助

〃 七ノ六百四拾四文

新百姓 元留守家士

〃 〃

高畑ノ貳百四拾六文 揚場^屋

新百姓 元留守家士

出自不明、元武士力。幅ノ下^屋

高八百七拾五文

明治二年西田^屋

明治四年東大立目^屋

高畑ノ三百貳拾文 揚場^屋

高畑ノ貳百貳拾四文 田子^屋

高畑ノ百九拾四文外 亀田^屋

高畑ノ四百八拾文 大立目^屋

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

高畑代 百五拾八文

〃 九拾四文 勇吉

〃 貳百貳拾六文 圓助

〃 貳百五拾五文 庄助

〃 〃 勇治

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

高畑代 百五拾八文

〃 九拾四文

〃 貳百貳拾六文

〃 貳百五拾五文

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

高田代 壹ノ七百八拾七文 同人

〃 壹ノ拾四文 慶治

〃 四百三文 庄太

〃 三百四拾七文 米太郎分

〃 百七文 久七分

〃 三百貳拾四文 庄太分

高畑代 百八拾文 貞藏

〃 百六拾六文 慶治

〃 五文 東作分

〃 四拾四文 同人

〃 〃 庄太

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

貞藏組

高田代 壹ノ七百八拾七文 同人

〃 壹ノ拾四文 慶治

〃 四百三文 庄太

〃 三百四拾七文 米太郎分

〃 百七文 久七分

〃 三百貳拾四文 庄太分

高畑代 百八拾文 貞藏

〃 百六拾六文 慶治

〃 五文 東作分

〃 四拾四文 同人

〃 〃 庄太

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

高畑ノ八百拾三文外 関^屋

高九百六拾文 西田^屋

高畑ノ四百拾六文 田尻^屋

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〳 拾六文

米吉

〳 貳百四拾九文

元よし

高外

新左衛門
新地分

茂吉組

高田代八百拾八文

同人

高九百七拾五文

間田木屋[㊦]

〳 六百九拾五文

留三郎

高老ノ五百七拾貳文外

東田元[㊦]

〳 貳ノ九百三拾三文

今朝吉

高貳ノ三百五文

二ツ[㊦]

〳 壹ノ三百四拾貳文

大吉

高老ノ五百六拾六文

柳ノ町[㊦]

〳 壹ノ拾五文

東作

高老ノ八百壹文

上ノ町[㊦]

〳 六ノ八百三文

高畑代百五拾七文

茂吉

留五郎

大吉

〳 百八拾四文

今朝吉

東作

〳 貳百八拾五文

今朝吉

東作

〳 七百五拾貳文

与一組

高田代老ノ百貳拾文

同人

高老ノ四百三拾三文

田元[㊦]

〳 貳百八拾文

龜叅[㊦]

長叅

〳 壹ノ四百拾四文

長叅

高老ノ四百貳拾文

道場[㊦]

〳 壹ノ三百九拾九文

清助

高老ノ四百三拾貳文

田元[㊦]

〳 壹ノ四百七拾八文

弁蔵

高老ノ五百三拾貳文

錢倉[㊦]

〳 七百九文

勇作

高七百四文外

北錢倉[㊦]

〳 六ノ四百文

高畑代五拾四文

与一

長叅

清助

〳 三拾九文

弁蔵

勇作

〳 五拾四文

義兵衛

入作力

〳 百六拾七文

義兵衛

〳 貳拾四文

入作力

〳 三百五拾四文

喜左衛門組

明治七年書上(㊦三八一)によれば立石野[㊦]の可能性有。高九百九拾四文。与茂吉息子力。下田中[㊦]

高田代老ノ六百拾三文

同人

伊与吉

高老ノ百五拾九文外

〳 八百九拾八文

与右衛門

上田中[㊦]

〳 七百五拾九文

栄蔵

高貳ノ三百六拾四文

〳 貳ノ五百五拾壹文

栄蔵

橋本[㊦]

〳 五ノ五百貳拾壹文

高畑代三百四拾文

喜左衛門
与右衛門

〳 三百三拾文

〳 百七文

〳 四百七拾八文

〳 四拾貳文

〳 壹ノ三百九拾七文

清作

〳 今朝之丞組

高田代老ノ四百八拾六文

同人

高八百七文

河前[㊦]

〳 五百貳拾貳文

種蔵

高老ノ七百九拾九文

堰袋[㊦]

〳 五百貳拾貳文

種蔵

高老ノ七百九拾九文

堰袋[㊦]

〃 五文
〃 百拾八文
〃 百拾七文
〃 八拾七文
〃 式百拾文
〃 百文
〃 四拾六文
〃 三百拾八文
〃 式百六文
〃 百五拾文

今朝之丞
甚之丞
弥平治
留吉

高七百九拾五文
高老ノ四拾七文
高式百壹文
野山田^〇
野山田^〇

〃 四ノ六百九文

今朝之丞
種藏
善十郎
寅藏
作太郎
萬四郎
留吉
平治
今朝之允
庄左衛門

高畑代百八拾壹文
高ノ式百八拾七文
高ノ式百拾文
高ノ式拾七文
高ノ式拾七文
高ノ式百三拾式文
高ノ式百三拾式文
高ノ式百五拾文
高ノ八文
高ノ四拾文
高ノ四拾文

高式百拾文
高式百拾文
高式百拾文
高式百拾文
高式百拾文
高式百拾文
高式百拾文
高式百拾文
高式百拾文
高式百拾文

〃 式百拾文
〃 百文
〃 四拾六文
〃 三百拾八文
〃 式百六文
〃 百五拾文

〃 式百拾文
〃 百文
〃 四拾六文
〃 三百拾八文
〃 式百六文
〃 百五拾文

徳兵衛組

〃 式百拾文
〃 百文
〃 四拾六文
〃 三百拾八文
〃 式百六文
〃 百五拾文

〃 式百拾文
〃 百文
〃 四拾六文
〃 三百拾八文
〃 式百六文
〃 百五拾文

〃 式百拾文
〃 百文
〃 四拾六文
〃 三百拾八文
〃 式百六文
〃 百五拾文

〃 式百拾文
〃 百文
〃 四拾六文
〃 三百拾八文
〃 式百六文
〃 百五拾文

高畑代百拾六文
〃 三百三拾壹文
〃 百式拾文
徳兵衛
彦四郎
善左衛門

〃 五百六拾七文

弥治右衛門組

高畑代八百七拾九文
〃 式百四拾四文
〃 六拾九文
〃 九百式拾文
〃 七百式拾九文
〃 式百拾文
〃 式ノ六百五拾壹文
高畑代四百四拾五文
〃 七拾五文
〃 百七拾文
〃 式百三拾四文
〃 式百三拾式文

高六百式拾五文外
高四百七拾壹文
高八百八拾四文外
高九百四拾四文
高九百四拾四文
高九百四拾四文

弥七
松太郎
松太
松太
松太
松太
松太
松太
松太
松太

弥七
松太郎
松太
松太
松太
松太
松太
松太
松太
松太

弥七
松太郎
松太
松太
松太
松太
松太
松太
松太
松太

弥七
松太郎
松太
松太
松太
松太
松太
松太
松太
松太

弥七
松太郎
松太
松太
松太
松太
松太
松太
松太
松太

弥七
松太郎
松太
松太
松太
松太
松太
松太
松太
松太

巻紙

高田代百拾五ノ六百三文
高田代百拾五ノ六百三文

〃 百七拾八文

外

今朝之丞

甚之丞

弥平治

留吉

今朝之丞

文三郎

萬四郎

今朝之丞

留吉

善十郎

今朝之丞

種藏

善十郎

寅藏

作太郎

萬四郎

留吉

平治

今朝之允

庄左衛門

同人

彦四郎

善左衛門

〃 三百六拾三文

高五百三文外

高老ノ五百拾三文外

明治二年人数帳には無記載。新百姓

徳兵衛
彦四郎
善左衛門

大歩^〇

滝ノ上^〇

金人道^〇

高畑代三拾八文 茶畑

七拾貳文 婦農屋敷高入

合百貳拾七メ八百九拾壹文

田代百拾五メ六百三文

畑代式メ貳百八拾八文

高百拾七メ六百五拾七文
内百九メ貳百八拾四文
百姓前

注③参考の為、明治二年人数帳に記載され、本文無記載の屋敷名と明治五年以後の消長を記して置く。

前惣之町[㊦]清作——出店地域（上若柳）に転出か。

上田中[㊦]東 作——不詳。

迎田[㊦] 富四郎——不詳。明治五年及川慶藏家として出現するが後転出か。

目録番号三八七

(注一) 面積の単位は、丁・セは町・畝とせずそのままとする。

(注二) 標題に九十枚とある通り長文のため、抄録とする。選択は任意。

(注三) 明治五年戸籍法による番戸制が始まっているが、可能な限り屋敷名を補記する。

(注四) 本文書は、大きく三段階の修正が刻印されている。

第一段階「老番」九百四拾七番と付された原文作成の段階。

第二段階「新田その他を削除し、新たに老番」八百三番を付け直した段階。

本報告は、この段階を翻刻。但し、新田は明瞭だが、その他は不明瞭。

第三段階「朱筆による加筆訂正の段階」本報告はこれを翻刻。

(例) 中——中を朱線で削除し、下段に訂正文字下を記したもの。

| |
|---|
| <p>明治六[㊦]癸酉年 副戸長 阿[㊦]保助</p> <p>第十四大区[㊦]小貳區ノ内下若柳[㊦]反別毛[㊦]帳[㊦]</p> <p>紙数蓋共九拾也 戸長 阿部丈左衛門</p> |
|---|

陸中國[㊦]上膽澤郡下若柳

反別百三拾四町壹反三畝拾歩

内譯[㊦]

畑反別四拾五町七反七七三七歩

田反別八拾八丁三反六七七歩

反別八七式拾四歩 年々引

反別三丁三反四七拾五歩 連々引

小[㊦]以反別三丁四反三七九歩

残反別八拾四丁九反式七式拾八歩

北小味

阿部丈左衛門

(補) 惣之町[㊦]

老番 沢田

下田

九畝式拾壹歩

下

此高壺石七斗

内見下毛

貳番 式反式畝歩

中

同 貳番 中田

此高式石七斗七升

内見中毛

壹反五畝式拾歩

上

三番
同

此高式石七斗三升

内見上毛

三反壹畝八歩

中

四番
東田

此高四石六斗九升

(略)

式反六歩

川かわばた

此高式石式斗式升

筆六畝拾壹歩 當地損引
朱此高七升

残壹反三畝廿五歩 下

(略)

三畝歩

皆

此高四斗五升

(略)

阿部保助

三畝式拾四歩

朱筆物之町分

此高四斗式升

中

壹反六歩

朱筆

此高壹石五斗三升

中下

式拾四番
石田
上田

式拾九番
道者多
下々田

壹反三畝拾歩

朱筆慶生野分

此高壹石六升

下

(略)

みちばた

朱筆「思い当る地名は「けしよの」だが。

五拾番
水こし田

下田

三反五七七歩

居賀り

保治

朱筆「いがり」だとすれば、「猪狩」(元仙台藩士か)。

此高三石八斗八升

壹反九七拾八歩

朱筆

此高式石五斗五升

中下

内七セ式拾三歩 當荒引
此高壹石也

残壹反壹七廿五歩

五拾式番
道者多
上々田

壹七六歩

前惣ノ町分

五拾三番
せき下
上々田

壹反拾八歩

皆

慶助

(補)筑後屋

上々田

此高壹斗八升

朱筆元戸田分
上

五拾四番
シラカラタ
上々田

四七歩

(注)水沢真城に「字塩加羅」があるが、土質地形共通するものがあるのか。

此高六斗八升

中

(略)

壹反七七式拾式歩

保治

六拾三番
そり町

上田 此高式石六斗六升 朱筆 築後前

(略)

六拾五番 式反七七式拾三歩

下田 此高三石五升

朱筆 一式反三七廿三歩 下
一四七歩 皆

六拾六番 式反歩

上田 此高三石

專左衛門 (補) 上若木屋

(略)

七拾六番 六七拾式歩

中田 此高八斗三升

七拾七番 壹反八七式拾七歩

下田 此高式石八升

七拾八番 拾歩

下田 此高四升也

勘之助 (補) 若木屋

皆

七拾九番 式反拾式歩 川者多

上田 此高三石六升

一壹反四七拾式歩 中
一六七歩 下

八拾番 拾式歩 丈左衛門 せき者多

上田 此高六升 中

(略)

八拾貳番 九七拾歩 東田 保治

上々田 此高壹石五斗九升 朱筆 若木上屋敷分 中下

(略)

八拾四番 拾歩 川具ほ 藤作 東作とも (補) 上ノ町屋

下々田 此高三升 皆

八拾五番 壹反式拾歩

下田 此高壹石壹斗七升 中下

(略)

八拾八番 壹反拾式歩 中下 幸吉 (補) 上ノ町屋

中田 此高壹石三斗五升

八拾九番 式反七七拾五歩

上田 此高四石壹斗三升 中

(略)

九拾四番 四七式拾五歩 与四松 (補) 中田屋

中田 此高六斗三升 皆

九拾五番 拾八歩 本屋敷

下田 此高七升 皆

九拾六番
東田

忝反四七歩

此高忝石三斗八升 中

(略)

百番
屋敷添

七七歩

此高忝石五升

東作^{虎吉}

(補)上ノ町^{虎吉}
息子虎吉に代替わり

上

百忝番
東田

忝反七七五歩

此高忝石忝斗三升

中

百忝番
東町

三七歩

此高忝石五升

中下

(略)

百四番
東町

忝七五歩

此高忝斗八升

幸吉

(略)

百六番
東町

忝反三七拾歩

此高忝石五斗七升

一忝反歩
一忝反三七拾歩

元与し

中上

百八番
道者多

忝七拾四歩

此高忝斗七升

下

甚助

(補)只^{虎吉}

百九番
道者多

忝反忝七八歩

此高三石忝斗九升

中

百拾番
道者多

忝反五七九歩

此高忝石九斗九升

下

(略)

百拾三番
川者多

三七八反

此高三斗六升

上

与四松

百拾四番
川者多

七七十九歩

此高忝石忝斗五升

上

百拾五番
西田

四七忝拾四歩

此高六斗忝升

中

(略)

百忝拾四番
く榎そへ^ね

忝七拾九歩

此高忝斗五升

皆

甚助

(略)

百三拾忝番
川かけ

忝反七七拾五歩

此高忝石六斗三升

中下

亀井民治

(補)『屋号調』
によれば新
百姓中田^{虎吉}

百三拾忝番
川かけ

忝反九七拾八歩

此高忝石忝斗六升

中

下田

百三拾三番
川かけ 壹反九七式歩 下

中田 此高式石四斗八升

(略)

百三拾五番
川者多 壹反拾五歩 上 佐藤権十郎 (補) 酒丸屋

上々田 此高壹石七斗九升

百三拾六番
北田 式七拾式歩 中

下田 此高式斗六升

百三拾七番
北田 式反式拾歩 中

上田 此高三石壹斗

(略)

百四拾八番
畑下 拾九歩 皆 伊藤富吉 (補) 酒丸屋

下田 此高七升

百四拾九番
そり多 壹反三七拾六歩 中 同人

上々田 此高式石三斗

内三七拾六歩 朱筆による抹消
無年貢引

此高六斗

百五拾番
せき者多 七七式歩 中 千田直右衛門 (補) 不明、入作カ

上田 此高壹石六升

百五拾壹番 式七式拾歩 下 同人

中田 此高三斗五升

百五拾貳番
川者多 式反三七四分 上 善作 (補) 新屋

中田 此高式石九斗九升

百五拾三番 五七式拾歩 皆 同人

上田 此高八斗五升

百五拾四番
石田 式反式七歩 上 同人

上々田 此高式石四升

百五拾九番
石田 八七拾四歩 上 三右衛門 (補) 新里より入作カ
上若柳から入作カ

上田 此高壹石式斗七升

百六拾番 壹反六七歩 同人

中田 此高式石八升

朱筆(一六七歩 中
一壹反歩 下

百六拾壹番
屋しき添 式七歩 皆 源太郎 (補) 竹ノ内屋

上田 此高三斗

百六拾貳番 式七式拾歩 皆 同人

中田 此高三斗五升

百六拾三番
高田 四反六七式歩 同人

中田 此高五石九斗九升

朱筆(一三八七歩 中
一八七歩 下

(略)

百六拾八番 壺反三七六歩 上 六左衛門 (補) 柳林[㊦]

上田 此高壺石九斗八升

百六拾九番 式七式拾四歩 上 同人

上々田 此高四斗八升

百七拾番 八歩 皆 同人

下々田 此高式升

(略)

百八拾番 六七拾歩 中 七郎治 (補) 柳林[㊦]

中田 此高八斗式升

百八拾壹番 式七三歩 中 同人

上田 此高三斗式升

百八拾貳番 七七拾五歩 皆 同人

中田 此高九斗八升

(略)

百九拾五番 式反四七廿五歩 中 新里村人作 重左衛門

中田 此高三石式斗三升

百九拾六番 式反壺歩 中 同人

下田 此高式石式斗

百九拾七番 七七歩 下 同人

下々田 此高五斗六升

百九拾八番 式反式七六歩 中 六左衛門

中田 此高式石八斗九升

(略)

式百壹番 式七拾歩 中 七郎治

下田 此高式斗九升

式百貳番 壺反六七廿七歩 下 良吉 (補) 福田[㊦]

下田 此高壺石八斗六升

式百三番 壺反四歩 下 同人

下田 此高壺石壺斗壺升

式百四番 式七歩 皆 同人

下田 此高式斗式升

式百七番 壺反式七式拾五歩 中 源太郎

下田 此高壺石四斗壺升

式百八番 式反壺七拾三歩 中 善作 朱筆竹ノ内前

下田 此高壺石式斗六升

(略)

式百拾番 五七六歩 皆 米太郎 (補) 宮田[㊦]

式百四拾八番 式反式拾五歩 上 同人

下田 此高式石式斗九升

(略)

式百五拾式番 川かけ 式反式七壺歩 上 茂吉

下田 此高壺石三斗式升

(補) 下田中屋

式百五拾三番 式反七七拾八歩 同人

上田 此高式石六斗四升 上

式百五拾四番 式反八七拾式歩 同人

中田 此高式石三斗九升 中

(略)

式百五拾六番 石田持添 式反式七廿八歩 中 今朝吉

(補) 二ツ屋

下田 此高壺石四斗三升

式百五拾七番 八七拾五歩 皆 同人

上田 此高壺石式斗八升

式百五拾八番 川ふち 式反六七壺歩 上 同人

上々田 此高式石七斗三升

(略)

式百六拾九番 ミのくち 式拾四歩 皆中 留五郎

(補) 東田元屋

下田 此高九升

式百七拾番 □田 七七拾歩 皆 同人

中田 此高九斗五升

式百七拾一番 式反壺七拾八歩 中 同人

下田 此高壺石式斗八升

(略)

式百七拾四番 道合 八七拾式歩 中 勇作

(補) 北錢倉屋

中田 此高壺石九升

式百七拾五番 道合 五七拾六歩 上 同人

下々田 此高四斗五升

式百七拾六番 石田 六七式拾四歩 中 清助

(補) 田元屋

下々田 此高五斗四升

式百七拾七番 七き者多 式反式七拾八歩 中 丈左衛門

朱筆—戸田分

下田 此高式石四斗九升

式百七拾八番 三反壺七廿八歩 中 同人 朱筆—戸田分

中田 此高四石壺斗五升

式百七拾九番 せき口 四七拾式歩 中 同人 朱筆—戸田分

本田

下田 此高四斗八升

式百八拾番 式百八拾九番 七七拾四歩 中下 同人 元戸田分

中田 此高九斗七升

式百八拾一番 川田 八七拾五歩 中 与市 (補) 田元[㊦]

上田 此高壺石式斗八升

式百八拾貳番 式反壺七廿壺歩 清助

下田 一壺反七廿壺歩 中
一四七歩 皆

式百八拾三番 道ノ下 壺反三七拾五歩 上 丈左衛門

上田 此高式石三升

(略)

式百九拾番 嶋川カリしまつか 八七式拾四歩 中 喜右衛門 (補) 新百姓、立石野[㊦]

下田 此高九斗七升

式百九拾一番 式反壺七式拾七歩 同人

中田 此高壺石五斗五升 上

式百九拾貳番 嶋川カ 七七式拾六歩 中 同人

上田 此高壺石壺斗八升

一式七廿六歩 中
一五七歩 皆

式百九拾三番 東田 四反式拾五歩 上 弁蔵 (補) 錢倉[㊦]

上田 此高六石壺斗三升

式百九拾四番 式反壺七六歩 中 同人

下田 此高六石七斗四升

式百九拾五番 かきノ内 三七式拾四歩 皆 同人

上々田 此高六斗四升

式百九拾六番 志川多^{||}しつた 九七式拾七歩 中 勇作

下田 此高壺石九升

(略)

三百一歩 せき者多 九七六歩 中下 弁蔵

中田 此高壺石壺升

三百三歩 式七歩 皆 同人

中田 此高式斗六升

三百三歩 そり田 式反九七三歩 中下 丈左衛門 大園分

上田 此高四石三斗七升

(略)

三百八歩 関者多^{||}せきはた 壺反壺七式拾歩 阿戸栄蔵 (補) 橋本[㊦]

上田 此高壺石七斗五升 中

三百拾番 道者多 壺七歩 同人 下 新田

下田 此高壺斗壺升

三百拾壺番 式七歩 小野寺伊与吉 (補) 下田中[㊦] 与茂吉から代替り

下田 此代^{高の誤り方}壺斗壺升

三百九歩 み奈口田^{||}みなくちた 壺反七七拾八歩 同人

上田 此高式石六斗四升

一 壹反式七拾八歩
一五七歩 皆 中

三百拾番 壹七式拾六歩 皆 同人

上々田 此高三斗式升

三百拾壹番 三七九歩 中 阿^{II}戸榮藏

三百拾貳番 北橋本 此高三斗六升

下田 八七拾六歩 皆 同人

三百拾参番 中田 此高壹石壹斗壹升
(略)

三百拾七番 まふ下 壹反九七式拾六歩 同人

下田 此高式石壹斗九升 上

三百拾八番 壹反六七式拾六歩 同人

中田 此高式石壹斗七升
内五七式歩 毎年地損引
此高六斗六升

(略) 残壹反壹七拾八歩 中

三百拾六番 石田 九七拾六歩 松平喜右衛門

上田 此高壹石四斗三升 上下

三百拾七番 北田 四七拾歩 皆 同人

下田 此高四斗八升

(略)

三百三拾壹番 そり田 七七拾五歩 朱筆

下田 此高八斗三升 松平与右衛門(補) 上田中^{III}

内六七式拾五歩 毎年地損引
此高七斗五升

残式拾歩 皆

三百三拾貳番 上田 壹反四七拾式歩 朱筆 同人

此高式石壹斗六升
内壹七拾歩 川欠

此高式斗 残壹反三七式歩 上

三百三拾参番 春奈多 六七式歩 中 同人

下田 此高六斗七升

三百三拾四番 下々田 六七拾八歩 上下 同人

此高五斗三升

(略)

三百三拾八番 下田 式七拾式歩 中 喜右衛門

七き者多 此高式斗六升

(略)

三百四拾五番 志をから田 六七拾式歩 下 同人

下田 此高七斗

(略)

三百四拾八番 川くち 四反五七式拾七歩 伊与吉

下田 此高五石五升

一 壹反八七歩 上
一 貳反七廿七歩 中

三百四拾九番 六七拾八歩 中 同人

中田 此高八斗六升 清助

三百五拾番 者し田 壹七歩 中

上田 此高壹斗五升

(略)

三百五拾三番 者し田 壹反壹七拾貳歩 与市

上々田 此高壹石九斗四升 上

三百五拾四番 そり田 貳反拾貳歩 中 同人

中田 此高貳石六斗五升

三百五拾五番 壹反六七歩 上 同人

上田 此高貳石四斗

(略)

三百五拾九番 ミ奈口田 貳七拾歩 皆 長松

下田 此高貳斗六升

三百六拾番 ミ奈口田 五七四歩 皆 同人

上田 此高七斗七升

三百六拾一番 塩から田 壹反貳七歩 中 同人

上田 此高壹石八升

(略)

三百六拾八番 あしろ田 貳反壹七拾八歩 中 大吉

中田 此高貳石八斗壹升

三百六拾九番 貳反八七歩 同人

下田 此高三石八升

一 貳反壹七歩 中
一 七七歩 下

三百七拾一番 シツタモチソエ 壹七拾六歩 皆 安治

中田 此高貳斗

下堰袋分(朱筆)

三百七拾貳番 七き者多持添 壹反拾貳歩 忠太夫

(補)柿ノ木屋

下田 此高壹石壹斗四升

一 六七歩 中
一 四七拾貳歩 下

三百七拾三番 志川田 〓しつた 三七九歩 同人

上田 此高五斗 皆

三百七拾四番 貳歩 同人

中田 此高壹升 皆

三百七拾五番 七き者多 三反壹七七歩 安治

下田 此高三石四斗四升

内九七三歩 當地損引
残貳反貳七四歩

一八七歩 中
一壺反四七四歩下

三百七拾六番 式反壺七式拾歩 久右衛門 (補) 荒町屋

せき合 中田 此高式石八斗式升 中

三百七拾七番 八七歩 中 貞藏 (補) 関屋

飛てり 〓〓 下々田 此高六斗四升

三百七拾八番 九七拾八歩 上 同人

〓〓 下田 此高壺石六斗

三百七拾九番 壺反式七拾八歩 同人

〓〓 下田 此高壺石三斗九升 上

(略)

三百八拾三番 式七拾歩 中 慶治 (補) 西田屋

く祢そへ 上々田 此高四斗

〓〓 三百八拾四番 九歩 皆 同人

上田 此高五升

三百八拾五番 式拾五歩 皆 同人

古やしきそへ 下々田 此高七升

三百八拾六番 壺反九七七八歩 下 庄太

川かけ 中田 此高式石五斗

三百八拾七番 壺反八七拾壺歩 同人

上田 此高式石七斗六升中下

三百八拾八番 四七六歩 皆 同人

清水田 〓これまでの例に従えば「しずた」と読むらしい。

下田 此高四斗六升

三百九拾一番 式七拾壺歩 皆 丈左衛門

川かけ 下田 此高式斗六升 中 田尻分

(略)

三百九拾五番 壺反九七六歩 与太郎 (補) 与太郎は不明。

志川田 〓しつた 上田 此高式石八斗八升 保助 田尻分 (朱筆)

朱筆 (一九七六歩) 中

三百九拾六番 壺反四七廿四歩 慶治

〓〓 中田 此高壺石九斗式升

朱筆 (一八七歩) 中

三百九拾七番 壺反五七廿五歩 良吉

とく田 下田 此高壺石七斗四升 田尻分 (朱筆)

朱筆 (一五七廿五歩) 中

三百九拾八番 三七六歩 皆 慶治

川者多 中田 此高四斗式升

(略)

四百式番
江下

拾貳步

皆 富治富

(補)松原松

下々田

此高三升

皆 武右衛門補新里より入作

四百三番
せきふち

貳七拾七步 中下

貞蔵

下田

此高貳斗八升

皆 同人

(略)

四百七番
川者多

三七貳拾貳步

中 富治

下々田

此高三斗

皆 同人

(略)

四百貳拾七番
外はり

貳拾七步

皆 米太郎新

下田

此高壹斗

皆 同人

四百貳拾番
せき合

六七貳拾八步

久右衛門

下田

此高七斗六升

皆 同人

(略)

四百貳拾貳番
道ノ上

壹反七拾貳步

忠太夫

下田

此高壹石九斗貳升

中 同人

(略)

四百貳拾五番
道ノ上

九七貳拾四步

上 久右衛門

下田

此高壹石八升

皆 同人

(略)

四百貳拾九番
大持橋だいちばし

貳拾貳步

皆 武右衛門補新里より入作

下々田

此高六升

皆 同人

四百三十番

四七步

皆 同人

下田

此高四斗四升

皆 同人

四百三拾壹番
道者多

壹反三七五步

下 孫三郎補松原松

下田

此高壹石四斗五升

皆 同人

四百三拾貳番
かんそう現在は、甘草と。

三反三七貳拾五步

皆 同人

中田

此高四石四斗

上 同人

四百三拾三番
道者多

壹七拾貳步

下 同人

下田

此高壹斗五升

皆 同人

(略)

四百三拾六番
道下

四七拾五步

中 五郎助補新里より入作

下々田

此高三斗六升

皆 同人

四百三拾七番
道ノ上

七七貳拾壹步

中 同人

下田

此高八斗五升

皆 同人

四百三拾八番
道者多

五七拾步

中 同人

上田

此高八斗

皆 同人

(略)

四百四拾番
南田持添

七七貳拾四步

中 忠太夫

下田 此高八斗六升

(略)

四百四拾貳番 三七歩 上 源右衛門 (補) 甘草屋

七きふち 上田 此高四斗五升

四百四拾三番 貳七貳拾四歩 上 同人

下田 此高三斗壹升

四百四拾四番 壹反四七三歩 中 同人

せきふち 下々田 此高壹石壹斗貳升

(略)

四百四拾六番 三七拾五歩 中 源右衛門

志川田^{||}しつた 下田 此高三斗八升

(略)

四百六拾番 九七貳歩 上 卯三郎 (補) 新里からの入作力

志ふた 中田 此高壹石壹斗八升

四百六拾壹番 貳七拾貳歩 中 皆 五郎助

谷地き王^{||}わ 下田 此高貳斗六升

(略)

四百六拾五番 壹七六歩 下 権七方 (補) 上若柳からの入作力

谷地 下田 此高貳斗三升

(略)

四百六拾八番 三反三七貳拾歩 種吉 (補) 中野屋

中野 下々田 此高貳石七斗

朱筆 一貳反三七廿歩 中 一壹反歩 下

四百六拾九番 壹反九七貳拾五歩 種吉

中野 下田 此高貳石壹斗八升 中

四百七拾番 四七四歩 同人

道者多 下田 此高四斗五升 皆

(略)

四百七拾貳番 貳七六歩 圓藏 (補) 館屋

道者多 上田 此高三斗三升 中

四百七拾三番 貳拾五文 同人

下田 此高九升 中

四百七拾四番 壹反貳拾貳文 同人

中田 此高壹石四斗 中

(略)

四百七拾六番 三反六七八歩 惣右衛門 (補) 小倉田屋

道下 下田 此高三石九斗九升 中

朱筆 一貳反九七三歩 中 一七七五歩 皆

四百七拾七番 九七式拾式歩 同人

下田 此高壺石七升 中下

四百七拾八番 壺七拾八歩 同人

上々田 此高式斗七升 中下

四百七拾九番 五七拾九歩 金之丞 (補) 地藏田^原

下々田 此高四斗五升 中下

四百八拾番 三七歩 圓藏 卯三郎

下田 此高三斗三升 中下

四百八拾壹番 壺反四七歩 中下 種吉

下田 此高壺石五斗四升 中下

四百八拾貳番 三七式拾九歩 与藏 (補) 要害^原

中田 此高五斗式升 上

四百八拾三番 壺反式七八歩 同人

上々田 此高式石九升 上

四百八拾四番 七七拾四歩 同人

中田 此高九斗七升 皆

(略)

四百九拾壹番 式反四七五歩 中 文書によつて「左」とも。五右衛門 (補) 四反町^原

上田 此高三石六斗三升

四百九拾貳番 壺七拾六歩 下 同人

下田 此高壺斗七升

四百九拾三番 式七七歩 中 同人

上々田 此高三斗八升

四百九拾九番 壺七歩 上 作右衛門 (補) 幅^原

上田 此高壺斗五升

五百番 三七式拾九歩 上 同人

下田 此高四斗四升 上 同人

五百壹番 拾式歩 上 同人

下田 此高四升

(略)

五百四番 式拾八歩 中 長三郎 (補) 小倉田^原

下田 此高壺斗

五百五番 式七式拾歩 皆 同人

下田 此高式斗九升

五百六番 壺反九七五歩 中 同人

下田 此高式石壺斗壺升

五百七番 壺反拾式歩 下 五右衛門

ぬ可り^{||}か

下田 此高壺石壺斗四升

(略)

五百九番 八七拾九歩 中 栄作

七き者多 下田 此高九斗五升

(補)野町^⑧

五百拾番 式七歩 皆 同人

大持者し 下田 此高式斗式升

五百拾壺番 九七拾六歩 上 同人

小倉田 下々田 此高七斗六升

五百拾式番 六七拾四歩 中 種吉

小倉田 下田 此高七斗壺升

(略)

五百拾四番 式反三七八歩 中 栄作

小倉田 下田 此高式石五斗六升

(略)

五百拾七番 壺七拾式歩 皆 忠太夫

大持橋 下田 此高壺斗五升

(略)

五百式拾番 七七歩 中 栄作

小倉田 中田 此高九斗壺升

(略)

五百式拾四番 五七四歩 中 長三郎

喜平作り 下々田 此高四斗壺升

五百廿五番 壺反五七式拾五歩 栄作

大持橋 下田 此高壺石七斗五升 中

(略)

五百三拾一番 壺七歩 下 長三郎

志川田^⑧ 中田 此高壺斗三升

(略)

五百三拾八番 八七式拾四歩 上 兵作

大持橋 下田 此高九斗七升

(補)野町^⑧

五百三拾九番 五七歩 皆 同人

同 下々田 此高四升

五百四拾番 壺七五歩 中 同人

小倉田 下田 此高壺斗三升

(略)

(補)幅^⑧、七四郎か
ら代替わり

五百四拾式番 壺七三歩 下 久七

小倉田 下々田 此高九升 中 同人

五百四拾三番 壺七拾七歩

中田 此高式斗

五百四拾四番 大持橋 壹反六七式拾五步 同人

下田 此高壹石八斗五升 中

(略)

五百四拾七番 小倉田 壹反式拾式步 四右衛門 (補)幅

下田 此高壹石壹斗八升

五百四拾八番 小倉田 六七拾五步 下 同人

下田 此高七斗式升

五百四拾九番 同 壹七拾式步 下 同人

中田 此高壹斗八升

五百五十番 大持橋 式反式七拾步 中 作右衛門

下田 此高式石四斗五升

(略)

五百六拾三番 野き王^{II}わ 壹七式拾式步 中 養助 (補)迎田[㊦]、用助と

下田 此高壹斗九升

五百六拾四番 同 壹反三七步 中下 同人

下々田 此高壹石四升

五百六拾五番 川ふち 壹反八七拾式步 同人

下田 此高式石式升 上

(略)

五百八拾壹番 川者多 五七拾步 上 四右衛門

下々田 此高四斗三升

(略)

六百三番 ぬかり 七七式拾步 中下 留蔵 (補)迎田[㊦]

中田 此高壹石

六百四番 中七き 四七八步 中 慶蔵

下田 此高四斗七升

六百五番 そり田 壹反五七式步 下 同人

下田 此高壹石六斗六升

六百六番 同 壹反四七拾六步 同人

中田 此高壹石八斗九升 中

(略)

六百七番 江者多 壹反九七三歩

下田 此高式石壹斗 留蔵

筆(一壹反壹七三歩 朱(一八七歩 皆 中

(略)

六百拾四番 江者多 式反五七六歩 中 丈左衛門 四右衛門

下田 此高式石七斗七升

(補)迎田[㊦]、明治二年の迎田[㊦]とは別家系らしい。

(略)

六百式十番 壹反三七九歩 中 金之丞

谷地持添 下田 此高壹石四斗六升

(略)

六百式十式番 壹反六七九歩 三郎左衛門(補) 元留守家土東
谷地 前谷地(略)

下田 此高壹石八斗
内式七三歩 毎年地損引
此高式斗三升

残壹反四七六歩 中

六百廿三番 四歩 中 同人

水押 下々田 此高壹升

六百廿四番 壹反歩 下 同人

江ふち 下田 此高壹石壹斗

(略)

六百式拾六番 式拾六歩 中 四右衛門

く称者多 上田 此高壹斗三升

六百廿七番 式七式拾七歩 皆 金蔵 (補) 田子(略)

沢田 下田 此高三斗式升

六百式拾八番 壹反五七式拾五歩 同人

石田 下田 此高壹石七斗四升 中

六百二十九番 壹反六七三歩 中 同人
道ノ下

下田 此高壹石七斗七升

六百三十番 五七式拾七歩 中 四右衛門

沢田 下田 此高六斗五升

六百三十壹番 壹反九七式拾式歩 三郎左衛門

水おし 下田 此高式石壹斗七升 中

六百三十式番 式反壹七拾四歩 金蔵

谷地下 下田 此高式石三斗六升 中

六百三十三番 式七歩 四右衛門

道ふち 中田 此高式斗六升 皆

六百三十四番 壹反五七拾四歩 金蔵

川ふち 中田 此高式石壹升 上

(略)

六百三十七番 六反九七拾壹歩 正助とも 庄助 (補) 揚場(略)、上場と

清水田 変体仮名しつにならえは「シミス」ではなく「シツ」と読むのである。 下々田 此高五石五斗五升 中

一五反四七拾壹歩 一壹反五七歩

六百三十八番 壹七拾九歩 貞之助 (補) 亀田(略)

同 下田 此高壹斗八升 皆

六百三十九番 六七拾九歩 同人

同 下々田 此高五斗六升 皆

六百四十番
ぬかり 壹反弍七拾八歩 同人

下々田 此高壹石壹升 中

六百四十壹番
前田 六弍弍拾四歩 庄助

中田 此高八斗八升 中

(略)

六百四十三番
前田 弍反拾六歩 貞之助

下田 此高弍石弍斗六升 上

(略)

六百四十六番
谷地持添 六弍弍拾歩 庄助

下田 此高七斗三升 下

(略)

六百五十番
川ふち 六弍弍拾歩 慶治

上田 此高壹石 中

六百五十壹番
同 壹反拾九歩 勇治
(補)大立目、元と

下田 此高壹石壹斗七升 中

六百五十弍番
久根合 壹反七弍拾四歩 同人

下田 此高壹石九斗六升 中

六百五十三番
川ふち 六弍拾五歩 同人

下々田 此高五斗弍升 下

(略)

六百五十九番
志川田 弍反七弍六歩 慶治

下田 此高弍石九斗八升 中

(略)

六百六十壹番
谷地中 壹反五弍弍拾歩 貞藏

下田 此高壹石七斗弍升 中下

(略)

六百六十三番
谷地き王 六弍拾五歩 丈左衛門
一本松南

下々田 此高五斗弍升 皆

(略)

六百六十五番
道ふち 壹反弍弍拾弍歩 清右衛門

此高壹石四斗

一六七歩 上
一六七廿弍歩 中

(略)

六百六十七番
道者多 壹反四七弍拾壹歩 勇吉

下田 此高壹石六斗弍升 中下
(補)明二年まで西田
移転て、東
大立目

六百六十八番
七き者多 弍反四七弍拾五歩 同人

中田 此高三石弍斗三升

一壹反九七廿五歩 中
一五七歩 皆

六百六十九番 式反五七式拾四歩 同人
上田 此高三石八斗七升 上

(略)

六百七十番 式反六七式拾六歩 権之丞 (補) 栗ノ木町屋

上田 此高式石四斗九升 中

六百七十三番 式七拾壹歩 弁治 (補) 元留守家士、西前谷地屋

上々田 此高式斗三升 下

六百七十四番 式反三七式拾三歩 惣右衛門
道下

中田 此高三石九升

朱筆

訂正 一 式反九七廿三歩 中
四七歩 皆
朱筆 一 三反五七拾壹歩 中
一四七歩 皆

川ふち 中田 式反五七式拾八歩 同人

此高式石三升 中

六百七拾五番 式七歩 三郎左衛門
南田

上田 此高三斗 下

(勇吉分七筆は、全て新田で番号が付されていないので省略)

六百七十六番 三反三七式歩 権之丞
南田

中田 此高四石三斗 中

(略)

六百七十八番 拾四歩 弁治
そりめ 下田 此高五升 皆

(略)

六百八拾三番 七七式歩 健左衛門 (補) 元留守家士
川者多

中田 此高九斗式升 皆

六百八十四番 式反五七式拾八歩 同人

下田 此高壹石七斗五升 中

六百八十五番 四七拾四歩 同人
志川いて

下田 此高四斗九升 下

(略)

六百九十番 壹反歩 金之丞
そりめ

下田 此高壹石壹斗 中

(略)

六百九拾五番 式反式拾歩 権之丞
塚田

下田 此高式石式斗七升 上

(略)

七百五番 三七八歩 勇吉
東田

下田 此高三斗六升 中

(略)

七百八番
屋敷そへ

五七歩

圓藏分卯三郎^四

上田

此高七斗五升

上

(略)

七百拾番
江者多

三反三七歩

圓藏

下田

此高三石六斗三升

中

(略)

七百十六番
志川田

壹反三七拾八歩

新五郎

(補) 新里より入作カ

上田

此高式石四升

中

筆一七七拾七歩
朱一六七壹歩 中皆

(略)

七百十八番
志川田

壹反六七式拾四歩

忠太夫

上田

此高式石五斗式升

中

七百十九番
谷地中

三七拾壹歩

源右衛門

下々田

此高式斗七升

中

七百貳拾番
志川田持添

七七式拾歩

貞之助

中田

此高八斗七升

中

(略)

七百廿貳番
七き合

壹反四七廿歩

慶治

下田

此高壹石六斗壹升

中

七百貳十三番
道ふち

壹七拾八歩

健左衛門

下田

此高壹斗八升

中

(略) これまでと同様に健左衛門分四件(七二四〜七二七
まで)

(略) 番号がない新田分五十五件分である。これまでの
(略)にも明記しなかったが、新田分が含まれている。

七百貳拾八番
セき者多

八七歩

大吉

中田

此高壹石四升

皆

(略) 番号が付されていない新田分三十三件である。

七百二十九番
鳴越

四七拾八歩

金右衛門(補) 野山田^屋

下田

此高五斗壹升

中

七百三十番
道下

七七歩

彦四郎 (補) 文書により彦五
郎とも。同一と
すれば柳田^屋

中田

此高九斗壹升

中

七百三十番
セき者多

九七式拾四歩

同人

下々田

此高七斗九升

下

七百三十番
木ノ下

八七式拾歩

同人

中田

此高壹石壹斗三升

中

(略)

七百四十番
谷地中

壹反四七式拾六歩

弥治右衛門(補) 大歩^屋

下田

此高壹石六斗四升

中

七百四十式番 九七拾六歩 弥平治 (補) 野山田^原

下田 此高壺石五升 中

七百四十三番 式七歩 谷地中 同人

下田 此高式斗式升 上

七百四十四番 壺反三七廿六歩 同人

下々田 此高壺石壺斗壺升 中

(略)

七百四十九番 七七拾歩 今朝之丞 (補) 川前^{河カ}

下々田 此高五斗九升 中

七百五十番 三反五七廿歩 同人

下々田 此高式石八斗五升 下

七百五十番 壺七六歩 徳兵衛 (補) 野山田^原

下々田 此高壺斗 下

七百五十式番 五七式拾式歩 同人

中田 此高七斗五升 下

七百五十三番 壺反拾式歩 同人

下田 此高壺石壺斗四升 中

(略)

七百五十五番 六七五歩 弥七 (補) 大歩^原

中田 此高八斗 中

七百五十六番 四七拾歩 甚之丞 (補) 堰袋^原

中田 此高五斗六升 中

七百五十七番 壺七六歩 同人

下田 此高壺斗三升 中

七百五十八番 三七式拾式歩 同人

下々田 此高三升 皆

七百五十九番 三七廿式歩 今朝之丞

下々田 此高三升 中

七百六十番 六七式拾四歩 甚之丞

下田 此高七斗五升 皆

(略)

七百六拾四番 九七歩 今朝之丞

下田 此高九斗九升 中

(略) 抹消分十四件と七百六十五番

七百六十六番 四七歩 種藏 (補) 堰袋^原

下々田 此高三斗式升 下

七百六拾七番 壺七四歩 同人

下々田 此高九升 下

(略)

七百七十式番 壹七式拾式歩
せき者多

甚之丞

下々田 此高壹斗三升

上

(略)

七百七十六番 壹反四七歩
ま□下 (注) ま□下のことか。

今朝之丞

中田 此高壹石八斗式升

上

(略)

七百七十九番 三七式拾七歩
道ノ下

種藏

下々田 此高三斗壹升

中

(略)

七百八十四番 壹反六七廿六歩
川原田

弥治右衛門

下々田 此高壹石三斗六升

上

(略)

七百八十六番 四七式拾七歩
川上

松太郎

(補) 滝ノ上[㊦]

下田 此高五斗四升
内四七拾壹歩 毎年地損引
此高四斗八升

残拾六歩

下

七百八十七番 拾五歩

同人

下々田 此高四升

下

七百八十八番 壹七式拾式歩

同人

下々田 此高壹斗壹升

中

七百八十九番 壹反三七六歩
川者多

弥治右衛門

下田 此高壹石四斗五升

内九七式拾式歩 毎年地損引
此高壹石七升

九七拾壹歩 川欠
此高式斗六升

残壹七三歩

中

七百九十番
く株合

式七六歩

同人

下田 此高式斗四升
内壹七廿七歩 毎年地損引
此高式斗壹升

中

七百九十壹番 残九歩
まふ下

式七拾四歩

万藏

(補) 金入道[㊦]、倉藏・栄藏とも。

上々田 此高四斗式升

上

七百九十式番 式反式七四歩
川者多

同人

下田 此高式石四斗四升
内式拾九歩 川欠
残式反壹七五歩
内八七廿四歩 川欠
此高九斗七升

残壹反三七拾歩

残 壹反三七拾歩

七百九拾三番 壹反五七拾式歩
川者多

同人

中田 此高式石
内八七廿四歩 川欠
此高壹石壹斗四升
残六七拾八歩

残六七拾八歩

皆

(略)

七百九十七番 壹反八七拾式歩 栄松 (補) 金入道^⑧

とう前 ^⑧堂前^⑧。金入道地域には由緒ある馬頭観音堂があった。
下田 此高式石式升 上

七百九十八番 四七拾歩 同人

欠ノ下 ^⑧がけの下^⑧。
上々田 此高七斗四升 皆

七百九十九番 壹反四七拾式歩 同人

上田 此高式石壹斗六升 中

八百番 壹反八七拾式歩 同人

下田 此高式石式升
^⑧内四七拾六歩 毎年荒引
此高五斗
式拾七歩 當荒引

八百壹番 残壹反式七廿九歩 中
式歩 同人

まふ下
上々田 此高壹升 皆

九百四拾七番 ^⑧第一段階の番号である。
川者多
下々田 壹七廿七歩 同人

此高壹斗五升 川欠

八百三番

川者多
田 式七式拾壹歩 弥治右衛門

皆無

右寄

⑧ 式三八歩 ^⑧町、以下同
拾八丁式反五七八歩 上毛

⑧ 四七
四拾壹丁七反四七拾式歩 中毛

⑧ 式三八
拾八丁三反壹七拾式歩 下毛

合毛付反別七拾八丁三反壹七拾歩

⑧ 七八 外
六丁六反壹七拾歩 皆無

右者 明治六年田方御

検見 二 付村役人田主立會 ^⑧会

内見仕候処書面之通り御座候

尤田每字番付内見認メ

候畝札 并 隣村境 江 葉竹

立置紛敷無之様仕候已上

右村
百姓代

高橋勇 治

明治六年

高橋勇 治

高畑代三拾五文

式口合式ノ百七拾三文

千田慶助

(補) 築後屋

高田代壹ノ四百七拾六文

高畑代七拾七文
内 三百四拾七文 慶治分入

式口合壹ノ五百五拾三文

龜為与四松

(補) 中田屋

高田代壹ノ式百九拾四文

高畑代式拾九文

式口合壹ノ三百式拾三文

壹紙

高九ノ九百五拾九文

田代九ノ六百九拾七文

畑代式百六拾式文

龜為井の音通カ、以下同ク幸吉

(補) 上ノ町屋

高田代式ノ拾四文

高畑代五拾五文

式口合式ノ六拾九文

阿刀良吉

(補) 福田屋

高田代式ノ六百八拾文

高畑代式百四拾壹文

式口合式ノ九百式拾壹文

千田米太郎

(補) 宮田屋

高田代壹ノ四百七拾六文

高畑代七拾七文
内 三百四拾七文 慶治分入

式口合壹ノ五百五拾三文

龜為与四松

(補) 中田屋

高田代式ノ八拾五文

高畑代百七拾三文

式口合式ノ式百五拾八文

佐々木勘之助
(補) 若木屋

高田代壹ノ七拾六文

高畑代百拾六文

式口合壹ノ百九拾六文
四文、大吉ノ入

壹紙

高九ノ六百五拾文

田代八ノ九百八拾四文

畑代六百六拾六文

残

佐藤権十郎

(補) 酒丸屋

高田代壹ノ五百四拾九文

高畑代百三拾式文
式百五拾文 源太郎分丈左衛門ノ入

三口合壹ノ九百三拾壹文

千田善作 (補) 新屋

高畑代拾三文

高田代壹ノ四百三拾三文

壹紙

高畑代三拾文

高六ノ四百五拾八文

三口合壹ノ四百六拾三文

田代六ノ三百四拾三文

高橋源太郎 (補) 竹ノ内屋

畑代三百七拾五文

高田代八百八拾四文

残

佐藤忠太 (補) 柿ノ木屋

高畑代九拾貳文

高田代壹ノ貳百七拾文

貳口合壹ノ拾四文

高畑代百四拾四文

佐藤甚助 (補) 只屋

貳口合壹ノ四百拾四文

高田代壹ノ五百九拾貳文

阿戸富治 (補) 松原屋

高畑代百八文

高田代壹ノ六百五拾七文

貳口合壹ノ七百文

高畑代三百拾九文

龜為民治 (補) 新百姓、中田屋

茶畑代貳拾文

高田代七百八拾三文

五口合壹ノ九拾文

千田直右衛門 (補) 新里ノ入作カ

外畑代貳拾文 留藏分年季 二入

高田代百四拾壹文

及川六左衛門 (補) 柳林屋

安戸三右衛門 (補) 新里ノ入作。

高田代壹ノ七百七拾壹文

高田代三百三拾五文

高畑代百六拾四文

喜七 (補) 不明

三口合壹ノ九百四拾文

千田七郎治 (補) 柳林[㊦]

高田代壹ノ貳百七拾三文

高畑代九拾三文

貳口合壹ノ三百六拾六文

及川久右衛門 (補) 荒町[㊦]

高田代九百六拾壹文

高畑代貳百三拾四文

貳口合壹ノ百九拾五文

村上新五郎 (補) 新里[㊦]入作

高田代四百四拾壹文

高畑代八文

貳口合四百四拾九文

村上重左衛門 (補) 新里[㊦]入作

高田代五百九拾九文

千田権七 (補) 上若柳[㊦]入作

高田代貳百貳拾六文

高畑代貳拾文

貳口合貳百四拾六文

亀為民助 (補) 前[㊦]、問屋 上
若柳[㊦]入作

高茶畑六文

壹紙

高九ノ三百貳拾五文 酉ノ七月改

田代八ノ貳百八拾四文

畑代壹ノ四拾壹文

残 高橋源右衛門 (補) 甘草[㊦]

高田代壹ノ六百四拾七文

高畑代六拾三文 貳百五拾文 圓藏分

三口合壹ノ九百六拾文

阿戸孫三郎 (補) 松原[㊦]

高田代壹ノ貳百五拾八文

高畑代貳百貳拾六文

高茶畑拾貳文 貳拾五文 甲ノ年ノ圓藏分入

三口合壹ノ五百貳拾壹文

高橋種吉 (補) 中野[㊦]

高田代壹ノ七拾五文

高畑代百拾六文

貳口合壹ノ百九拾壹文

高橋圓藏 (補) 館[㊦]

高田代巻ノ五拾七文

高畑代拾九文

式口合巻ノ九拾九文

千葉五右衛門(補) 四反町屋

高田代巻ノ六拾壹文

高田代 百九拾四文 甲ノ年ノ榮作分
高畑代四拾三文

三口合巻ノ式百九拾八文

千田卯三郎(補) 新里ノ入作

高田代百拾八文

百六拾七文 圓藏分永代
式口合式百八拾五文

千葉五郎助(補) 新里ノ入作

高田代五百拾四文

高畑代百四拾式文

式口合六百五拾六文

巻紙

高八ノ拾文

田代七ノ三百四拾壹文

畑代六百六拾九文

残

安戸作右衛門(補) 幅屋

高田代巻ノ八百五拾六文

式百五拾文 長三郎分
式百五拾文 久七分
式百五拾文 同人ノ入
式ノ六百六文

高畑代七拾四文

式口合式ノ六百八拾文

佐々木長三郎(補) 小倉田屋

高田代巻ノ七拾四文

百三拾壹文 甲ノ年ノ丈左衛門ノ入
高畑代拾六文

三口合巻ノ式百式拾壹文外拾文 年季 四右衛門ノ入

阿戸兵作(補) 野町屋

高田代四百拾九文

高畑代五拾式文

式口合四百七拾壹文

阿戸榮作(補) 野町屋

高田代九百九文

高畑代式文

式口合九百拾壹文

高橋久七(補) 幅屋

高田代五拾式文

高畑代五拾五文

式口合百七文

高畑代百九拾六文

高畑代 拾文 年季分 長三郎入

千田武右衛門 (補) 新里入作

式口合四入五文

高田代百五拾六文 榮作分

五拾文
式百六文

及川慶藏

(補) 迎田原
明治二年の富四郎家の跡に入つたのか。

高畑代五文

式口合式百拾壹文

高田代七百式拾四文
式百七拾壹文 酉作右衛門入返り

高畑代拾八文 甲ノ年入五郎助入
外四文 年季入左衛門入

千田長十郎 (補) 新里入作

外四文 年季健左衛門方入

高畑代拾九文

千田惣作 (補) 新里入作力

安戸養助

(補) 迎田原、用け養

高畑代式拾八文

壹紙

高畑代式拾式文

式口合壹入五百七拾九文

高五入六百四拾八文

及川留藏

(補) 迎田原

田代五入三百九拾七文

畑代式百五拾壹文

高田代八拾五文

高畑代八拾五文

高橋四右衛門 (補) 幅原

内式拾文 富治入
三文 勇吉入

高田代三入二百五文

式拾文 甲ノ年入久七入
百七拾壹文 留藏分

三百四拾三文 元留藏分丈左衛門入
三入七百九拾九文

式口合百七拾文

及川金之丞

(補) 地藏田原

高畑代九拾四文

沓紙

高六ノ八百四拾弍文

田代六ノ四百三拾弍文

畑代四百拾弍文

鈴木三郎左衛門(補) 元留守家士
前谷地[㊦]

高田代五百九拾弍文

高畑代七拾弍文

弍口合六百六拾八文

及川与藏(補) 要書[㊦]

高田代九百五拾弍文

高畑代五拾弍文

弍口合弍ノ四文

石川権之丞(補) 栗ノ木町[㊦]

高田代弍ノ四百七拾弍文

高畑代弍百四拾弍文

弍口合弍ノ七百弍拾弍文

安戸惣石衛門(補) 小倉田[㊦]

高田代弍ノ四拾弍文

高畑代百拾弍文

弍口合弍ノ百五拾八文

鈴木重兵衛(補) 元留守家士
古[㊦]

高田代五百九拾九文

高畑代四拾弍文

弍拾弍文午ノ御筭入廻地
三口合高六百七拾弍文

沓紙

高五ノ弍百弍拾弍文

田代四ノ六百六拾弍文

畑代五百五拾八文

米倉健左衛門(補) 元留守家士前谷
地[㊦]

高田代弍ノ八拾九文

高畑代三百五拾弍文

〃 三文 松藏分 酉ノ年々慶藏今入
〃 四文

三口合弍ノ五百三拾四文

飯倉弁治(補) 元留守家士前谷
地[㊦]

高田代六百七拾文

高畑代百四拾六文

弍口合八百拾六文

安戸清五郎(補) 揚場[㊦]

高田代壺ノ式百式拾七文

高畑代拾五文

式口合壺ノ式百四拾六文

吉田養作

(補) 元留守家士
二階[㊦]

高田代五百六拾四文

高畑代百式拾六文

式口合六百九拾文

高橋正馬

(補) 帰農武士らし
い。幅ノ下[㊦]、
不詳

高田代七百式拾文

高畑代百拾四文

式口合八百三拾四文

壺紙

高五ノ百式拾文

田代四ノ三百五拾六文

畑代七百六拾四文

高橋[㊦]庄の誤りか
大

(補) 「庄」だとすれば、
『屋号系調』とも照
合すると庄太夫(東
大立目[㊦]勇吉の息
子)と考えざるを得
ない。

高田代壺ノ七百七拾三文

高畑代百五拾八文

式口合壺ノ九百三拾文

安戸庄助
(補) 揚場[㊦]、庄正

高田代壺ノ五百五拾五文

高畑代式百式拾五文

三拾壺文 鈴木李之丞分入
三口合式ノ七百式拾五文

残式ノ六百五拾五文

阿戸金蔵

(補) 田子[㊦]

高田代壺ノ文

阿戸貞之介

(補) 亀田[㊦]、介助

高田代壺ノ百七拾壺文

高畑代九拾四文

式口合壺ノ式百六拾五文

残壺ノ百九拾三文

勇治

(補) 大立目[㊦]、もと
もと

高田代五百八拾三文

高畑代式百四拾七文

合高八百三拾文

壺紙

高七貫七百五拾壺文

内田代六ノ九百九拾六文
畑代七百五拾五文
百四拾式文 地損

残七ノ六百九文

貞藏

(補) 関屋

庄太

(補) 『屋号系譜調』とも照合するが田尻^⑧正太以外に該当しない。田尻^⑧と推測しておく。

高田代壹ノ七百八拾七文

高畑代百八拾文

高田代式百八拾式文
高畑代式拾四文

合高三百六文

合高壹ノ九百六拾七文

慶治

(補) 西田^⑧

高七貫拾文

高田代壹ノ拾四文

田代六ノ五百三十六文

畑代四百七拾四文

清右衛門

(補) 元留守家士津倉田^⑧

〃 六百四拾八文 勇治分
〃 七百文 米太郎分
〃 式百四拾八文 源太郎分
〃 八百九拾壹文 久七分
〃 百七文 永代分
〃 式拾三文 源太郎分
〃 三拾八文 庄太郎分
〃 式百八拾壹文 甲ノ年分
〃 式百四拾三文 源太郎

高畑代百七拾八文 丈左衛門分元蔵入并庄太米太郎分共

八文
三文 庄太分
五文 永 東作
拾四文 新田

式口合高三ノ八百八文

徳治

(補) 『屋号系譜調』の一八四番戸穴戸徳治(前田尻^⑧、出自不明)か。

高田代壹ノ百拾八文
高畑代拾六文
式口合壹ノ百三拾四文

米吉

(補) 角屋

高畑代式拾四文

合高九百式拾九文

壹紙

高式ノ式百九拾四文

田代式ノ三十壹文

畑代式百六拾三文

茂吉

(補) 間田木屋

高田代壹ノ拾四文

、畑代五拾文

式口合高壹ノ六拾五文

壹紙

高七ノ八百六文

高七ノ八百六文

田代七ノ五拾八文

畑代七百四拾八文

(補) 東田元屋

佐々木興市||与

(補) 田元屋

高田代六百九拾五文

高畑代七拾六文

式口合七百七拾壹文

今朝吉

(補) ニツ屋

高田代壹ノ百式拾文

高畑代五拾四文

式口合壹ノ百七拾四文

佐々木龜恠||松

(補) 不詳

高田代式ノ九百三拾三文

高畑代式百八拾五文

式口合高三ノ式百拾八文

大吉

(補) 柳ノ町屋

平長恠

(補) 道場屋

高田代壹ノ三百四拾式文

、式百五拾五文 丈左衛門ノ返り
、畑代百八拾文 勘之助へ入

式口合高壹ノ七百七拾七文

東作

(補) 上ノ町屋

高田代壹ノ四百拾四文

式口合壹ノ四百三拾文

平清助

(補) 田元屋

高田代壹ノ三百九拾九文

高畑代三拾九文

式口合壹ノ四百三拾八文

阿戸弁蔵

(補) 錢倉屋

高田代壹ノ四百七拾八文

高畑代五拾四文

式口合壹ノ五百三拾式文

佐藤勇作

(補) 北錢倉屋

高田代七百九文

高畑代百六拾七文

式口合八百七拾六文

義兵衛

(補) 義平とすれば、
新里今入作

高畑代式拾四文

壹紙

高六ノ七百五拾四文

田代六ノ四百文

畑代三百五十四文

平喜右衛門

(補) 新百姓、立石野屋
『屋号系譜調』によ
れば、喜右衛門の父
親は上田中屋東吉。
上記は明治四年以後
消息を断っており、
立石野屋創立と関係
するの。

高田代壹ノ六百拾三文

高畑代三百四拾文

式口合壹ノ九百五拾三文

式百五拾四文 地損

残壹ノ六百九十九文

内式百文 起返り

小野伊与吉

(補) 下田中屋、与茂
吉の息子

高田代八百九拾八文

高畑代百七文

式口合壹ノ五文

平与右衛門

(補) 上田中屋

高田代七百五拾九文

高畑代三百三拾文

式口合壹ノ八拾九文

一百四拾五文 地損
内百文 起返り

残九百四拾四文

阿戸栄蔵

(補) 橋本屋

高田代式ノ式百五拾壹文

高畑代四百七拾八文

式口合式ノ七百三拾九文

一六拾六文 地損 起返り
残式ノ六百七拾三文

高畑代四拾式文

壹紙

高六〇〇八百式拾八文

田代五〇〇五百式拾壹文
畑代壹〇〇三百七文

内四百六拾五文 地損

残高六〇〇三百六拾三文

高田代壹〇〇四百八拾六文

〃 百九拾三文 甲ノ年ノ種藏分

〃 式百拾文 同人分

〃 三百拾八文 甚之丞分

〃 式百七文

高畑代百八拾壹文

〃 八文 甚之丞分

惣〃 式百九拾六文

一四拾七文 地損

残式〃 三百四拾九文

高田代五百式拾式文

高畑代式百八拾七文

〃 八百九文

一三百六拾六文 地損

残四百四拾三文

阿戸清作

(補) この家族は、屋号前惣之町(註)のままで出店に転出し、明治五年の戸籍では、出店で登録されている。入作扱い。

阿戸今朝之丞

(補) 河前(註)

平種藏

(補) 堰袋(註)

阿戸甚之丞

(補) 堰袋(註)

高田代百拾八文

高畑代四拾文

〃 百五拾八文

一七拾壹文 倒目

残八拾七文

高田代壹〇〇四百七文

高畑代式百壹文

〃 五文 種藏分

〃 壹〇〇六百拾三文

一拾七文 [起返り] 地損

残壹〇〇五百九拾六文

高田代八拾七文

〃 式百六文 甚之丞分

〃 畑代拾式文 永代 庄(因)分

〃 畑代六拾七文 同人分

〃 五拾三文 新田分

内壹文 元〇〇 〇分

三口合四百式拾五文

高田代百文 種藏分

高田代百五拾文 甚之丞分

阿戸弥平治

(補) 野山田(註)

阿戸留吉

(補) 野山田(註)

文三郎

(補) 上若柳分野山田(註)であらうか。入作

善十郎

(補) 上若柳分野山田(註)であらうか。入作

長左衛門

(補) 上若柳鬼口(註)であらうか。入作

高畑代四拾文 甚之丞分

壹紙

高五ノ六百九拾壹文

田代四ノ七百九十七文

畑代八百九十四文

一五百壹文 地損

残高五ノ百九拾文

阿戸徳兵衛

(補) 野山田屋

高田代三百九拾九文

高畑代百拾六文

ノ五百拾五文

阿戸彦四郎

(補) 柳田屋、彦五郎
と彦四郎とが交
錯

高田代壹ノ四百三拾七文

高畑代三百三拾壹文

ノ壹ノ七百六拾八文

一百四拾文 地損

残壹ノ六百三拾八文

阿戸善左衛門

(補) 野山田屋

高田代壹ノ四百八拾壹文

高畑代百三拾文

ノ壹ノ六百壹文

一七拾文 起返ス

残壹ノ五百三拾壹文

地損

高田代五拾壹文

高畑代貳百三拾七文

ノ貳百七拾八文

壹紙

高四ノ百六拾貳文

田代三ノ三百六十八文

畑代七百九十四文

一貳百拾文 地損

残高三ノ九百五拾貳文

阿戸弥治右衛門

(補) 大歩屋

高田代四百七拾九文

ノ貳百拾文 種蔵分

ノ百九拾貳文 甲ノ年々同人分

高畑代四百四拾五文

ノ壹ノ三百三拾六文

二百四拾五文 起返ス

残九百八拾壹文

地損

阿戸弥七

(補) 大歩屋

高田代貳百四拾四文

高畑代七拾五文

貳口合三百拾九文

阿戸松太郎

(補) 滝ノ上屋

高田代六拾九文

高畑代百七拾文

式口合式百三拾九文

一三拾六文 起返ス 地損

残式百三文

高田代九百式拾文

高畑代百八拾四文

〃四拾文 甚之丞分

〃式百四拾四文

一〃式百五拾九文 地損

残八百八拾五文

高田代七百式拾九文

高畑代式百三拾式文

式口合九百六拾式文

一〃式百三拾七文 地損

残七百式拾四文

巻紙

高三〃九百八拾九文

田代式〃八百四拾三文

畑代式〃百四十六文

一〃八百七拾七文 地損

残高三〃百拾式文

総計

高百式拾九〃百七拾八文

田代百拾六〃八百三拾八文

畑代拾式〃三百四拾文

三貫九拾九文 色々引

七拾式文 倒目

三貫式拾八文 地損

残高百式拾六〃七拾九文

阿戸栄姿^{〃松}

(補) 金人道^{〃松}

阿戸栄蔵

(補) 金人道^{〃松}
文書により倉
蔵、萬蔵とも。

目録番号三八九

仮題〔上若柳本地商人前調〕掲載省略

作成年不明―紙背文書に文久四年、慶應二年の記載がある
るので、それ以後。

人頭名が同時期の下若柳分と不一致。『若柳屋号系譜調』
と照合するとかなり一致するので、上若柳分と推測する。

幕末の上若柳肝入として登場する民助・五四郎・巳ノ
五郎が入っており、帰農武士小幡正人の名が挙がってい
ることが傍証。

目録番号三九〇

仮題〔若柳村字毎反別調（部分）〕掲載省略

作成年月不明。何の反別かも不明。書上げられている字も上萩森から幅屋敷まで四十七字にとどまる。あぞ

一、壺石五斗八合

反別七丁五反三七拾四歩

但壺反歩^ニ付式升ツ、

一、四斗九升六合

反別式丁式反五七拾式歩

壺反歩^ニ付式升式合ツ、

壺石六斗銘ヨリ

壺石式斗銘マテ

目録番号三九一

仮題〔下若柳畑反別銘付壺人前調〕抄録

人頭名（戸主名）に帰農武士の名が書上げられているので、少なくとも明治三年以後作成の文書である。

一式反八歩

丈左衛門

一七七歩

清作

一四反壺七廿式歩

甚之丞

一式反五七拾四歩

留吉

一四反七七拾歩

金之丞

一壺反拾五歩

勇吉

一五七拾五歩

今朝吉

一五反拾九歩

留五郎

一三反三七九歩

大宮分丈左衛門

一式反四七歩

義平

一大豆拾壺石壺斗八升九合

反別三拾七丁六反式七拾七歩町、以下同じ 畝、以下同じ

但平均

一大豆九石壺斗八升五合内

反別式拾七丁八反三七拾壺歩

但壺反歩^ニ付三升三合

一四反四七四歩 弥平治

(略—以下、人頭(戸主)名のみ記載)

孫七、留藏、五右衛門、金右衛門、長三郎、榮作、種吉、
庄助、大吉、種藏、清助、弥治右衛門、弥平治、清助、
長恠、弥平治、米吉、種藏、与市、東吉、六左衛門、七
郎治、与右衛門

メ五丁式反式七三歩

(略—右二同)

保治、米太郎、良吉、忠太夫、貞藏、慶治、榮藏、与茂
吉、勇作、圓藏、五右衛門、庄助、良吉、田尻庄太、善
吉、久右衛門、慶治、榮藏、庄助、松太郎、善作

メ四丁六反五七拾八歩 壺石三斗銘

(略—右二同)

保治、榮藏、弥治右衛門、榮恠、倉藏、慶助、今朝吉、
勇吉、勇治、弥治右衛門、榮恠、倉藏、富治、慶治、
メ六丁五反式七七歩

(略—右二同)

保助、丈左衛門、彦四郎、

メ八反式七拾七歩 壺石六斗銘

(略—右二に同じ)

丈左衛門、与太郎、良吉、保治、源右衛門、与藏、孫四
郎、五右衛門、四右衛門、長三郎、勇吉、貞之助、庄助、
新五郎、長十郎—全件「地損引」と但し書
メ式丁式反六七拾五歩 壺石四斗三升銘分

(略—右二に同じ)

丈左衛門、同人、茂吉、久右衛門、種藏、幸吉、甚助、
作右衛門、兵作、武右衛門、忠太夫、弁藏、権十郎、権
之丞、源太郎、惣作、富治、六左衛門、慶治
メ五丁式反式七拾四歩 壺石式斗五升銘

壺紙

一式拾八丁四反九七拾七歩

一六反五七 引反別分

残式拾七丁八反四七拾七歩

内壺七歩 茶畑

壺石壺斗銘ヨリ

七斗銘マテ

(略—右二に同じ)

五右衛門、作右衛門、四右衛門、慶藏、久七

七斗銘

メ八反三七三步 壹石壹斗銘

(略―右ニ同じ)

九斗五升銘

今朝之丞、徳兵衛、丈左衛門、茂吉、丈左衛門、米太郎、

保治、貞藏、与四杵、善吉、権之丞、種吉、惣右衛門、

(略―右ニ同じ)

作右衛門、四右衛門、徳藏、弥七、留吉、今朝之丞

保治、東作、茂吉、与太郎、権七

メ四丁七歩

メ五反式七拾八歩

九斗銘

惣メ八丁五反五七拾歩

内壹丁壹七拾六歩 引高成ス

残七丁五反三七廿四歩

(略―右ニ同じ)

慶治、勇吉、

六斗三升銘ヨリ

メ七反五七拾歩

四斗銘マテ

(略―右ニ同じ)

八斗六升銘

良吉、富治、権之丞、四右衛門、五郎助、

(略―右ニ同じ)

メ壹丁三反式七歩 六斗三升銘

善吉、源右衛門、孫四郎、貞之助、庄助、五郎助、徳左

衛門

(略―右ニ同じ)

メ壹丁四反式七拾六歩 八斗六升銘

丈左衛門、与太郎、専左衛門、今朝吉、徳兵衛

メ九反三七式拾三步 四斗銘

式口合式丁式反五七式拾三歩

内拾壹歩 荒引

残式丁式反五七拾式歩

是 今新田

(略—右ニ同ジ)

丈左衛門、良吉、勘之助、四七、六左衛門、種吉、五郎助、作右衛門、兵作、久七、四右衛門、重兵衛、健左衛門、弁治、清五郎、用作、庄馬、庄助、貞之助、慶治、及川庄太、米吉、清右衛門、今朝吉、大吉、与三郎、長姿、清助、勇作、栄藏、喜右衛門、清作、今朝之丞、弥平治、留吉、徳兵衛、彦四郎、善左衛門、弥治右衛門、繁藏、
メ拾丁七反四七廿五歩

(別綴)

丈左衛門

三五
一畑式反八歩

元藏 壹石四斗銘分

二
一、式反六七拾九歩旧燻孫分 壹石六斗銘分

三五
一、壹反六七拾五歩旧藏分 壹石四斗三升銘

三五
一、四反五七六歩地損引 壹石式斗五升銘

二
一、三反三七九歩 大宮分 壹石四斗銘 大宮分

メ壹丁四反式七拾七歩

二
一、式反七七歩 藤沢分 七斗銘

二
一、三反式七拾九歩成田 四斗銘

合式丁式七六歩

一三反三七九歩 大宮分荒引

一壹反六七廿五歩 分地損引

メ五反四歩

残壹丁五反式七式歩

一九反式七拾六歩 壹反歩ニ付三升五合

一五反九七拾八歩 壹反歩ニ付式升ツ、

保助

一畑六七廿四歩 壹石四斗三升銘

一、壹反八七廿三歩 同断

一、壹反三七拾八歩 四斗銘

メ三反九七五歩

一壹反八七廿三歩 地損引

残式反拾式步

萬藏、栄恠

一 壹反三七拾八步 三升五合ツ、

一六七廿四步 式升ツ、

専左衛門

二 一 畑壹反四七六步

四斗銘

壹反ニ付式升ツ、
(略—以下、人頭_二戸主名のみ記載)

目錄番号三九二
仮題〔下若柳畑反別高壹組前調〕抄録

保治、慶助、幸吉、良吉、米太郎、与四恠、勘之助、権

専と音通か。
阿部仙左衛門組

十郎、善作、源太郎、今朝恠、喜七、忠太夫、富治、六

反別三丁三反壹七拾四步 本田

左衛門、七郎治、久右衛門、新五郎、権七、源右衛門、

高畑代七百七拾式文

孫三郎、種吉、圓藏(記述無し)、五右衛門、五郎助、

反別四反六七式拾六步 新田

作右衛門、長三郎、兵作、栄作、久七、武右衛門、長十

高畑代八拾四文

郎、惣作、四右衛門、慶藏、養助、留藏、三郎左衛門、

合反別三丁七反八七拾步

与藏、権之丞、惣左衛門、重兵衛、健左衛門、弁治、清

此高八百五拾六文

五郎、養作、庄馬、庄太、庄助、貞之助、勇治、貞藏、

亀井幸吉組

慶治、徳治、庄太、清右衛門、米吉、茂吉、今朝吉、大

反別壹丁七反六七式拾八步 本田

吉、寅吉、留五郎、太市、長恠、清助、弁藏、勇作、儀

高畑代四百四拾六文

平、栄藏、喜右衛門、伊与吉、与右衛門、清作、今朝之

反別壹丁壹反壹七式拾壹步 新田

丞、甚之丞、種藏、弥平治、留吉、長左衛門、徳兵衛、

高畑代式百式拾文

彦四郎、金右衛門、善左衛門、弥治右衛門、弥七、繁藏

合反別式丁八反八七拾九步

此高六百六拾六文

(以下略) 佐藤権重郎組、佐藤仲太夫組、高橋源
右衛門組、安倍作右衛門組、高橋四右衛門組、鈴木三郎
左衛門組、米倉健左衛門組、高橋勇吉組、高橋貞蔵組、
佐藤富吉組、寺嶋茂吉組、佐々木与市組、松平喜右衛門
組、安倍今朝之丞組、阿部徳兵衛組、阿部弥治右衛門組)

合反別五拾三丁九反八七壹歩
此高拾貳ノ貳百六拾三文

内 反別四拾貳丁壹反五七拾壹歩 本田

此高九ノ九百七拾文

反別拾壹丁八反貳七式拾文 新田

此高貳ノ貳百九拾三文

但此度村絵圖面仕立方ニ付相入

伍長

安倍彦右衛門

新里村境供養塚西

松原東迄之内北ハ荒

町前南ハ往還切

反別働畝

拾七人半人役程

内五人役 忠太夫
一拾人役 久右衛門
一貳人半役 五郎助

新里村境荒町東後

熊野堂東迄之内

北ハ関切南ハ松原後切

此畑反別

式石五斗まき程

(注) 麦作の呼び方、五斗まき 四畝位。単
純計算すると、二石五斗まき程とは、
二反歩程の畑ということになる。

東ハ間屋西後ハ北ハ松原前

通り寺東清水堂切ニ而

目録番号三九三

明治五壬申年

第三拾壹小區上若柳村

東新里境始働畝反分

壹人前調手扣帳

此畑反別

大圖

三石六斗まき程

清水堂西与り一本松横道

切北ハ寺前西込之内

大圖

壺石八斗八升蒔程

一本松横道上与り西ハ

西田西通り横道下まで

此畑反別

大圖

一壺石四斗蒔程

西田西後通り之内

此畑反別

一七斗八升蒔程

田尻東横道下与り

熊野堂西後福田前横道切ニ而

此田反別

一働畝五拾人半役

内式拾四人役

一拾式人役 利吉分

一九人役 慶治分

一四人役 貞蔵分

一四人役 民助

一壺人半役 庄治

熊野堂後福田前横

道下与り新里分の諏訪林か諏和林西込

北ハ川切南ハ堰関切

此田反別

一働畝四拾式人役

内拾四人役

一拾四人役 富治

一拾四人役 庄治

彦右衛門

目録番号三九四

〔寛永検地帳写〕 堰載省略

寛永検地帳の分冊に従って、壺番から拾式番が付された分冊となっている。

本文への加除訂正、付せん（原貼付位置不明のものが多く）がおびただしいが、そこに記されている人頭名は全て明治二年人数帳と一致しており、（留守）将一郎の名さえある。この事は、この写作成の時期

とその目的とを推測させる。
 寛永検地以後、総検地が実施されなかつた仙台藩域の百姓にとつて、所有地の正統性は「新田」は別として、検地帳以後の所有関係の移動の明示こそ重要と考えたのであろう。しかし、維新政府の構想は全く別で、「地租改正」と総称されるものであった。明治元年以後、百姓が求められたのは、現所有地反別と生産高であり（税取の確保、明治四年以後は地租改正の為の作業が延々と続くことになる。解説編二〇、同二十一参照）。

目録番号三九五

文政七年 肝入 民助
 杵人前持高 村分 改帳
 九月 入作共

内
 一百五拾九文 地損引
 残七百八拾五文 御傳馬仕者高

合四ノ八百拾壹文 水下高 并 御本金高

内
 一巻ノ八百八拾式文 御傳馬高

残式ノ九百式拾九文 諸役高

内巻ノ百文 合力高
 残合巻ノ八百式拾九文

茂吉組

高巻ノ九百四拾五文 茂吉 (注) 柳ノ町屋

内
 一巻ノ五百文 合力高
 一四四四拾五文 御傳馬高
 無残諸役高なし

高式ノ六百式拾六文 保吉 (注) 惣ノ町屋

高八百八拾壹文 半七 (注) 入作力

高七百九拾四文 善之丞 (注) 関屋

高巻ノ三百八拾六文 七郎治 (注) 上若木屋

高巻ノ六百拾式文 五右衛門 (注) 東田元屋

高四百三拾三文 新兵衛 (注) 入作力

高六拾文 長九郎 (注) 入作力

高三拾式文 甚十郎 (注) 入作力

高巻ノ五百五拾式文 仁十郎 (注) 上野山田屋

内巻ノ百文 合力高
 残四百五拾式文 諸役高

高巻ノ百四拾四文 弥蔵 (注) 大歩屋

高式百三拾三文 安内 (注) 滝ノ上屋

高巻ノ百式拾五文 義四郎 (注) 金入道屋

内式拾八文 地損引
 残巻ノ九拾七文 御傳馬仕者高

高九百四拾四文 栄吉 (注) 金入道屋

合七ノ八百弍拾四文

作太夫脱力組

高弍ノ九百五拾八文

作太夫

(注) 松原屋

内
一七百五拾八文 御傳馬高
一弍ノ弍百文 合力高
無残シ

高四百四拾九文

三五郎

高弍百五拾文

久右衛門

(注) 荒町屋

高九百四拾文

庄九郎

(注) 荒町屋

高弍百四拾六文

勘太郎

新里今入作

高四百弍拾四文

弥五右衛門

高五百弍拾文

義左衛門

高八拾弍文

与五左衛門

(注) 上ノ町屋

高弍百五拾八文

弥右衛門

高六百七拾弍文

三右衛門

(注) 新里今入作か。

ノ三ノ八百三拾九文

高四百四拾四文

正右衛門庄の音通か

(注) 田尻屋

ノ四百六拾八文

三太郎

(注) 福田屋

ノ弍百八拾七文

治右衛門

(注) 角屋

ノ八拾五文

治太郎

合弍ノ弍百八拾四文

又右衛門書き漏れか組

高弍ノ六百九拾八文

又右衛門

(注) 大宮屋

一弍ノ五百文 合力高
一百九拾八文 御傳馬高
無残

ノ弍百五拾文

孫七

(注) 上からの入作か

ノ六百三拾弍文

喜右衛門

(注) 上田中屋

ノ弍ノ三百八拾九文

与右衛門

(注) 上田中屋

ノ弍ノ五百文

長左衛門

(注) 道場屋

ノ弍ノ四百廿四文

銀作

(注) 橋本屋

ノ八百弍文

八左衛門

(注) 北錢倉屋

ノ七百八拾八文

傳兵衛

(注) 田元屋

ノ弍ノ六百廿八文

卯左衛門左か

(注) 下田中屋

ノ弍ノ弍百三拾弍文

権左衛門

(注) 錢倉屋

ノ弍ノ四百五拾四文

与市

(注) 田元屋

合拾弍ノ九拾七文

義と音通か
用作組

(注) 築後屋

高弍ノ五百文 合力高
内八百七拾六文 所持分

指引六百廿四文 不足

高卷ノ五拾七文

善兵衛

(注) 柳ノ町屋

〱九百廿三文

幸作

(注) 宮田屋

〱五百九拾九文

五兵衛

(注) 入作か

〱卷ノ五百廿卷文

六左衛門

(注) 柳林屋

〱八百五拾文

甚四郎

(注) 只屋

〱八百六拾五文

長藏

合九ノ三拾六文

〱卷ノ五百拾九文

申松

吉太郎組

〱廿八文

治三郎

高卷ノ六百九拾式文

〱五百八拾六文

用之助

内
一巻ノ五百文 合力圖

〱三百五拾文

三右衛門

残百九拾式文 諸役高

合八ノ七百三拾八文

書き漏れか

高卷ノ五百拾文

利作組

利作

(注) 甘草屋

〱八百五拾九文

清七

(注) 迎田屋

〱卷ノ五百文 引高

〱卷ノ四百四文

甚五郎

(注) 中野屋

高卷ノ四百廿九文

〱九百九拾五文

吉右衛門

(注) 野町屋

指引七拾卷文 不足

〱卷ノ九拾三文

作太郎

(注) 幅屋

高七百九拾六文

平左衛門

(注) 竹ノ内屋

〱卷ノ六百八拾文

市三郎

(注) 野町屋

〱卷ノ五百式文

新太郎

(注) 要害屋

〱卷ノ式百四拾四文

卯兵衛

(注) 館屋

〱五百六拾三文

治太郎

(注) 松原屋

〱式ノ三拾八文

四右衛門

(注) 幅屋

〱卷ノ三拾九文

五郎助

(注) 迎田屋

〱七百廿八文

与太郎

(注) 幅屋

〱百四拾三文

武右衛門

(注) 入作か

合拾壹〱八百八拾六文

昔き漏れか

庄左衛門組

高壹〱五百文 引高

内壹〱三百四拾壹文 持高

指引百五拾九文 不足

庄左衛門

(注) 揚場屬

高壹〱四百六拾六文

勇治

(注) 大立目屬

〱壹〱六百八拾六文

平十郎

(注) 寛政〱文化年代、前田屬は下若柳だった。

〱壹〱六百九拾弐文

専太郎

(注) 不明

〱壹〱五百六拾八文

丑松

(注) 文化十一年人数帳に上ノ町屬丑松があるが。

〱百拾弐文

五郎七

(注) 不明

〱壹〱三百六拾六文

七平

(注) 不明

合七〱八百九拾文

昔漏れか

用助組

高弐〱百四拾文

用助

(注) 川前屬

残壹〱百四拾七文

内九百九拾弐文 六百拾四文 冬分増

夏分

〱壹〱七百六拾壹文

冬分

〱六百五拾七文

太右衛門

(注) 野山田屬

〱壹〱五百六拾六文

清三郎

(注) 柳田屬

〱九百五拾九文

清右衛門

(注) 下堰袋屬か

〱四百七拾三文

徳左衛門

(注) 野山田屬

〱壹〱七百拾九文

孫八

(注) 堰袋屬

〱四百四文

徳蔵

(注) 樋田屬

合六〱八百七拾五文 夏分

七〱四百八拾九文 冬分

惣〱七拾壹〱弐百九拾八文 夏分

諸役高

七拾壹〱九百拾弐文 冬分

諸高役

實持高改

徳左衛門組

高四百七拾三文

徳左衛門

外二 高三拾九文

御蔵入新田納高 用助方今入

〱五百拾弐文

高四百四文

徳蔵

高壹〱八拾四文

長吉

(注) 堰袋屬

残壹〱拾三文

内七拾壹文 倒目

高弐〱百四拾文

用助

残弐〱百壹文

内三拾九文 御蔵入新田高 徳左衛門方へ入

高六百五拾七文 太右衛門

高壹ノ八百七文 清三郎

内式百九拾壹文 地損引
残壹ノ五百拾六文

高壹ノ四拾四文 清右衛門 (注) 下堰袋[㊦]か

内八拾五文 地損引
残九百五拾九文

高壹ノ七百拾九文 孫八

ノ八貫八百八拾壹文

右ハ文政八年改高帳相渡ス

目録番号三九六

〔下若柳地形分遜り願〕

下若柳地形分遜り肝入

内證文仕高分願相揃候分^並

平均方之分共^ニ左^ニ申上候

弥左衛門 (注) 下[㊦]

高畑代三文 将監様御知行本地

右高同村御百姓文蔵方^江分遜り (注) 新[㊦]

申分^ニ御座候所御地頭様不談り

之儀有之^ニ付延引^ニ罷成申候所

相片付申候間早速高分

願相出シ可申候

文六郎 (注) 前[㊦]、この時期下若柳扱だったようだ。

高畑代六拾五文 藤沢幾之助様御知行本地

右高同村御百姓庄吉方^江分遜り (注) 嘉永三年人数帳によると上若柳人頭。

申分^ニ御座候所不談り之儀御座

候^ニ付是^並延引^ニ罷成申候

相片付申候間是又早速

相出シ候様可仕候

此高式拾文 寿助方^ハと先納有り 卯三郎 (注) 揚場^ニ同じ

高畑代拾九文 将監様御知行本地 (注) 寿助は文蔵の先代

右高同文蔵方^江分遜り申分

品々右同断

文六郎

高田代百四文 藤沢幾之助様御知行本地

右高上若柳御百姓久左衛門方^江

分遜り申分^ニ御座候所御地頭様

方御相對相出不申^ニ 付延引^ニ 罷

成申候此度相出申候早速高分

相認候様可仕候

甚右衛門

(注) 清水^園

高田代五拾文

將監様御知行本地

右高同村御百姓文藏方^江 分遜り分

品々右同断早速相出候様可

仕候

市兵衛

(注) 金入道^園

高畑代拾文

松崎仲太夫様御知行本地

右高上若柳御百姓利左衛門方^江

分遜り申分地肝入手前不談

之儀有之延引^ニ 罷成申候所

相談り申候間早速相出し可申候

文六郎

高式百四拾六文

松崎五郎次様御知行本地

田代式百廿六文
畑代式拾文

右高新里村御百姓勘太郎方^江

分遜り申分品々右同断

高拾文

道家甚兵衛様御知行本地

傳次

(注) 町野^園

田代五文
畑代五文

右高新里村御百姓武右衛門方^江 分ケ

遜申分不談之儀有之延引^ニ

罷成申候相片付申候間早

速高分願指出可申候

文六郎

高田代六拾八文

藤沢幾之助様御知行本地

右高上若柳御百姓金藏方^江

相遜り申分品々右同断

文六郎

高七百式文

將監様御知行本地新田共^ニ

田代六百八拾式文
内百三拾壹文 新田

右高上若柳文右衛門方^江 分遜

申分^ニ 御座候所御地頭様方御書

付相出不申^ニ 付延引^ニ 罷成申候

所此度被相渡候間早速相出^シ

可申候

先納吉右衛門方へと出し

太郎八

(注) 竹ノ内屋

高畑代六拾五文

氏家太蔵様御知行

右高同村御百姓安太郎方 江分

(注) 柳林屋

遜り申分ニ御座候所御地頭様

方相片付不申候ニ付延引ニ

罷成申候相談り申候間是又

急速相出候様可仕候

同人

高田代三百五拾文

御同人様御知行

右高新里村三四郎方 江

分遜り申分品々右同断

同人

高八拾五文

御同人様御知行

田代式拾文
畑代六拾五文

右高鳳凰寺 江分遜申分

品々右同断

同人

高田代八百九拾三文

御同人様分

右高新里村学泉院方 江分

(注) 新里村本山派修
験

遜り申分品々右同断

兵衛とも
与平

(注) 田中屋

高田代五百八拾六文

将監様御知行本地

右高新里村御百姓利左衛門事

伊織方 江分遜申分品々

右同断

太郎兵衛

(注) 野町屋

高田代百四拾五文

脇坂源三郎様御知行

右高同村孫助方 江分遜申分

(注) 松原屋

品々右同断

同人

高田代式百拾六文

御同人様御知行

右高同村太郎助方 江分遜申

(注) 甘草屋

候分品々右同断

市兵衛

高式百文

松崎仲太夫様御分

田代百九拾九文
畑代壹文

右高同村御百姓儀四郎方 江

(注) 金入道屋

分遜り申分ニ御座候所右地ニ

出入御座候而相片付不申是

是^注延引ニ罷成候所此度相談

申候間是又早速相出候様

可仕候

同人

高田代拾五文

御同人様御分

右高同村御百姓弥五右衛門方^江

分遜り申分品々右同断

安太夫

高田代三百五拾五文

御同人様御知行

右高出入有之相片付不申

是^注是延引ニ罷成申候所相

談り申候間早速相出候様

可仕候

文内

高田代五百三拾六文

成田此面様御知行

右高同村御百姓与四郎方^江

分遜り申分ニ御座候品々右

同断

甚右衛門

(注) 清水^屋

高畑代拾三文

将監様御知行本地

右高同村御百姓文六郎方^江

分遜り申分ニ御座候所不談之

儀有之延引仕候相談り

申候間是又早速相出可申候

右之通壺口切申上候通

高分願早速指上候様

可仕候以上

同村飯肝入
文三郎^印

(注) 惣ノ町^屋

享和三年

四月

大肝入
石川新右衛門殿

畑代式拾七文

三右衛門分とと里村大右衛門へ

(注) 柿ノ木^屋

一式文 御藏入
一廿五文 平井様分

同代拾三文

同人分と、里村三郎左衛門へ

一式文 御藏
一拾壺文 平井様

高三百七拾四文 市太郎左方利衛門下塚袋へ (注)

田代三百六十四文 畑代拾文

高八百八十壹文 吉兵衛承文三郎田子屋へ (注)

高四百廿四文 善之允承太郎兵衛関屋へ (注)

田代五拾五文 甚之允承寿助清水甚右衛門の改名前の名前へ (注)

田代百文 太郎兵衛承寿助新屋の先代へ (注)

田代百十八文 甚之允承卯三郎承へ

田代拾壹文 卯三郎承与四郎承へ

畑代拾壹文 新藏上若柳庄吉要書屋へ (注)

田代廿文 文六郎承与四郎承へ

〓三十三文 同人承林之允承へ (注)

高五十五文 傳治承新里村義左衛門承へ

〓四拾壹文 新太夫承学泉院上野山田屋 (注)

一拾壹文 文六郎承義左衛門承へ

一三百五十五文 安太夫承市三郎承へ (注)

一三百五十五文 同人承清七郎承へ (注)

一四百九十五文 孫助承と、里村太惣右衛門承

一百七十式文 同人承同村弥太郎承

一四十六文 同人承与四藏承へ (注)

一百廿四文 市三郎承与四郎承へ

〔貼付位置不明のはさみ込み文書〕

弥左衛門平頭文六と式口

文六郎平頭甚右衛門市兵衛文六、

傳治文六文、六右七口

市兵衛平頭安太夫と三口

〔方甚右衛門壹口

右名下ニ 拝印無之分先納ニ

相出不申候事右之内安太夫分三百

五十五文程間追候分ニ 候而先納ニ

有之候得共談、申儀無之不分

目錄三九七

〔地形分遜願申上候御事〕

私先祖代貴殿先祖致分

地候節分ケ遜リ候成田様御知行

田代三百木拾文付之處地所先年伊澤川

洪水之砌砂山ニ罷成下堰袋

屋敷新三郎先祖ニ起方為致

年数荒谷を以起方為致候所

年数相立取戻候ニ付

右地此度永代ニ呉有之□

相違無御座仍而為後日之

親類連名を以

如斯御座候以上

天保三年

本家

長

吉

(注) 堰袋屋

三月

家督

卯右衛門

(注) 下田中屋

養助殿

親類

權左衛門

(注) 川前屋 (注) 錢倉屋

吉太郎殿

(注) 迎田屋

地形永代分遜り候證文之事

下若柳御百姓
川前屋敷

高畑代

養助

成田義三郎様御知行本地
六切めい

右之通比度無地代金を以永代ニ

遜り仕候義相違無御座候此末右高

出ル御年くハ不及申ニ御郡役共ニ

貴殿方ニ而可相勤候右地ニ付

御帳付之諸木無御座候何時成共

高分御免之節御格願可指上候

仍而為後日之双方親類并指南人

五人^{親類}与合与頭地肝入立合地形

境見届肝入衆御踏渡申受候上

立合人連判を以証文如斯御座候以上

地形遜り人
右ノ

養助

親類

千左衛門

指南人

弥藏 (注) 大歩屋

三月

五人与合
与頭

治太郎 (注) 松原屋

民助 (注) 上若柳分前 (屋) (トヤ)

右之通無地代金

を以永代ニ遜り渡候段

不届相違無之ニ付

末書如斯御座候以上

目錄番号三九八

地形永代遜渡證文之事

高田代拾壹文

下若柳御百姓
大宮屋敷

吉三郎

將監様御知行
新田三切四分銘

右之通此度為諸上納之地代金

三切を以永代ニ遜渡候義相違

無御座候此末右高分出ル御年貢

ハ不及申ニ御郡役共ニ貴殿

方ニ而可被相勤候尤右地ニ付御年貢

諸懸リハ不及申ニ相對借金對

御帳付之木元無御座候何時

成共高分□御免之節御格格之願

可被指出候仍而後日ニ透乱透

為無御座双方并親類指南人

五人組与合与頭地肝入立合地形境

見届肝入衆御踏渡申受相渡候上

立合人連判を以證文如斯
御座候以上

天保九歲四月

地形渡人右ノ
吉三郎
親類指南人
二而五人与合

地形遜受人ニ而

卯右衛門(注)下田中屋

五人与頭

長藏殿

(注)橋元屋

右之通永代ニ遜渡候段

承届相透無之ニ付地形

踏渡候上末書如斯御座候以上

地肝入ニ而

肝入

同年同月

保吉

右ノ

長藏殿

目錄番号三九九

地形分遜願申上候御壹事

願候右高遜相受候而も五ノ文已上

之持高ニ罷成不申候尤先年

ノ之分坪ニ而新キ無御座候且前

願ニ申上之通り當年当末拾五ケ年

散田並御免高ニ被成下度奉願候

志志田田ニツ屋敷与右衛門

下々田五間 式七式拾五步 式拾三文

下々田五間 式拾八間 四七式拾步 三拾七文

下田式拾間 壹反四七式拾步 百六拾三文

下田九間 式拾六間 七七式拾四步 八拾六文

高田代式反九七式拾九步三百七文

但右高下若柳御給人様前御百姓

慶助方江永代分遜持添地ニ

被成下度奉願候右高遜相受候而も

五ノ文已上之持高ニ罷成不申候

尤此度之分坪ニ無御座候右品、

前同断

中田そり田 拾四間 二ツ屋敷 与右衛門

中田拾九間 八七式拾六步 百拾五文

高式真以下同三百拾九文

田代式真以下同三百五文

畑代拾四文

右高之内

御竿答二ツ屋敷 与右衛門

下田せきそへ持そへ拾間 式拾壹間 七七步 七拾七文

野中六間 下々田六間 壹七六步 壹文

下々田拾八間 三反式七步 拾式文

川欠そ年者多 下々畑拾八間 三反式七步 拾式文

高九拾壹文

七七步

田代七拾七文

但右高上野様御家中坂野

熊之進殿高指引人三右衛門方江

永代分遜持添地ニ被成下度奉

上伊沢下若柳つふれ御百姓利物治跡地

古散田

松崎仲太夫様御知行本地

(注) 東太なのだが改名か

中田 式拾四間 貳反貳拾四步 貳百七拾文

下田 式拾八間 壹反七七拾貳步 百九拾壹文

上田 式拾壹間 貳反壹七步 三百拾五文

下田 式拾七間 貳反六七三歩 貳百八拾七文之内

下田 貳反貳七拾四歩 貳百四拾七文

高田代 壹反六步 貳百三拾八文

但右高上若柳御給人様前御百姓

直藏方 江 永代分遜持添地 二 被成下

度奉願候右高遜相受候而も

五ノ文已上之持高 二 罷成不申候

尤先年 分 之分坪 二 而新キ無御座候

右品々前同断

同 二ツ屋敷 与右衛門

上田 川欠 式拾壹間 壹反七七拾五歩 貳百六拾三文

下田 式拾八間 壹反九七拾八歩 貳百拾六文

中田 式拾六間 壹反九七貳歩 貳百四拾八文

下々田 拾壹間 六七貳拾九歩 五拾六文

高田代 七百八拾三文

但右高上野様御家中伊藤勇作殿

高指引人民治方 江 永代分遜持添地 二 被成下度奉願候右品々前同断

右之通奉願候右利惣治跡地

御年貢諸式皆濟仕候右三右衛門

并 慶助直藏民治末々共

御年貢諸式無滯上納仕候者共 二

御座候間如願之被成下度奉存候

此已後出入為御座奈く 双方親類

五人組合与頭地肝入肝入立合

地形境見届廣狭無之様分渡

人数帳御田地見帳御檢地帳 江も

高名元寄せ代引合相透無

御座候且御地頭様方御指支

無御座段御證状持添拙者共

連判ヲ以如此奉願候已上

禿御百姓利惣治跡地
右高遜受人
上野様御家中坂野熊之進殿
高指引人

三右衛門印

文久三年

十月

与頭 直上若柳 藏印

上野様御家中伊藤勇作殿
高指引人 民 治印

下若柳 慶 助印

三右衛門親類
上若柳 茂 助印

与頭直藏親類
五人組 丑 太郎印

五人組
同人五人組 丈 吉印

民治親類
上若柳 宮 藏印

慶助親類
五人組 清 作印

同人五人組
三右衛門与頭 勘之助印

民治与頭
十 作印

慶助与頭万
新 太 夫印

松崎仲太夫様地肝入
萬 太印

右村肝入 丈 左衛門印

上若柳肝入
五 四 郎印

大肝入

千田五郎右衛門殿

目錄番号四〇〇

〔地形分遜願申上候御事〕

主人御知行上伊澤下若柳

御百姓善吉持高之内

田代八百拾八文畑代百七文

右同人同家ニ罷在候伯父

林作方へ永代分遜新

御百姓ニ被成下度願申

出候處此地主人方ニ右指支

申義無之候間右之

御首尾可被成候以上

藤澤敬治内

坂下貞吾印

文久三年

十月

大肝入衆

(注)

柳ノ町原
伯父林作は不明

目錄番号四〇一

〔地形分遜願地頭方無指支候事〕

主人御知行上伊澤下若柳

御百姓肝入丈左衛門持高

本地高畑代五拾文

同村御百姓林作方へ

永代分遜持添地被成下度

願申出候處^地主人方

二而指支申儀無之候間

右之御首尾可被成候以上

藤澤敬治内

文久三年

大肝入衆^{十月}

田代五百九拾四文 善吉

田代五拾七文 東吉

畑代七文 清作

右之者共永代分遜持添

高^二被成下度願申出候間

主人方指支申義無之候間

右之御首尾可被成候以上

藤澤敬治内

文久三年 坂本貞吾

十月

大肝入 千田五郎右衛門殿

友吉 留吉 正治
与頭

今 吉

庄吉与頭^萬 太^印

上野様地肝入^二而
右村肝入 丈左衛門^印

新里村肝入 兵 作

大肝入 千田五郎右衛門殿

目錄番号四〇二

〔地形分遜願地頭方無指支候事〕

主人御知行上伊澤

若柳村^之禿御百姓弥惣跡地

散田前高

目録番号四〇三

〔地形分遜願〕

綴じ跡が右端に残っているので、途中から、と推測

無御座候御地頭様御指支無

御座段御證状指添拙者共

連判ヲ以如斯奉願候已上

死亡辰五郎跡地

高遜受人 傳左衛門

親類ニ而五人組

五人組

忠 太

民 蔵

文久三年

与頭 倉之助

十月

道家與五郎様
地肝入 甚 助

右村肝入 丈左衛門

大肝入
千田五郎右衛門殿

〔裏面文書〕

〔地形分遜願地頭方無指支候事〕

主人御知行上伊澤下若柳

つぶれ
禿御百姓庄蔵跡地

高田畑代^ニ而^貴壱ノ六拾九文

之所上若柳御百姓友吉

伯父磯忝^ト申者下若柳

右跡地^江代御百姓^ニ被成下度

願申出候間主人方指支

無之候間右之御首尾可被成下候以上

藤澤敬治内

文久三年

坂本貞吾

大肝入

千田五郎右衛門殿

(注) 目録番号四〇〇から同四〇三までは、綴じられて

いたもの的一部と推測される。

目録番号四〇四

地形分遜願申上候御支^事(断片)

上伊澤下若柳無行衛

せき跡地

年数散田

高四百四文

田代三百四拾四文

成田武様御知行本地

畑代六拾文

一三拾文

上野様御知行新田

一三拾文

成田武様御知行本地

右高之内

下畑四七拾五歩 九文

拾老間

下畑

拾八間

六七拾八歩

拾三文之内

下畑壹七歩

貳文

下々畑

九間

貳拾老間 六七九歩

六文之内

下畑壹七歩

壹文

野中

三拾六間

下畑 三拾八間 四反五七拾八歩

九拾壹文之内

下畑壹反壹七歩

貳拾貳文

高五百七拾五文

田代五百四拾壹文

作之助

且御地頭様方御指支無御座段

御證狀指添拙者共連判ヲ以

如斯奉願候已上

右代御百姓長五郎人頭

清四郎

右地代御百姓

長五郎

清四郎長五郎親類

二而五人組

米藏

廣吉

十月

五人組

廣吉

上野様地肝入

巳之五郎

(※) ① をはさんで左右を読み比べ、② をはさんで、

左右を読み比べれば、不連続であることは明白である。それを何故一綴りとしたのか。こよりは非常に新しい。

目録番号四〇五

地形分遜願申上候御変(断片)

上伊沢上若柳死亡
辰五郎跡地

年数散田

高七百貳拾四文

道家熊五郎様御知行
本地

田代五百七拾五文
畑代百四拾九文

右高之内

御竿答山岸屋敷右馬廐

志つ玉二式間
下田二拾間
ぬかり二四間
下々田二拾間
志つた
下田

壹七拾歩
七文
拾壹文

道者多二みちはた
下畑二拾貳間
拾九間
七七拾八歩
拾五文

三右衛門与頭

十作

民治与頭

新太夫

慶助与頭二方

萬太

松崎仲大夫様地肝入二而

右村肝入

丈左衛門

大肝入
千田五郎右衛門殿

下若柳定平
親類二而五人組

忠太夫印

同村庄吉親類

今朝吉印

同人五人組
勘之助印

同村直治親類二而
定平組頭

新太夫印

定平
五人与
周藏印

友吉与頭
今吉

庄吉与頭
萬太印

脇坂三郎様地肝入二而
右村肝入丈左衛門印

上若柳肝入五四郎

大肝入
千田五郎右衛門殿

原四間
下畑九間

山根
下畑二拾間
壹七六歩
壹文

志つ多二七間
下畑二七間
七七拾歩
拾五文

石くら
下畑二七間
壹七式拾六歩
四文

下畑二七間
貳七式拾四歩
六文

下々畑二七間
三七八歩
三文

下々畑二八間
拾四間
貳七式拾歩

目錄番四〇六

地形分遜願申上候御事

上伊沢下若柳御藏人
御給人様前御百姓
地藏田屋敷

金之丞

御藏入本地四石五斗五升銘

高式[〃]五百六拾文

[〃]式四百拾式文 新田

田代式[〃]四百四拾五文

一 壹[〃]九百五拾四文 御藏入本地

一 四百九拾壹文 伊達上野様御知行

畑代百拾五文[〃] 新田

御藏入本地

外二

一三拾五文 都鳥村江入作

右高之内

御竿答おくら田屋敷 長四郎

沢
中田 式拾壹間 壹反八七六步[〃] 式百三拾七文

下田[〃] 拾八間 壹反壹七拾式步 百式拾五文

下田[〃] 拾八間 壹反式拾四步 百拾九文

立石
中田 拾九間 九七拾五步 百式拾四文

下田[〃] 拾九間 壹反三七九步 百四拾六文

六反三七六歩
高田代七百五拾壹文

但右高上若柳御藏入御給人様前

新百姓義左衛門方 江 永代分遜持

添地^二被成下度奉願候右高遜相

受候而も五メ文已上之持高ハ罷成

不申候尤此度新^キ分坪^二無御座

右地所之義金之丞手前^〆手^〆遠^〆之

場所^二而修理制道行届兼義左衛門

方^〆便宜之場所^二而存分制道

行届場所^二御座候間如願

之御吟味被成下度

右之通奉願候右金之丞御年貢

諸式皆済仕候右義左衛門末々

御年貢諸式共無滯上納仕候者御座候間

如願之被成下度奉存候此已後出入

為無御座双方親類五人組組頭

肝入立合地形境見届廣[〃]

狭無之様分渡人数帳御田地見帳

御檢地帳 江も高寄畝代名元引合

相透二無御座候御地頭様方御指支

無御座段御證二狀指添拙者共

連判レ以如斯奉願候已上

慶應三年

十二月

下若柳地高遜リ人

金之丞

上若柳右高遜受人

義左衛門

金之丞親類二而

富四郎

五人組

愛之助

五人組

養助

〃

四右衛門

〃

七四郎

与頭

栄作

下若柳

作十郎

肝入

丈左衛門

上若柳

五四郎

大肝入

千田五郎右衛門殿

高四貫四百六拾七文

一百三拾文 御知行被下置二分

田代九拾八文

知代三拾貳文

殘高四貫三百三拾七文

田代四ノ百七拾三文

一貳ノ六百拾五文 御蔵入本地

一七百五拾七文 將監様御知行本地

一七百貳拾貳文 成田助之丞様御知行本地

一七拾九文 脇坂清兵衛様御知行本地

畑代貳百六拾四文

一八拾四文 御蔵入本地

一三拾八文 藤澤敬治様御知行本地

一四拾壹文 油井喜助様御知行本地

一壹文 脇坂清兵衛様御知行本地

右之内

高畑代貳拾七文 御蔵入

七切銘之所

但松原分何石何斗銘何年ノ末三ヶ年壹石四斗銘

之所此度同村御百姓清助方へ

永代分遜持添地二被成下度奉願候

上伊沢下若柳御蔵入并御給人様前御百姓惣之町屋敷 阿倍丈左衛門

目錄番号四〇七

地形分遜願申上候御支二事

右高遜相受候而も五ノ文

已上之持高ニも罷成不申候

尤此度之分坪無御座候

右之通奉願候右丈左衛門

御年貢諸式皆濟仕候右

清作末々御年貢諸式ニも等、以下同

無滯上納仕候者ニ御座候

間如願之ニ被成下度

奉存候此已後出入為

無御座双方親類并五人

組合組、以下同与頭地肝入肝入立合地形境

見届廣狭無之様分渡外

人数帳御田地見帳御檢地帳

江も高名元七代引合

相透違無御座候間拙者共

連判ヲ以如斯奉願候

已上

明治三年

右遜人三而
肝入 阿ノ丈左衛門
右遜受人 清 作

四月

右丈左衛門親類ニ而
五人組 善 吉

右清作親類ニ而
与頭 庄 因

藤澤敬治様地肝入
茂 吉

成田助之丞様地肝入
民 助

上若柳肝入
安倍五郎

大肝入
千田五郎右衛門殿

地形分遜願申上候御事 御 叟

上伊沢下若柳御蔵人并
御給人様前御百姓
堰袋屋しき

甚之丞

高九百九拾六文

高八拾八文外

合高壹ノ八拾四文 新田

田代八百七拾八文

内 一八拾七文 新田

一七四拾四文 御蔵入

一百三拾四文 成田助之丞様御知行

内 畑代式百六文 御蔵入
壹文 新田

右之内

一 畑代六拾七文 四反式拾九歩 御蔵入本地

但右高同村新御百姓留吉

方へ永代分遜持添地 二

被成下度奉願候右

高遜相受候而も五ノ文

已上之持高罷成不申候

尤此度之分坪 二も無

御座候

一 畑代拾文 壹反三歩 御蔵入本地

但增高分同村御百姓弥七方へ 七切銘之所

永代高分遜持添地 二

被成下度品々前同断

一 八拾八文 壹反九歩 御蔵入新田

八七式拾九歩 田代八拾七文

壹七拾歩 畑代壹文

但右高同村新百姓留吉方 江

永代分遜持添地 二被成下度

右品々前同断

右之通奉願候江右甚之丞

御年貢諸式皆済仕候右

留吉二末々御年貢諸式

亦も無滯上納仕候者 二御座

候間如願之 二被成下度

奉存候此已後出入為無

御座双方親類 并五人

組合与頭地肝入肝入立合

地形境見届廣狭無之様 江

分遜人数帳御田地見帳

御檢地帳 江も高七代 二畝

名元引合相透無御座 二遠

依而拙者共連判を以

如斯奉願候已上

右地遜人

右地遜受人

〃

〃

〃

甚之丞

留吉

弥七

彦四郎

弥治右衛門

明治貳年

四月

留吉親類 三而

五人組

弥七親類 三而

五人組

与頭
右村肝入
德兵衛
阿部丈左衛門

大肝入衆

上伊澤下若柳御蔵入并
御給人様前御百姓
川原屋しき
用吉
(注) 川前[㊦]と考えれば人頭名も持高も一致するのだ
が。

高八百七文

一^外壹^外ノ六百四拾文 新田

合高式ノ四百四拾七文

田代式ノ百八拾六文

内壹ノ四百八拾壹文 新田
一七百五文 成田助之丞様御知行本地
一壹ノ四百八拾壹文 将監様御知行新田

畑代式百六拾壹文

内
一三拾九文 新田御蔵入
一百六文 成田助之丞様御知行本地
一百式拾文 将監様御知行新田

右高之内

一畑代三拾九文 御蔵入新田

但右高同村代御百姓弥平治

方へ永代分遜持添地^二

被成下度奉存候右高遜

相受候而も五ノ文已上之持高^二

罷成不申候尤此度之分

坪^二も無御座候

右之通奉願候右用吉

御年貢諸式皆済仕候右

弥平治末々御年貢諸式

上伊澤下若柳御蔵入并
御給人様前御百姓
迎田屋敷

留蔵

高壹ノ六百九拾九文^七

高拾三文^外 新田

合高壹ノ六百九拾式文

田代壹ノ五百三拾式文

一壹ノ三百拾三文 御蔵入
四拾三文 新田

畑代百六拾文

一^二式百拾九文 戸田与三郎御知行本地
一百三拾五文 御蔵入
一^二式拾五文 将監様御知行

右高之内

一 五百五拾壹文 五反式七拾式步

四反五七四步

田代五百三拾六文

七七八步

田代拾五文

但右高同村御百姓五右衛門方 江

永代分遜持添地 二 被成下度奉

願候右高遜受候而も五ノ文已上之

持高 二 も罷成不申尤此度之分坪 二 も

無御座候

一 畑代拾文 五七歩

但同村御百姓庄助方 江

品々前同断

三三六歩

一 田代拾三文 御蔵入新田

但右高同村御百姓五右衛門へ永代遜渡

持添地 二 被成下度右品々前同断

右之通奉願候右留蔵

御年貢諸式皆濟仕候右

五右衛門末々御年貢諸式

亦も無滯上納仕候者 二

御座候間如願之被成下度

奉存候此已後出入為

無御座双方親類 并 五人

組合与頭肝入立合

地形境見届廣狭無之様

分渡人数帳御田地見帳

御檢地帳 江 も高七代

名元引合相透無御座候

依而拙者共連判を以

如斯奉願候以上

明治貳年

右高遜人

留 蔵

右遜受人

五右衛門

〃 〃

庄 助

五右衛門親類
五人組

栄 作

庄助親類
五人組

金之丞

留蔵親類 二 而
五人組

四右衛門

与頭

作右衛門

右村肝入

阿倍丈左衛門

上伊澤下若柳御藏入并
御給人様前御百姓

富四郎

高卷ノ六百九拾弍文

田代卷ノ五百六拾五文 御藏入本地

畑代百弍拾四文 戸田与三郎様御知行本地

右高之内

一田代弍百八文 卷反九七弍拾九歩

但右高同村御百姓四右衛門方へ

永代分遜持添地ニ被成下度

奉存候右高遜相受候而

茂五ノ文已上之持高ニも

罷成不申候尤此度之

分坪ニも無御座候

右之通奉願候右富四郎

御年貢諸式皆済仕候

右四右衛門御年貢諸式亦も

無滯上納仕候者ニ御座候間

如願之被成下度奉存候

此已後出入為無御座双方

親類并五人組合与頭

地肝入肝入立合地形境見

届廣狭無之様分

渡人数帳御田地見帳

御檢地帳江も高七代名

元引合相透無御座依而

拙者共連判を以如斯

奉願候已上

明治弍年

右地遜人

富四郎

右地遜受人

四右衛門

富四郎親類ニ而
五人与

金之丞

四右衛門親類ニ而
五人与

養助

組頭

作右衛門

右村肝入

阿倍丈左衛門

地形分遜願申上候御事

上伊澤下若柳藏入并
御給人様前御百姓

野町屋敷

兵作

高九百九拾五文

高拾式文外 新田

高七拾八文 都鳥村江入作

高拾九文 新田 南下幅村江入作

合高壹ノ百四文

田代九百六拾六文

一拾式文 新田 御蔵入
一九百五拾四文 道家熊五郎様御知行本地

畑代百三拾八文

一四拾壹文 道家熊五郎様御知行
一七拾八文 都鳥村江入作
一拾九文 新田 南下中村江入作

右高之内

一田代拾式文老七四歩 御蔵入新田

但右高同村御百姓作右衛門方へ

永代分遜持添地ニ被成度

奉存候右高遜相受候而も五ノ

文已上之持高ニ罷成不申候尤

此度之分坪ニも無御座候

右之通奉願候右兵作

御年貢諸式皆済仕候右

作右衛門末々御年貢諸式亦も無滞

上納仕候者ニ御座候間如願之

被成下度奉存候此已後

出入無御座多免ため双方親類并

五人組合与頭肝入立合地形

境見届廣狭無之様分渡

人数帳御田地見帳御檢地帳

江も高畝代名元引合

相透無御座候依而拙者共

連判を以如斯奉願候以上

右地遜人

兵作

右地遜受人
与頭

作右衛門

兵作親類ニ而
五人組

作右衛門親類ニ而
五人組

阿倍丈左衛門

右村肝入

地形分遜願申上候御事

上伊澤下若柳御藏人并
御給人様前御百姓

与右衛門

高卷ノ百五拾九文

高拾文外 新田

合高卷ノ百六拾九文

田代七百五拾九文 丹野善右衛門様御知行

畑代四百拾文

内拾文 新田
一五文 新田 御藏人
一五文 新田 将監様御知行
一三三拾文 丹野善右衛門様御知行
一七拾文 脇坂治兵衛様御知行

右高之内

一畑代五文

但右高同村御百姓長松方へ

永代分遜持添地ニ被成下度

奉願候右高遜相受候而も五ノ文

已上之持高ニ罷成不申候尤

此度之分坪ニも無御座候

右之通奉願候右与右衛門

御年貢諸式皆済仕候右長松

末々御年貢諸式皆済も

無滯上納仕候者ニ御座候間如

願之被成下度奉存候此已後

出入為無御座双方親類并五人

組合与頭肝入立合地形境

見届廣狭無之様分渡

人数帳御田地見帳御檢地帳

江も高畝代名元引

合相違無御座候依而拙者共

連判を以如斯奉願候

以上

右地渡人

与右衛門

右地遜受人

長松

右与右衛門長松親類ニ而
右ノ与頭 東吉

五人与 与市

右村肝入部 阿戸丈左衛門

地形分遜申上候御事 御度

上伊澤下若柳御藏人并
御給人様前御百姓

野町屋しき榮作

高壹ノ六百八拾文

高百九拾文外

合高壹ノ八百七拾文

田代壹ノ六百七拾八文

一壹ノ貳百貳拾三文 御藏入

一三百五拾五文

松崎仲太夫様御知行

一百文

成田助之丞様御知行

畑代貳文 御藏入

右高之内

四七三步

一田代五拾貳文

但右高同村御百姓種吉方へ

永代分遜持添地ニ被成下度

奉存候右高遜相受候而も五ノ文

已上之持高ニ罷成不申候尤此度

之分坪ニも無御座候

一田代貳百八文

貳反壹七拾八歩

但右高同村御百姓作右衛門方へ

永代持添地ニ被成下度

品々前同断

五七四歩

一田代四拾壹文

但右高同村御百姓長三郎方へ

永代持添地ニ被成下度

品々右同断

右之通奉願候右榮作

御年貢諸式皆済仕候右

種吉ノ末々御年貢諸

式ニも無滯上納仕候者

御座候間如願之被成下度

奉存候此已後出入為無御座

双方親類并五人ニ組与合与頭

肝入立合地形境見届廣

狭無之様分渡人数帳御田

地見帳御檢地帳江も高

畝代名元引合相透無御座

候依而依而拙者共連判

を以如斯奉願候已上

右地渡人

右地遜受人

明治貳年

榮 作

種 吉

与頭

作右衛門

〃 〃

長三郎

右種吉親類二而
五人與 留藏

右作右衛門親類二而
五人與 四右衛門

右長三郎親類二而
五人與 金之丞

右種吉與頭
源右衛門

右村肝入
阿尸丈左衛門

上伊澤下若柳御藏入并
御給人様前御百姓
小倉田屋敷 長三郎

高卷ノ五百五拾五文

田代卷ノ四百拾九文

一 九百貳拾九文 御藏入
一 貳百五拾文 將監様御知行

一 貳百四拾文 藤澤敬治様御知行

畑代百三拾六文 御藏入

右之内

一 畑代八拾文 卷反貳七拾四歩

但右高上若柳御百姓民助

方へ永代分遜持添地二被成下度

奉存候右高遜相受候而も五ノ

文已上之持高二罷成不申候

尤此度之分坪二も無御座候

一 田代五文 拾九歩

但右高同村御百姓愛之助

方へ永代分遜持添地二

被成下度右品々

前同断

一 畑代四拾文 貳反歩

但右高下若柳御百姓種吉

方へ永代持添地二被成下度

右品々前同断

右之通奉願候右長三郎

御年貢諸式皆濟仕候右

民助亦末々御年貢諸式

亦も無滯上納仕候者二御座候

間如願之被成下度奉存候

此已後出入無御座多免ため双方

親類并五人組合与頭肝入

立合地形境見届廣狭無之

様分渡人数帳御田地見帳

御檢地帳江も高畝代

名元引合相透無御座候

依而拙者共連判を以

如斯奉願候以上

金之丞

明治貳年

右地遜人

長三郎

右地遜受人

民助

上若柳
愛之助

下若柳
種吉

長三郎親類二而
七四郎

五人與
四右衛門

愛之助種吉親類二而
作

五人與
忠太夫

民助愛之助与頭
源右衛門

種吉与頭
作右衛門

与頭
阿倍丈左衛門

右村肝入

高貳ノ三百拾八文

高貳百四拾貳文外 新田

高三拾三文 都鳥村江入作

合高貳ノ五百九拾三文

田代貳ノ三百九拾五文

一壹ノ九百五拾四文 御藏入
一貳百四拾九文 將監様御知行本地
一貳百四拾貳文 御同人様御知行新田

畑代百五拾文

一百拾五文 御藏入
一三拾五文 都鳥村江入作昔名綱負様御知行本地

右高之内

三反六七拾歩
一三百五拾五文

田代三百三拾四文

老反拾五歩
畑代貳拾壹文

但右高同村御百姓

勇吉方へ永代分遜

持添地二被成下度奉願候

右高遜相受候而も五ノ文

已上之持高二も罷成

不申候尤此度之分坪二

地形分遜願申上候御壹

上い沢下若柳御藏入并
御給人様前御百姓
地蔵田やしき

も無御座候

一田代七百五拾壹文六反五七式拾七歩

但右高上若柳御百姓

義左衛門方へ永代分遜

持添地ニ被成下度右品々

前同断

右之通奉願候右金之丞

御年貢諸式皆濟仕候右勇吉

亦御年貢諸式亦も無滞

上納仕候者ニ御座候間如願

之ニ被成下度奉存候此已後

出入為無御座双方親類并

五人組合与頭地肝入肝入

立合地形境見届廣狭

無之様分渡人数帳御田地

見帳御檢地帳江も高

七代名元引合相透無御座二畝

依而拙者共連判を以

如此奉願候已上

明治貳年

四月

右地遜人

金之丞

右地遜受人

勇吉

与頭

上若柳御百姓

勇吉親類ニ而

勇治

五人組

儀左衛門親類ニ而

上若柳御百姓

金之丞親類ニ而

与頭

儀左衛門与頭

今吉

將監様地肝入

下若柳飯肝入

上若柳肝入

阿倍丈左衛門

安倍五郎

西田屋しき

上伊澤下若柳御藏人

御百姓

西田屋しき

勇吉

大肝入
殿

地形分遜願申上候御壹

高九百六拾文

高拾四文外

新田

合高九百七拾四文

田代八百式拾式文

畑代百五拾式文

右高之内内拾四文 御蔵入新田

一九百六拾文壹丁三反三七四歩 御蔵入本地

田代八百式拾式文六反五七七歩

畑代百三拾八文六反七七式拾七歩

但右高同村御百姓慶治

方へ永代分遜持添地二

被成下度奉願候右高

遜相受候而も五ノ文

已上之持高二罷成不申

尤此度之分坪二無御座候

右之通奉願候右勇吉

御年貢諸式皆済仕候右

慶治末々御年貢諸式二も

無滯上納仕候者二御座候間

如願之二被成下度奉存候

此已後出入為無御座双方

親類并五人組合与頭

肝入立合地形境見届廣

狭無之様分渡人数帳

御田地見帳御檢地帳江も

高畝代名元引合相遠

無御座依而拙者共連

判を以如斯奉願候

已上

右地遜人二而
与頭

慶治

明治式年

右地遜受人

勇吉

四月

右慶治親類二而
五人組

慶治

右慶治親類二而
与頭

忠太夫

右園肝入

大肝入

千田五右衛門殿

地形分遜願申上候夏

上い沢下若柳御蔵入并
御給人様前御百姓

野山田屋しき後家女
せき跡地

年数散田

高壹貫四拾七文

高^外五百五文 新田

合高壹ノ五百五拾弐文

田代壹ノ四百七文

内五百五文 新田
御藏入
一九百弐文
將監様御知行新田
一五百五文

畑代百四拾五文

一八拾五文 御藏入
一九拾五文 成田助之丞様御知行

右之内

一九百八拾七步^{壹丁三反壹七六步} 御藏入

田代九百弐文^{八反七七弐步}

畑代八拾五文^{四反四七四步}

但右高同村御百姓弥治右衛門同家^二

罷有候添人弥平治卜申者野山田

やしきけさ跡地^江代御百姓^二被成

下度奉願候右場所之儀も元

屋敷^二而先年之通御留野

場^二も無御座弥治右衛門義残人

数^二而御田地仕付御郡役共

指支申儀無御座候^二付如此

奉願候

右之通奉願候右けさ

跡地御年貢諸式皆済仕候

弥治右衛門添人弥平治義末々

しも御年貢諸式無滯

上納仕候者^二御座候間如願之

無地代金代御百姓^二被渡下當年^二分^二

末拾五ヶ年散田並御免高^二

被成下度奉願候此已後

出入無御座多免^二ため^二双方親類

五人組合与頭地肝入肝入

立合地形境見届廣狭無之様

分渡候上人数帳^并

御田地見帳御檢地帳^江も高

名元七代引合相透無御座

候之間拙者共連判を以

如斯奉願候已上

右代御百姓弥平治人頭

明治貳年

四月

弥治右衛門

右代御百姓 弥平治

弥治右衛門弥平治親類ニ而
五人組 弥七

五人組 栄 忝山松

与頭 徳兵衛

成田助之丞様地肝入
民 助

将監様地肝入ニ而
右村肝入

阿戸丈左衛門

大肝入

千田五右衛門殿

上伊沢下若柳御蔵入并
御給人様前御百姓

滝ノ上やしき松五郎事

松太郎

高百八拾四文

高六拾文外 新田

合高貳百四拾四文

田代六拾九文

佐々助五郎様御知行本地

畑代百七拾五文

内六拾文 新田
一拾壹文 御蔵入新田

一百拾五文 佐々助五郎様御知行本地
一四拾九文 将監様御知行新田

右高之内

一畑代拾壹文 御蔵入新田

但右高上若柳御百姓善十郎

方へ永代分遜持添地ニ被成下度

奉存候右高遜相受候而も

五ノ文已上之持高ニ罷成不申

候尤此度之分坪ニも無

御座候

右之通奉願候右松太郎

御年貢諸式皆済仕候

右善十郎御年貢諸式亦も

無滯上納仕候ものニ御座候間

如願之被成下度奉存候此已後

出入為無御座双方親類并

五人組合与頭肝入立合地

形境見届廣狭無之様

分渡人数帳御田地見帳御檢

地帳江も高畝代名元引合

相透無御座候依而拙者共

連判を以如斯奉願候

已上

右地遜人 松太郎

右地遜受人 善十郎

上若柳 右松太郎親類二而

五人組 弥治右衛門

右善十郎親類二而 五人組頭

上若柳 萬之丞

右松太郎与頭 徳兵衛

上若柳肝入 五四郎

下若柳肝入 阿戸丈左衛門

田代貳貫六百拾五文 元善地

畑代八拾四文 松原分

右之内

一畑代貳拾七文 壹反貳七式拾歩 〓畝、以下同じ

但同村御百姓前惣ノ町屋敷
清作方へ分遜仕置候分

残高貳貫六百七拾貳文

田代貳貫六百拾五文 貳丁五七廿四歩 〓町、以下同じ

畑代五拾七文

前惣ノ町屋敷
清作

高畑代貳拾七文 壹反貳七式拾歩

但右高同村御百姓丈左衛門分遜受候分

堰袋屋敷
甚之丞

高八百六拾貳文

田代六百五拾七文

一七拾壹文 元善地
一五百八拾六文 又園上分

畑代貳百五文 増子分

右之内

一畑代六拾七文 四反貳拾九歩

但同村新御百姓野山田屋敷
留吉方へ分遜仕置候分

目錄番号四〇八

〔御蔵入本地高分増減言人前調并新田分共二〕

(注) 目錄四〇七までの分遜願に従つて、遜人・遜受人各々の増減を調べたものである。遜人に関しては重複するが、そのまま掲載する。

惣之町屋敷

阿倍丈左衛門

高貳貫六百九拾九文

(注) この持高は、目錄四〇七の御蔵入分のみの高である。

(注) 目錄四〇七の御蔵入分。

一 同拾文 老反三步

但同村御百姓大歩屋敷弥七
方江分遜置申候分

残高七百八拾五文

式反九七廿六歩

田代六百五拾七文

畑代百貳拾八文

此内

一七拾壹文 八七廿四歩 毎年倒目引

野山田屋敷

留吉

高畑代六拾七文 増子分

但同村御百姓堰袋屋敷
甚之丞分遜受候分

地藏田屋敷

金之丞

高貳貫六拾九文

(注) 目録四〇七の御藏入分

田代壹ノ九百五拾四文

元善地

畑代百拾五文

松原分

右之内

式反五七式拾五歩

一 田代三百三拾四文

但同村御百姓西田屋敷
勇吉方へ分遜置申候分

老反□□

一 畑代貳拾壹文

但右品々同断同人江入候分

一 田代七百五拾壹文 五反九七廿七歩

但右高上若柳御百姓
義左衛門方へ分遜置申候分

〆 壹ノ百三拾七文 〆しめて

田代壹ノ百拾六文

畑代貳拾壹文

残高九百三拾貳文

七反式七拾貳歩

田代八百六拾九文

畑代九拾四文

西田屋敷

勇吉

高三百五拾五文

式反五七廿五歩

田代三百三拾四文

元善地

畑代貳拾壹文

松原分

但同村御百姓地藏田屋敷金之丞分遜受候分

同屋敷

慶治

高九百六拾文

六反五七七歩

田代八百貳拾貳文

繰上分

人足之外無小役

明治貳年今末三ヶ年

六反七七式拾七歩

畑代百三拾八文

小松分

但田畑共同村新御百姓ニ罷成申候分

野山田屋敷代御百姓

弥平治

高九百八拾七文

八反七七式歩

田代九百弍文 銘下

四反四七四歩

畑代八拾五文 増子分

但右高後家女けさ跡地本銘散田之所

當巳ノ年今未拾五ヶ年

散田並御免高二被成下

右弥平治代御百姓ニ被成下度候事

大歩屋敷

弥七

高田代百六拾四文 二元善地

老反四七七式拾六歩

高畑代拾文

但右高同村御百姓甚之丞方今遜受候分

合高百七拾四文

田代百六拾四文

畑代拾文

幅屋敷

四右衛門

高田代壹ノ二百五拾六文 銘下

老丁三七式拾六歩

高田代百四拾八文 上若分

外 老反四七拾五文

高田代六拾文 繰上分

五七拾四歩

合高壹ノ五百六拾四文

迎田屋敷
代替 留蔵 ニだいがわり

高壹ノ四百三拾五文

田代壹ノ三百文 又銘上分

畑代百三拾五文 岩畑分

右之内

一 田代五百三拾六文

四反五七四歩

但同村新御百姓四反町屋敷五右衛門方へ永代分遜申候分

一 畑代拾五文

七七八歩

但右品々同断

一 畑代拾文

五七歩

但同村御百姓揚場屋敷庄助方へ永代分遜申候分

ノ五百六拾壹文

田代五百三拾六文

畑代弍拾五文

残高八百七拾四文

九反九七式歩

田代七百六拾四文

畑代百拾文

同所屋敷(富四郎養父)

伊惣治

高田代壹貫五百六拾五文

一 壹貫三百五拾七文 銘下

(注) 目録四〇七の御蔵入高には
ほ一致。

一百四拾八文

上若分

一六拾文

繰上分

右之内

一百四拾八文

上若分

壹反四七拾五歩
但同村御百姓幅屋敷四右衛門方へ永代分遜置候分

一六拾文

繰上分

但品々右同斷

ノ百八文

残高田代壹ノ三百五拾七文

壹反九七廿九歩
壹丁四七壹歩
四反町屋敷
五右衛門

高五百五拾壹文

田代五百三拾六文 又銘上分

畑代拾五文 岩畑分

但田畑代二面同村新百姓二罷成申候分

小倉田屋敷
長三郎

高壹貫六拾五文

田代九百貳拾九文 元善地

畑代百三拾六文 岩畑分

右之内

一畑代八拾文 壹反貳七拾四歩

但右高上若柳御百姓民助方へ永代分遜置候分

一田代五文 拾九歩

但右高同村御百姓愛之助方へ永代分遜置候分

一畑代四拾文 貳反歩

但右高下若柳御百姓中野屋敷種吉方へ永代遜渡候分

ノ百貳拾五文

田代五文
畑代百貳拾文

残高九百四拾文

田代九百貳拾四文 八反四七廿歩

畑代拾六文 外五七四歩

一高田代四拾壹文 上若分

但同村御百姓柳町屋敷柴作方へ遜受候分

合高九百八拾壹文

田代九百六拾五文

一九百貳拾四文 元善地
一四拾壹文 上若分

畑代拾六文

中野屋敷
種吉

高九拾貳文

(注) 目録四〇七の御蔵入高にほぼ一致する。

四七三歩
田代五拾弍文 上若分

但同村御百姓榮作方々永代遜受候分

畑代四拾文 岩畑分

但同村御百姓長三郎方々永代遜受候分

幅屋敷
作右衛門

式反壹七拾八歩
高田代弍百八文 上若分

但同村御百姓榮作方々永代遜受候分

揚場屋敷
庄助

高田代弍拾文 元善地

外
高畑代拾文 岩畑分

但右高同村御百姓迎田屋敷留藏方々遜受候分

合高三拾文

田代弍拾文
畑代拾文

野町屋敷
榮作

高壹貫弍百弍拾五文

田代壹ノ弍百弍拾三文

(注) 目錄四〇七の御蔵入高には
ほ一致。

一八百六拾七文 上若分
一三百五拾六文 繰上分

畑代弍文 岩畑分

右之内

四七三歩
一 田代五拾弍文

但同村御百姓中野屋敷種吉方へ遜渡候分

式反壹七拾八歩
一 田代弍百八文

但同村御百姓幅屋敷作右衛門方へ遜渡候分

五七四歩
一 田代四拾壹文

但同村御百姓小倉田屋敷御百姓長三郎方へ遜渡候分

三反廿五歩
ノ 三百壹文

残高九百弍拾四文

八反八七六歩
田代九百弍拾弍文

一五百六拾六文 上若分
一三百五拾六文 繰上分

畑代弍文

右之通當御調ニ付遜渡

置候分此度高分仕度壱人前

増欠如斯申上候以上

明治弍年 肝入

七月 阿倍丈左衛門

下若柳御蔵入本地

當御調 二 付上若柳 江

榎高 二 罷成候分左 二 申上候

高田代七百五拾壹文

但下若柳御百姓金之丞持高上若柳

御百姓義左衛門方へ永代遜渡候分

此度高分仕度如斯

高田代五文

但下若柳御百姓長三郎持高上若柳

御百姓愛之助方へ永代遜渡

候分此度高分仕度如斯

高畑代八拾文

但同村右同人持高上若柳

御百姓民助方へ永代遜渡候

分此度高分仕度如斯

合高八百六拾七文

一 田代七百五拾六文

一 畑代八拾文

高畑代拾壹文

右之通上若柳御百姓共

遜渡候分 二 御座候間當改 〆

同村 江 遜高 二 罷成候様被成下度如斯

申上候以上

明治二年 肝入

七月 阿倍丈左衛門

下若柳御蔵入新田

高ノ内永代遜渡候分

高分仕度増減調左 二

申上候

野町屋敷 兵作

高田代拾弍文 若柳銘下

但右高同村御百姓作右衛門方へ

永代遜渡置候分

上田中屋敷 与右衛門

高畑代五文 増減分

但右高同村御百姓長松方へ

永代遜渡置候分

迎田屋敷
松蔵

高田代拾三文 卷七六歩 若柳銘下

但右高同村御百姓五右衛門方へ

永代遜渡置候分

川前屋敷
用吉

高畑代三拾九文

但右高同村御百姓弥平治

方へ永代遜渡置候分

堰袋屋敷
甚之丞

高八拾八文

田代八拾七文 八七廿九歩 若柳銘下

畑代壹文 壹七拾歩 増減分

但右田畑代共同村新御百姓

留吉方へ永代遜渡置候分

滝ノ上屋敷
松五郎事

松太郎

高畑代拾壹文 畑分

但右高上若柳御百姓善十郎

方へ永代遜渡置候分

右之通常御調ニ付遜渡置候分

此度高分仕度分壹人前増欠如斯

申上候已上

明治貳年 肝入

七月 阿倍丈左衛門

目録番号四〇九

地形分遜願上候御^事支(肝入丈左衛門分)

目録番号四〇七と字句の異同はあるが基本的に同文なので掲載を省略する。

目録番号四一〇

地形分遜願申上候御^事支(野町屋敷栄作分)

目録番号四〇七と字句の異同はあるが基本的に同文なので掲載を省略する。

目録番号四一一

地形分遜願申上候御_事 支(西田屋敷勇吉分)

目録番号四〇七と字句の異同はあるものの基本的に同文なので掲載を省略する。

地形分遜奉願候御_事 支(迎田屋敷留蔵分)

目録番号四〇七と基本的に同文なので掲載を省略する。

目録番号四一二

地形分遜願申上候御_事 支(滝ノ上屋敷松太郎分)

目録番号四〇七と基本的に同文なので掲載を省略する。

目録番号四一五

乍恐地形永代遜渡候

分_等前願左 申上候

上伊澤下若柳御百姓
阿部丈左衛門抱地
高指引人
権左衛門

目録番号四一三

地形分遜願申上候御_事 支(野町屋敷兵作分)

目録番号四〇七と基本的に同文なので掲載を省略する。

高壹貫八拾八文

高百_外拾九文 本地新里村 江入作

高六拾五文 新田

高壹貫貳百七拾貳文

田代壹貫百九文

内四拾壹文 新田
畑代百六拾三文

内式拾四文 新田
但右高同村新御百姓保治方 江

永代遜渡候様被成下度奉願候

目録番号四一四

以下西田屋敷勇吉分は、目録番号四〇七と同文なので省略。

同郡同村御百姓

勇治

(注) 大立目録

高式貫三百五拾五文

田代式貫六拾三文

畑代式百九拾式文

右之内

一八百七拾五文

田代八百式拾六文

畑代四拾九文

但右ハ同村御百姓勇吉方江

永代遜渡候様被成下度奉願候

(注) 西田屋

以下堰袋屋敷甚之丞分、死亡仁十郎後家女けさ跡地分、迎田屋敷留蔵分は、目録番号四〇七と同文なので省略。

〔御蔵入本地并新田永代遜渡高吉人調(四通)〕
目録番号四〇八と同文のため、掲載省略。

目録番号四一七

〔地形分遜願五通〕

石者多ハはた三間
下々畑拾四間

壹畝拾式歩

壹文

保吉

右高同村御百姓長吉方江

成田義三郎様御知行本地

右ハ平屋敷分

道者多 式百四拾文

弥平

道下 壹ノ六拾八文

右ハ小倉田分

高田代百七拾壹文

林之丞

右ハ外屋敷分

高田代式拾六文

庄左衛門

右ハ上場屋揚場しき分

高畑代式百五拾八文

清七

右ハ下屋敷与兵衛分徳左衛門分

目録番号四一六

高畑代百四拾五文 二ノ宮平吉様

内
一九拾文 与太郎

卯平

上伊澤下若柳御蔵入并
御給人様前御百姓
惣ノ町屋敷 肝入
保吉

高田代五百三拾六文

与太郎

高四ノ四百三拾七文

但小倉田分 成田様分

同人

田代四ノ百三拾九文

高田代貳拾九文

同人

同人様分

一貳ノ七百拾三文 御蔵入
一七百五拾七文 伊達下総様御知行
一六百國拾九文 成田義三郎様御知行
一四拾文 松崎求馬様御知行本地

高田代三拾九文 御蔵入新田

養助

畑代貳百九拾八文

但長太郎分

高畑代五拾六文 南下幅村入作 新田

甚五郎

一三拾文 御蔵入 卯平方へ
一貳拾六文 与太郎方へ 二ノ宮平吉様

高八百七拾五文

勇治

寛永十八年御竿答

田代八百貳拾六文
畑代四拾八文

但大立目分

高畑代八拾文

与右衛門

西者多 ハハタ 拾貳間
下畑 拾八間 七畝六歩 拾四文

内
一七拾文 脇坂様分
但中橋本分

一五文 御蔵入新田
一五文 水澤分新田

民助

右高此度上若柳御給人様前御百姓
清十郎方へ永代 二分遜持添高 二被
成下度奉願候右高遜相受而も五ノ
文以上之持高 二不罷成候

地形分遜願申上候御事

右之通奉願候保吉義

御年貢諸色皆濟仕候清十郎

養助義末々共御年具諸色無滞

上納仕候者共御座候間如願之

被成下度奉存候若遜り人

近年立續兼地活却

罷有候致毛右高遜受人

方へ持添可仕候間如願之

被成下度奉存候此以後

出入為無御座双方親類五人組

与頭地肝入肝入立合地形

境見届廣狭無之様

分渡人数帳御田地見帳

御檢地帳へも高名元寄

畝引合相違無御座候

此度御付右高分願

御免被成候付御地頭

様方御指支無御座

御證文差添拙者共

連名を以如斯奉願候已上

文政九年

五月

下若柳地形
分遜人二而

同村肝入 保吉

上若柳地形
遜受人

清十郎

下若柳地形
遜受人

養助

右保吉親類二而
五人組

東藏

五人組

善兵衛

七郎治

五右衛門

右清十郎親類二而
保吉五人組

喜助

右養助
親類

長吉

保吉五人組
与頭

茂吉

清十郎与頭 吉兵衛

養助与頭 徳左衛門

伊達下総様
成田義三郎様地肝入二而

上若柳肝入 民助

千田五右衛門殿

大肝入

地形分遜願申上候御事

上伊沢下若柳御給人様前
御百姓大立目屋敷

勇治

高式ノ三百五拾五文

一圓松崎求馬様
御知行本地

田代式ノ六拾三文

畑代式百九拾式文

右之内

寛永十八年御竿答 大立目屋敷善左衛門分

(空欄)

右高此度同村御蔵入 并 御給人様前

御百姓勇吉方へ永代二分

遜持添高ニ被成下度奉願候

右高遜相受候而も五ノ文已上

之指高ニ不罷成候

御指文書

地形分遜入

勇治

地形相遜受人

勇吉

右勇治親類

直治

右勇吉親類

作太郎

右勇治五人与

平十郎

与五右衛門

丑松

与頭

庄左衛門

松崎求馬様
□□ニ而肝入

保吉

千田五右衛門殿

大肝入

地形分遜願申上候御事

上伊澤下若柳御御給人様前

御百姓
幅屋敷

与太郎

高式ノ七拾五文

田代式ノ三拾式文

内四百八拾式文 新田
一五百九拾四文
一四百三拾八文

成田義三郎様御知行本地
伊達下総様御知行新田

畑代四拾三文

伊達下総様御知行新田

右之内

寛永十八年御竿答小倉田屋敷長治郎分

導下 拾八間
上 四拾間 式反四畝歩 三反六拾文

下田 三拾式間
三十四間 三反六畝八歩三百九拾九文之内

合田代五百三拾六文

下田 百七拾六文

右高此度同村御給人様前

御百姓作之允方（本）へ永代

分遜持添高（二）被成下度

奉願候右高遜相受候而も

五ノ文以上之持高（二）不罷成候

（空白）

右高此度同村御給人様前

御百姓甚五郎方へ永代分遜

持添高（二）被成下度奉願候

右高遜相受而も五ノ文以上之

持高（二）不罷成候

右之通奉願候与太郎義

御年具（貢の音通が）諸色皆濟仕候作之允甚五郎

義末々共御年ぐ諸色無滯上納

仕候者共（二）御座候間如願之被成下

度奉存候

地形分遜人

与太郎

同遜受人

作之允

〃

甚五郎

右与太郎親類

右作之允親類

四右衛門

右甚五郎親類

右与太郎五人組

吉太郎

林之丞

〃 清七

〃 □ □

〃 作太郎

〃 卯平

〃 四右衛門

右与太郎

甚五郎 与頭市三郎

右作之允

与頭 長右衛門

民助

同村肝入 保吉

大肝入 千田五右衛門殿

地形分遜願申上候御事

上伊澤下若柳御藏人并御給人様前
御百姓迎田屋敷

清七

高壹ノ九百拾貳文

内四拾五文 新田 南下幅村へ入作

田代壹ノ五百五拾五文

一壹ノ貳百文 藤澤義之助様御知行
一三百五拾五文 松崎求馬様御知行

畑代三百五拾七文

内四拾五文 新田 南下幅村へ入作
一貳百八拾八文 下総様御知行
一四拾五文 二ノ宮平吉様御知行
南下幅村入作

右之内

寛永十八年御竿筈下屋敷与兵衛分

道考 中畑 十貳間 五七六歩 廿貳文

下畑 廿三間 壹反五七拾歩 三拾壹文

下畑 十九間 壹反三七廿八歩 廿八文

上畑 十老間 九七拾六歩 五拾七文

中畑 九間 三七拾八歩 拾四文

下々畑 八間 貳七廿壹歩 三文

下畑 十七間 壹反四七五歩 貳拾八文

中畑 十間 八七廿歩 三拾五文

下畑 廿六間 貳七歩 拾八文

下屋敷 十八間 壹反壹七拾貳歩 三三 三文

右高此度一字御給人様前

御百姓弥右衛門方へ永代^二

分遜持添高^二被成下度

奉願候右高遜相受而も

五ノ文以上之持高^二不罷成候

御指文書

下若柳
地形分遜人

清七

上若柳地肝人
遜受人 弥右衛門

右清七親類

右弥右衛門親類

半六

右清七五人与 吉太郎

林之允 承

甚五郎

長右衛門

〃 作太郎

〃 卯平

〃 四右衛門

〃 与太郎

与頭 市三郎

右衛門与頭 三左衛門

下堰園地_{ニテ} 民助

上若柳肝入 保吉

大肝入 千田五右衛門殿

右之内

高九拾壹文

田代七拾七文
畑代拾四文

但右高此度上野様御家中

坂野熊之進殿高指引人

三右衛門方_江 永代持添地_ニ 被渡

下度奉存候尤右高當年_ニ

末拾五ヶ年散田並御免高_ニ

被成下度奉願候

高田代三百七文

但右高此度下若柳御給人様

前御百姓慶助方_江 永代持添

地_ニ 被渡下度右品々前同断

高田代壹百三拾八文

但右高此度上若柳御給人様

前御百姓直藏方_江 永代持添

地_ニ 被渡下度右品々前同断

高田代七百八拾三文

但右高此度上野様御家中

目録番号四一八

乍恐奉願候御事〔永代遜渡願〕

上伊澤下若柳禿
御百姓利惣治跡地

古散田

高式_ニ 貫_{以下同シ} 三百拾九文

田代式_ニ 三百五文
松崎仲太夫様御知行本地

畑代拾四文

伊藤勇作殿高指引人

民治方 江 永代持添地 二 被成下

度右品々前同断

右之通奉願候右利惣治

跡地御年具諸式皆濟仕候三右衛門

亦右人数末々とも御年貢

諸式無滯上納仕候者 二 御座候間

如願之無地代金 二 而永代持添地 二

被成下度前理書 二 申上候通り

當年 今 末拾五ヶ年散田並

御免高 二 被成下度奉願候

此已後出入無御座多免双方

親類五人^組与合与頭地肝入

肝入立合地形境見届廣狭

無之様分渡候上人数帳 并

御田地見帳御檢地帳 江 も高

寄畝代名元引合相違無

御座候依而拙者共連判ヲ以

如此奉願候已上

文久三年

六月

右利惣治跡地作子人 二 而
遜受人

上野様御家中坂野熊之進殿
高指引人

三右衛門印

与頭 上若柳
直 藏印

上野様家中伊藤勇作殿
高指引人

民 治印

慶 助印

三右衛門親類 二 而
五人与 茂 助印

与頭直藏親類 二 而
五人組 丑太郎印

民治親類 二 而
五人与 忠太夫印

慶助親類 二 而
五人与 清 作印

同人五人与
勘之助印

三右衛門与頭
十 作印

民治与頭
新太夫印

慶助与頭
萬 太印

松崎忠太夫様地肝入 二 而
下若柳肝入

丈左衛門印

上若柳肝入
五四郎印

大肝入
千田五郎右衛門殿

目錄番号四二〇

地形分遜新御百姓願

申上候御事

上伊沢下若柳
御給人様前御百姓
柳ノ町屋敷

善吉

目錄番号四一九

〔地形遜渡願 (断片)〕

記

□中野
一高畑代拾文 小野茂傳治分

此畝□
但右高戸田義三郎分水

澤野久六方へ立付田一口之

畑与^ト 取替地此度米三斗

五升を以永代遜渡候事

右之通双方取替地此度

地代米三斗五升受取永

代相遜候義相^ト遠無御座候

為後日一札如件

下若柳証人三而
世話人

阿部勝治

高橋酉五郎殿

高^ト壹^ト九百四拾五文
一四拾八文 新田

田代^ト壹^ト七百拾七文

一八百九拾五文 佐々助五郎様御知行本地
一八百拾八文 藤澤敬治様御知行本地

畑代式百貳拾八文

一四拾八文 新田
一四拾八文 上野様御知行新田

一三拾貳文 成田様分

一四拾三文 佐々様分本地

一百七文 藤澤敬治様御知行本地

御竿答和泉様分^{脱方} けしやうの屋敷三四郎

石畑持添^{七間} 下畑^{拾貳間} 式七式拾四步 六文

右之内

御竿答ま多木屋敷作右衛門

川かけ^{拾九間} 下田^{拾九間} 壹反式七壹步 百三拾貳文

上田^{貳拾貳間} 貳拾四間 壹反七拾八步 貳百六拾四文

中田 式拾三間 壹反八七拾式步 式百三拾九文

下田 式拾五間 壹反六七式拾步 百八拾三文

上屋敷 式拾七間 壹反九七式拾四步百拾九文之内

上屋敷 百七文

合高

田代八百拾八文
畑代

但右高善吉同家ニ罷在候

伯父林作江 永代分遜右

畑代 之内まだ木ト

申者江 新屋敷場相建人

数拾壹人ニ而新御百姓ニ被成

下度奉願候右場所者_ハ

御留野場ニも無御座候右

善吉義跡人数九人ニ而

御田地仕付御郡役共指支

申義無御座候此節新

御百姓代百姓之儀厚ク

御世話被成下候御趣意

奉勘弁如此ニ御吟味仕候間

如願之新御百姓ニ御吟味

被成下度奉願候

一柳ノ町屋敷善吉 五拾_ハう

一女房 与し 四拾七

一男子 善治 拾う

一男子 常吉 拾四

一女子 なか 拾七

一男子 茂七 式拾壹

一男子 大吉 三拾う

一孫女 いろ 式つ

一孫男 新吉 七つ

一伯父 林作 六拾六

一女房 者る_ハは 六拾う

一從弟男 善作 式拾三

一從弟女 ミん 三拾う

一從弟男 勘之助 三拾八

一女房 あき 三拾三

一從弟男 林七郎 壹つ

一從弟男 勘作 六つ

一從弟男 善兵衛 拾式

一從弟女 たか 拾四

一從弟男 幸之助 拾六

合式拾人 内男拾三人 女七人

右之内

新御百姓
一問田木屋敷 林作 六拾六

女房 者る 六拾

男子 善作 式拾三

女子 ミん 三拾う

男子 勘之助 三拾八

女房 あき 三拾三

孫男 林七郎 壺つ

孫男 勘作 六つ

孫男 善兵衛 拾弐

孫女 たか 拾四

孫男 幸之助 拾六

合拾壹人 男七人
女四人

右之通奉願候右善吉

義御年具實、普通諸式皆済仕候

右林作義末々共御年貢

諸式共無滯上納仕候者二御座

候間如願之被成下度奉存候

此已後出入為無御座双方并

親類五人組与合組頭地肝入

肝入立合地形境見届廣広

狭無之様分渡し候上人数帳

御田地見帳御檢地帳江も高

寄七代名元引合相透遠

無御座候尤御地頭様方

御指支無御座段御證文証

相添拙者共連判ヲ以如此

奉願候已上

右地遜人 善吉

文久三年

十月

藤澤敬治様地肝入二而右地遜受人 林作
善吉林作親類二而五人与 留五郎

〃 治右衛門

〃 東作

〃 与頭 今朝吉

右村肝入 丈左衛門

千田五郎右衛門殿

目錄番号四二一

〔地形分遜新御百姓願〕

主人御知行上伊沢若柳村

御百姓弥藏持高田代

三百七拾九文畑代五十文

此度同家 罷在候男子

弥七 分遜同村新御百姓 二

被成下度段申出候所

主人方指支申儀無御座候

間右之御首尾被成下度

候以上

松崎仲太夫内

安政五年 田代栄太夫

三月

岩崎秀之助様

目録番号四二二

地形分遜新御百姓願

申上候御衷

上伊沢下若柳御藏入并
御給人様前御百姓
大歩屋敷鉄砲持

弥藏

高壹 百四拾四文 一貫 以下同

田代六百四拾三文 一八拾五文 新田

右之内 御藏入本地
松崎仲太夫様御知行本地
上野様御知行新田

(注) 檢地帳では「上野山田」と。

御竿答 上山田屋しき但馬并大歩屋敷平八

等之分

久根合 六間 二畝 以下同 式七六歩 式拾四文

下田 拾壹間 川者多 二はた 拾八間 式七六歩 式拾四文

下田 拾貳間 壹反四七式拾六歩 高田代百六拾四文 御藏入本地

川原田 拾壹間 下々田 貳拾間 七七拾歩 五拾九文

下々田 七間 貳拾壹歩 六文

下々田 九間 四七拾五歩 三拾六文

下田 拾貳間 五七拾八歩 六拾貳文

下田 四間 貳七歩 式拾六文

下々田 拾四間 四七拾歩 三十五文

山下 九間 四七式拾四歩 拾文

漆畑 拾間 四七歩 四文

平畑 拾六間 九七式歩 三拾六文

中畑 拾七間 高式百七拾文 松崎仲太夫様御知行本地

式反四七拾四歩
田代貳百貳拾文

壹反七七貳拾六歩
畑代五拾文

五反七七六歩
合高四百三十四文

田代三百八十四文

畑代五拾文

但右高同家ニ罷有候男子弥七

方へ永代分遜右畑代之内大步ト

申所ニ新屋敷相^堅人数四人ニ而

新御百姓ニ被成下度奉願候

右場所ハ御留野場ニも無御座候

右弥蔵儀跡人数拾三人ニ而御田地仕付

相續指支申義無御座候此節新御百姓

一大歩屋敷 鉄砲持 弥蔵 七拾九

- 女子 登免^ニとめ 拾四
- 男子 弥之助 拾七
- 女子 春き^ニすき 三拾壹
- 男子 弥七 三拾七
- 女房 ちへ 貳拾八
- 孫男 弥市郎 五つ
- 孫男 弥五郎 八つ
- 男子 弥治右衛門 三拾九
- 女房 つき 三十七
- 孫男 吉之助 貳つ
- 孫女 ふく 四つ

- 孫男 弥与治 五つ
- 孫女 ふゆ 七つ
- 孫女 た^四 十
- 添人 弥平治 三拾貳
- 女房 きよ 式十四

合拾七人 男九人 女八人

右之内

新御百姓
一大歩屋敷弥七 三十九

一女房 ちへ 式十八

一男子 弥市郎 五つ

一男子 弥五郎 八つ

合四人内 男三人 女一人

但右人数四人ニ而新御百姓ニ被成

下度奉願候右弥蔵儀跡

人数拾三人ニ而御田地仕付

相續指支申儀無御座候間

如願之新御百姓ニ被成下度

奉願候

右之通奉願候右弥蔵儀

御年貢諸式皆済仕候右弥七

義末々御年貢諸式共無滞

代御百姓仕之儀厚御世話被成下候御意奉動弁知所^願御田地仕候^間如願之
新御百姓御吟味被成下度奉願候

上納仕者^二御座候間如願之
被成下度奉存候此已後出入
為無御座双方^并親類五人組
与頭^組地肝入肝入立合地形境
見届^以廣狭無之様分渡し
人数帳御田地見帳御檢地

帳江も高寄畝代名元

引合相透^以無御座候尤御地頭

様方御指支無御座段御證文^以

指添拙者共連判を以

如斯奉願候已上

安政五年

三年

右地遜人 弥 藏
右地遜受人新御百姓 弥 七
右弥藏弥七親類 倉 藏
五人組 甚之丞
種 藏
松五郎
栄 松
彦四郎

大肝入

千田五郎右衛門殿

与頭 徳兵衛
松崎仲太夫様地肝入^二而
同村肝入 丈左衛門

目錄番号四三三

〔永代遜渡内証文（断片）〕

右之通 略

水沢町五長

安彦久太郎

塩釜村々長

朴沢権平

若柳村村長

阿刃丈左衛門^以部の略字

上伊沢若柳村旧婦

農伊藤富吉持高

之内塩釜村^江入作高

此度同郡塩釜村

水沢横町御百姓

高橋幸八方へ永代

分渡内証文^以之^以事^以夏

高畑代四拾四文

塩釜村本地三反七十刈

此地代錢九拾文

右之通地代錢受取永代

遜渡候義相透通無御座候右

地形貴殿方へ相遜候上ハ

右地 出ル租税ハ不及申□

諸御郡役共此末貴殿方ニ而

可仕相濟候右地ニ付相對之

借財ハ勿論諸上納カ、リ

一圓無御座候右地ハ萬一

故障ケ間敷義出来候節ハ

私共罷出訖度埒明可申候

双方願之義ハ何時成共

貴殿御勝手次第可被罷

出候其節印形等聊指支

申義無御座候依而親類并

指南人五人組五長立合地形

境見届廣狭無之様踏渡し之後

村長衆御末書申受始末如件

明治四年七月

若柳村地形遜人

伊藤富吉

同村五長
□間木新左衛門

同村親類

塩釜村指南人
新妻与五六

高橋勇吉

塩釜村水沢町
地形受取人

佐々木栄吉

高橋幸八殿

目錄番号四二四

明治貳年

下若柳
肝入方

高分前願并新代御百姓願扣

巳ノ二月

乍恐地形永代遜渡候

分御高前願左ニ申上候

上伊澤下若柳御百姓
阿尸丈左衛門抱地高
指引人

権左衛門

高老貫八拾八文

高百拾九文外 本地 新里村 江入作

高六拾五文 新田

〆^〆壹^〆〆^〆百七拾弍文

田代^〆百九文

内 四拾壹文 新田

畑代百六拾三文

内 弍拾四文 新田

但右高同村新御百姓

保治方へ永代遜渡候様

被成下度奉願候

同郡同村御百姓
与頭

勇 吉

高九百六拾文

高^外拾四文 新田

〆九百七拾四文

田代八百弍拾弍文

畑代百五拾弍文

一拾四文 新田

右之内

一九百六拾文

田代八百弍拾弍文

畑代百三拾八文

但右者^{は、}同村新御百姓

慶治方へ永代遜渡候様

被成下度奉願候

同郡同村
御百姓

高弍貫三百五拾五文

田代^〆六拾三文

畑代^〆百九拾弍文

右之内

一八百七拾五文

田代八百弍拾六文

畑代四拾九文

但右ハ同村御百姓勇吉

方へ永代遜渡候様被成

下度奉願候

同郡同村御百姓

甚之丞

高九百九拾六文

高^外八拾八文 新田

〆壹^〆〆^〆八拾四文

田代八百七拾八文

一八拾七文 新田

畑代^〆百六文

一壹文 新田

右之内

一^外弍百壹文

一^外弍拾八文 新田

〆^〆百八拾九文

勇 治

田代貳百貳拾壹文
一八拾七文 新田
田代六拾八文
一壹文 新田

但右ハ同村新御百姓

留吉方へ永代遜渡候様

被成下度奉願候

同郡同村死亡
仁十郎後家女跡地

年数散田

高壹貫四拾七文

高^外五百五文 新田

ノ壹貫五百五拾貳文

田代壹ノ四百七文
一五百五文 新田
畑代百四拾五文

但右ハ同村御百姓弥治右衛門

添人弥平治与申者代御百姓^ニ

被成下度奉願候尤右高

當年^ニ末拾五ヶ年散田

並御免高^ニ被成下^ニ多^ク

奉願候

同郡同村御百姓

酉 蔵

高壹ノ六百七拾五文

高^外拾三文 新田

ノ壹ノ六百九拾六文

田代壹ノ五百貳拾七文
一拾三文 新田
畑代百六拾五文

右之内

一五百五拾壹文

田代五百三拾六文
畑代拾五文

但右高同村新御百姓

五右衛門方へ永代遜渡候様

被成下度奉願候

右之通奉願候条如願之

被成下度御格願之^段ハ

追而願申上候間前願如此

申上候以上

右地遜人
肝入阿尸丈左衛門
高指引人

明治貳年

二月

ノ地形遜受人 権左衛門
ノ分遜人与頭 保 治
勇 吉

〓遜請人

慶 治

〓分遜人

勇 治

〓遜請人与頭

勇 吉

〓分遜人

甚之丞

〓遜受人

留 吉

死亡仁十郎後家女
跡地代御百姓

弥平治

〓分遜人

松 蔵

〓遜受人

五右衛門

同村与頭

徳兵衛

〓

作十郎

〓

源右衛門

〓

甚 助

〓

東 吉

〓

忠 太夫

〓

茂 吉

右村肝入

阿戸丈左衛門

千田五郎右衛門殿

大肝入

乍恐新御百姓付ニ被成下度

前願左ニ申上候御事

下若柳

高老貫八拾八文

高百拾九文外 本地 新里村江入作

高六拾五文 新田

一前惣ノ町屋敷 保治 式拾七

一 女房 里りやう 式拾壹

一 女子 茂もよ 式川しう

合三人内男老人
女式人

但右同村御百姓肝入阿戸丈左衛門部の略

同居ニ罷有候聲此度

新御百姓ニ被立下度

奉願候

高九百六拾文

一西田屋敷 慶治 四拾七

一 女房 かよ 四拾三

一 嫡女 まさ 拾六

一二女 いろ事 ふみ 九川 つ

一 母 恵き 六拾五

合五人内 男一人 女四人

但右ハ同村御百姓与頭勇吉

同居ニ罷在候養弟

此度新御百姓ニ被立

下度奉願候

此度新御百姓ニ
被立下度奉願候事

高壹ノ四拾七文

高五百五文 外 新田

一同所屋敷 弥平治 四十三

一 女房 きよ 三十五

一家督掣 駒蔵 貳拾三

一 女房 ふか 貳拾壹

一 次男 平助 六川 つ

一 三女 まさ 三川 つ

合六人内 男三人 女三人

但右ハ同村御百姓弥治右衛門添人

此度代御百姓ニ被立下

度奉願候

高五百五拾壹文

一四反町屋敷五右衛門 吉太郎事 三拾四

一 女房 ゑん 貳拾三

高貳百壹文

高八拾八文 外 新田

一野山田屋敷 留吉 五拾五

一家督掣 清右衛門 貳拾八

一 女房 ゑん 貳拾五

一 養男 金七 拾七

一 三女 登免 とめ 拾六

一 四男 民蔵 拾三

一 孫男 清蔵 四川 つ

合七人内 男五人 女二人

但右ハ同村御百姓甚之丞姉

一嫡男 吉之助 五川いづ

合三人内 男貳人
女壹人

但右ハ新里村御百姓五郎助

同居ニ罷有妹聳此度

新御百姓ニ被立下度奉願

候事

右之通代御百姓付并

新御百姓ニ被成下度如

斯申上候以上

明治貳年 阿刀いづ丈左衛門

二月

(注) 以上の内容は、明治貳年「下若柳高人数名歳御改帳」(胆沢古文書資料集第二十二集)で確かめることができる。ちなみに、残されている人数帳から知るかぎり人頭数は、安永八年七八軒、天明・天保の飢饉をはさんで、弘化二年六九軒、明治貳年七四軒と推移している。

四月

上若柳

高田代四百七拾壹文 弥惣右衛門方の保吉方へ

高畑代拾文 栄治方の高指引人方へ

高畑代三文 同人方の市三郎方へ

高五拾文 弥惣跡地

田代四拾壹文 地損
畑代九文

右之内

一畑代九文

御蔵入并御給人様前
右高同村御百姓肝入保吉

持添高ニ被成下度候

惣ノ町屋敷
保吉

高畑代壹文 成田義三郎様御知行本地

右高此度同村御蔵入并御給人様前

御百姓長吉方江永代ニ分ケ遜り

持添高ニ被成下度候

川前屋敷
養助

目録番号四二五

文政九年 肝入 保吉

高分ケ願壹人前遜高調帳

高畑代三拾九文 御蔵入新田

右高此度同村御給人様前御百姓徳左衛門

方へ永代分ケ遜持添高ニ被成下度候

小倉田屋敷

弥平

高百九拾六文

右高此度同村御給人様前御百姓

甚五郎方へ永代ニ分ケ遜持添高ニ

被成下度候

右同人

高畑代七文 右同人様御知行本地

右高此度同村御蔵入并御給人様前

御百姓作太郎方へ永代分ケ遜り

持添高ニ被成下度候

地藏田屋敷

林之丞

高田代百七拾壹文 下□様御知行本地

右高此度同村御給人様前御百姓

勇吉方へ永代分遜持添高ニ

被成下度候

迎田屋敷

清七

高畑代貳百五拾八文 右同断

右高此度御給人様前御百姓上若柳

源右衛門方へ永代ニ分遜り持そへ高ニ

被成下度候

野町屋敷

善右衛門

高畑代貳拾貳文除き

右高此度同村御蔵入并御給人様前

御百姓作太郎方へ永代分ケ遜

持添高ニ被成下度候

幅屋敷

与太郎

高田代五百三拾六文

右高此度同村御給人様前御百姓

作之丞方江分ケ遜持そへ高ニ

被成下度候

高田代貳拾九文

右高此度同村御給人様前御百姓

甚五郎方へ永代分ケ遜り持そへ

高ニ被成下度候

上場屋敷

庄左衛門

高田代貳拾六文

右高此度同村御給人様前御百姓

甚五郎方へ永代分ヶ遜持そへ

高_ニ被成下度候

大立目屋敷

勇 治

高八百七拾五文

田代八百貳拾六文
畑代四拾九文

右高此度同村御蔵入御百姓

勇_{治の誤カ}方へ永代分ヶ御遜持そへ

高_ニ被成下度候

上田中屋敷

与右衛門

高畑代八拾文

右高此度同村御給人様前御百姓

作之丞方_江分ヶ遜持そへ高_ニ

被成下度候

中野屋敷

甚五郎

高五拾六文 新田 南下幅村へ入作

右高同村御給人様前御百姓

卯平与太郎方へ永代分遜

持添入作高_ニ被成下度候

館屋敷

卯平

高畑代百拾五文 本地 南下幅村へ入作

一九拾七文

右高此度同村御給人様前御百姓与太郎方へ

永代分遜持添入作_ニ被成下度候

前屋敷

民助

高田代壹ノ貳百五拾文

右高此度同村御給人様前御百姓

三太郎方_江永代分遜持添高_ニ

被成下度候

高田代壹ノ百三拾三文

右高此度同村御給人様前

御百姓善之丞方へ永代分ヶ遜

持添高_ニ被成下度候

東蔵

高畑代貳拾三文 成田義三郎様御知行本地

右高此度同村御蔵入_并御給人様前

御百姓肝入保吉方_江永代分遜り

持添高^ニ被成下度候

壽藏

高畑代三文

御藏入本地

右高此度同村御藏入^并御給人様前

御百姓肝入保吉方^江永代分遜り

持添高^ニ被成下度候

(注)裏紙利用の文書である。紙背文書は、文政三年分「諸御給人様前御田地見調高老前割分(御手傳・御事務方・取立方)帳」と表題されたものであるが、掲載を略す。

目録番号四二六

地形永代遜渡證券^証

第十大七小區^區

下若柳

字要害

拾番 一田反別 式反六七九歩^{畝、以下同じ}

字同

拾八番 一同 三反式七壹歩

合反別 五反八七拾歩

印紙

此地價金六拾四円七拾九錢五^厘り^{以下同じ}

前頭全額正^ニ請取永代遜渡候義相違無之候

右地^ニ付諸納掛^り者^{無滯相對之借財^ニ無之候地所}

貴殿へ相遜候上者向後諸納^り無遲延可被相濟地券

證御書換願之義者貴殿御勝手次第可被相出其

節^異吳義申義毛頭申間敷候依而親類伍長

指南人連印之上証人衆調印及^印長殿奥書証印

申受地所永代遜渡證券如件

七小區下若柳右地 遜人 佐藤長三郎

六小區都鳥村 親類 千田長^松 忝

七小區下若柳 指南人 鈴木三郎左衛門

觸頭 米倉健左衛門

右村証人 阿部勝 治

安倍作右衛門殿

目録四二七

地形永代遜渡證券^証

第十大區七小區

字要害

十番

一田反別 式反六畝九步

引合 下若柳

高階勇治

字同

十八番

一同 三反式畝壹步

合反別 五反八畝拾步

此地價金六拾四円七拾九錢五厘

前顯金額正 請取永代遜渡候義相透無之候

右地 付諸納掛り者無論相對之借賤亦無之候

貴殿へ相遜候上ハ向後諸納亦無遲延可被相濟

地券證御書換願之義ハ貴殿御勝手次第可被相出

其節異儀申義毛頭申間敷候依而親類伍長

指南人連印之上証人衆調印及戸長殿奧書証印

申受地所永代遜渡證券如件

七小區下若柳右地
遜人 佐藤長三郎印

明治八年 亥ノ三月

字芦隨

六十七番

一荒畑萱成 壹反三七拾步

第十大區七小區下若柳

此地價金壹斗五升

前顯金額正 受取永代遜渡候義相透

無之候右地之義者從來 荒地 付諸上納掛り

今般地租御改正 付而者地租可被相濟

無之地所貴殿へ相遜候所

地券證御書換願之義者貴殿御勝手次第

可被相出其節吳義申義無御座候依而

親類伍長指南人連印之上証人衆調印

申受地所永代遜渡證券如件

目錄番号四二九

地形永代遜渡證券

第十大區七小區

下若柳

字□也
何番 一田反別 五七步

此地價金三拾壹切也

目錄番号四二八

地形永代遜渡證券

前顯金額正^二請取永代遜渡候義相^二透無^二之候^二
右地^二付諸納掛りハ無論相對^二之借賤^二ナ^二

無^二之候^二地所貴殿へ相遜り候上者向後諸納^二ナ^二

無^二遲延^二可被相濟地券證御書換願之義者貴殿

御勝手次第可被相出其節之吳義^二申義毛頭^二

申間敷候依而親類伍長指南人連印之上

証人衆調印及戸長殿奧書証印申受

地所永代遜渡証券如件

七小區下若柳右地
遜人 佐藤長三郎
六小區都鳥村組頭 千田長 忒

安倍作右衛門

米倉健左衛門

目錄番号四三〇

〔地形永代分遜願断片〕

但右高同村新御百姓留吉

方へ永代分遜持添地^二

被成下度右品々前同断

右之通奉願候右甚之丞

御年貢諸式皆濟仕候

右留吉^二末々御年貢諸^二
式^二も無滯上納仕候者^二

如願之被成下度奉存候

御座候間此已後出入為無

御座双方親類 并五人

組合与頭地肝入肝入立合

地形境見届廣狭無之樣

分渡人数帳御田地見帳

御檢地帳 江も高畝代名元

引合相透無御座依而

拙者共連判を以如斯

奉願候已上

明治式年

右地遜人 甚之丞

右地遜受人 留吉

留吉親類^二而 弥七

五人組 彦四郎

弥七親類^二而 五人組 弥左衛門

与頭 德兵衛

成田助之丞 地肝入 民助

前書之通相透無御座候也^二違

明治十二年三月

戸長 阿部勝

治

目錄番号四三三

乍恐奉願候御事〔永代分遜願〕

引合
内海大三郎印

上伊澤下若柳死亡

正五郎跡地

年数散田

高尙貫式百三拾壹文

田代九百九拾貳文^{一六文 御藏入本地 茶畑}

畑代式百三拾九文^{佐々助五郎様御知行本地}

一六文 御藏入本地 茶畑
一六拾四文 上野様御知行新田
一六拾九文 佐々助五郎様御知行本地
右之内

高五百七拾五文

田代五百四拾壹文 佐々助五郎様御知行本地

畑代三拾四文 上野様御知行新田

印但右高此度上若柳御給人様前

御百姓正治方^江 永代

持添地^二被成下度奉存候

尤右高當年^二末拾五ヶ年^一

散田並御免高^二被成下度^一

奉願候

高四百貳拾八文

田代三百四文 佐々助五郎様御知行本地

畑代百三拾四文

一六文 御藏入本地 茶畑
一百拾八文 佐々助五郎様御知行本地

印但右高此度同村御藏入^并

御給人様前御百姓友吉方^江

永代持添地^二被成下度右^一

品々前同断

高田代三拾文 上野様御知行新田

印但右高此度新里村御藏入^并

御給人様前御百姓五郎助方^江

永代持添地入作高^二被成^一

下度右品々同断

高田代百拾七文 佐々助五郎様御知行本地

印但右高此度下若柳御給人様

、 同人五人与
五郎助与頭
新里村
善作与頭
友吉多吉正治
与頭
良吉組頭
万
上野様地肝入^{三而}
右村肝入
右衛門^印
卯三郎^印
惣吉^印
甚助^印
今吉^印
太^印
左衛門^印

大肝入

千田五郎右衛門殿

右之通前願申出候間

如願之御聞判被渡下度

如斯申上候已上

上伊澤大肝入

千田五郎右衛門^印

同年

同月

常治様

廣之進様^廣

右之通大肝入申聞候間

當年^今年数散田並^二

被成下度候無御吳義候者^異^は

御聞判被相渡次第

格之願指出候様可仕

如斯御座候已上

同年

九月

境由右衛門殿^印

同年

同

鈴木廣之進^印
古山常治^印

目錄番号四三四

上若柳散田前^江代御百姓

附^付二相成候分調

高式拾貳貫九拾貳文

一拾壹貫九百九拾六文 年数散田

右之内

一五貫三百五拾六文

内三ノ四百七文^{年数散田}
但代御百姓付^二罷成候分

此人頭六人

一 壹ノ百三拾四文 年数散田之内

但右高當山根付萱刈窪 三之助跡地

ト申所ニ而極々難地尤今ニ

不少荒所ニ罷成居候間

當亥ノ年ノ末貳拾ケ年 諸役諸郡役御免被成下

散田前ニ而代御百姓ニ被成下

度奉願候永續仕候様被成下度

奉願候

一 四ノ貳百貳拾貳文

但右高無行衛禿跡地 内式ノ貳百七拾三文 年数散田 而ニつぶれ

年来望人茂無御座与合配 等 組

地ニ仕罷有候分此度散田相片 書忘れか

付候様被仰渡候ニ付精、吟未 味の音通か

相尽し代御百姓付吟未仕候間 式男三男之少若之者迄も見話相立

當年ノ末拾ケ年散田並

□□代御百姓ニ被成下永續仕候様 被成下度奉願候

此人頭五人

一 四ノ八百六拾四文

内式貫百三拾文 年数散田

但右高無行衛死禿跡地ニ而 凶歳後

極難地ニ付望人迎も無御座 トて

与合ニ江配地ヲ以役介仕居

候分此度散田相片付候様

被仰渡候所持添地散田並ニ

當年ノ末拾五ケ年持添地

散田並持添地ニ被成下度奉

願候

合拾ノ貳百貳拾文

内五ノ五百三拾七文 年数散田

残高拾壹ノ八百七拾貳文

内六ノ四百五拾九文 年数散田

高拾七ノ八百八拾壹文

内七ノ六百貳拾文 年数散田前 脱か

右之内 内六文 茶畑

一 式ノ四拾七文

但右高無行衛禿跡地_二而^{内九百七拾八文 年数散田前}

年来与合配地_二仕居り分

此度散田相片付候様被仰渡

吟末仕候間當年_二末拾ヶ年

散田並_二而代御百姓_二被成下度

奉願候

此人頭三人

一八_ノ四百三文

^{内式_ノ八拾九文 年数散田前}
^{内六文 茶畑}

但右高無行衛禿跡地_二而

望人迎も無御座年来与合

配地[〓]仕居候所[〓]共代御

百姓付吟味[〓]仕候間先[〓]以當

年_二末拾ヶ年散田並

持添地_二被成下度奉願候

合拾_ノ四百五拾文

残高七_ノ四百三拾壹文^{内三_ノ六拾七文 年数散田}

内四_ノ五百五拾三文 年数散田

但右高無願之極難地[〓]難場[〓]之所

〓御座候得者何様吟末[〓]候而も[〓]

代御百姓[〓]并持添_二望人[〓]も無御座[〓]

相片付兼候_二付是[〓]迄[〓]之通被[〓]

成下度分

右之通御届候間如斯

右村肝入

文久三年

丈左衛門

三月

大肝入

千田五郎右衛門殿

目錄番号四三五

上伊沢上若柳散田

代御百姓付等_二而散田

片付調書上

高式拾貳貫九拾貳文

内拾壹貫九百九拾六文 年数散田前

右之内

一 五貫三百五拾六文

内三貫四百七文年数散田前

但代御百姓付二罷成候分

此人頭六人

一 壹貫百三拾四文 年数散田前

但右高三之助跡地山根付

萱刈窪ト申所二而極々難地

尤今に、いまた于今二不少荒所二罷成居

候間當亥ノ年今末貳拾ケ年

散田並二而代御百姓二被成下

永續統仕候様被成下度

奉願候

一 四貫貳百貳拾貳文

内貳貫貳百七拾三文年数散田

但右高無行衛禿跡地二而

年来与合配地組亦仕罷在候分

此度散田片付候様被仰渡候

尔に付精、吟味相尽し次男

三男幼若之者迄も見詰二相

立代御百姓付吟味仕候間

當年今末拾ケ年散田並二而

代御百姓二罷成永續仕候

様被成下度奉願候

一 四貫八百六拾四文

内貳メ百三拾文年数散田前

但右高凶歳後無行衛禿

跡地二て極難地二付望人

沖も無御座与合江配地

ヲ以役介仕居候分此度散

田相片付候様被仰渡候處所

當年今末拾五ケ年散田並

持添地二被成下度奉願候

合拾貫貳百貳拾文

内五メ五百三拾七文年数散田前

残高拾壹貫八百七拾貳文

内六貫四百五拾九文 年数散田前

右之通御座候間如斯

申上候已上

文久三年

掛持か
右村欠持肝入

丈左衛門

三月

大肝入

千田五郎右衛門殿

罷成申候

三之助跡地 古散田

目録番号四三六

上若柳散田代御百姓付

高尓貫百四拾三文 上野様御知行新田

田代九百八拾九文

畑代百五拾四文

高人頭左^ニ 申上候

但同村專右衛門養弟

孫右衛門跡地 古散田

亀吉^{与^ニ} 申者代御百姓^ニ

高尓貫五拾八文 上野様御知行新田

罷成申候

栄助跡地 年数散田

田代尓貫四百六拾九文

畑代四拾九文

高五百式拾八文

但同村新右衛門養男

田代式百八拾五文

和七^ト 申者代御百姓^ニ

内四百六拾八文 新田
一四拾尓文 御藏入^ニ 新の誤か
一^ニ式百四拾四文 上野様御知行
一五拾八文 本地
一^ニ百八拾六文 新田

罷成申候

多右衛門跡地 年数散田

畑代式百四拾三文 上野様御知行

高九百六文 上野様御知行本地

一^ニ式文 本地
一^ニ式百四拾尓文 新田

田代七百九文

但同村徳左衛門姉聳

畑代百九拾七文

宇右衛門^与 申者代御百姓^ニ

但同村養蔵娘聳

罷成申候

李兵衛^{与^ニ} 申者代御百姓^ニ

八助跡地 年数散田

高八百三拾文 上野様御知行

田代四百四拾弍文

一三四拾弍文 本地
一百文 新田

畑代三百八拾八文 本地

但同村浅右衛門従弟聲

貞助 卜 申者代御百姓 二

罷成申候

三 八跡地 古散田

高四百三拾壹文

田代三百拾四文

一九拾八文 上野様御知行本地
一弍百拾六文 煤孫集見様御知行本地

畑代百拾七文 上野様御知行

一百拾壹文 本地
一六文 新田

但同村清四郎弟長五郎 与

申者代御百姓 二 罷成

申候

ノ六人

下若柳

多右衛門跡地 年数散田

高六百五拾七文

田代四百弍拾五文

一五拾壹文 御蔵入本地
一三百七拾四文 上野様御知行本地

畑代弍百三拾弍文 御蔵入本地

但同村甚之丞添人

金右衛門 与 申者代御百姓 二

罷成申候

三太郎跡地 年数散田

高七百七拾五文

田代五百七拾九文 脇坂三郎様御知行本地

畑代百九拾六文

一百四文 上野様御知行新田
一九拾弍文 脇坂三郎様御知行本地

但同村丈左衛門養弟

良吉 与 申者代御百姓 二

罷成申候

正蔵跡地 古散田

高壹貫六拾九文 藤澤敬治様御知行本地

田代壹貫拾四文

畑代五拾五文

但上若柳友吉伯父

磯恣二与申者代御百姓二

罷成申候

三人

右之通去年中散田

代御百姓二被成下度前

願二指上申候分如斯

御座候已上

下若柳肝入

子ノ 丈左衛門印

二月廿日

目錄番号四三七

〔持高并散田前高恣組調断片〕

専左衛門

高八二貴、以下同五拾五文

此金拾七切七分式厘見詰

高六二六六拾四文

此金五切六分六厘也

散田二等

式拾三切三分四厘也

幸吉

高五二四百九拾八文

此金拾貳切壹分見詰

同三二九百九拾壹文

散田二

此金三切三分九厘也

拾五切四分九厘也

権十郎

高五二八百三拾文

此金拾貳切八分三厘也

高八百拾三文

散田二

此金六分九厘也

拾三切五分式厘也

仲太夫二忠水夫とも

高八二七百九拾八文

此金拾九切三分六厘也

高五文

散田分

此金

源右衛門

高六ノ四百三拾四文

此金拾四切壹分五厘也

高五百貳拾九文

此金四分五厘也

ノ拾四切六分也

作右衛門

高五ノ百八拾五文

此金拾壹切四分壹厘

高四文

此金

四右衛門

高四ノ九百五拾四文

此金拾切九分也

三郎左衛門

高三ノ三百九拾壹文

此金七切四分六厘也

高四百四拾八文

散田分

此金四分壹厘也

ノ七切八分七厘也

健左衛門

高七百七拾六文

此金壹切七分壹厘也

勇吉

高七ノ三拾七文

此金拾五切四分九厘也

貞藏

高壹ノ七百七拾八文

此金三切九分壹厘也

高九百六拾文

此金八分貳厘也

ノ四切七分三厘也

新左衛門

高六百三拾四文

此金壹切四分也

茂吉

高四ノ五百九拾五文

此金拾切壹分也

高壹ノ七百六拾三文 散田分

此金壹切五分也

ノ拾壹切六分也

与市

高六ノ貳百四拾四文

此金拾三切七分四厘也

高貳百八拾文

此金貳分四厘也

ノ拾三切九分八厘也

喜右衛門

高五ノ百七拾貳文

此金拾壹切六分也

高壹ノ貳百五拾三文 散田分

此金壹切六厘也

ノ拾貳切六分六厘也

今朝之丞

高貳ノ四百八拾文

此金五切四分六厘也

高貳ノ五百四拾八文 散田分

此金貳切壹分七厘也

ノ七切六分三厘也

徳兵衛

高貳ノ八百四拾六文

此金六切貳分六厘也

高三百六拾三文

此金三分壹厘也

ノ六切五分七厘也

弥治右衛門

高貳ノ五百七拾五文

此金貳切六分七厘也

壹紙

高八拾貳ノ三百八拾貳文

此金百八拾壹切貳分四厘

諸役  大圖見詰

高拾九ノ六百貳拾壹文 散田前並

此金拾六切六分八厘見詰

式口合百九拾七切九分貳厘也

外四厘置上過

(注一) 仮表題「」に断片と付したが、巻紙の合計数値が本文の合計と一致するので、欠損は標題部分中心と推測される。
(注二) 人頭名の中に、健左衛門(中前谷地[㊦])、三郎左衛門(東前谷地屋)があるので、明治二年人数帳作成後の文書である。上記二名は元水沢伊達家々臣で、帰農武士である。

一三拾文

下若柳
善作

右之通人数之者共^江

永代分遜持添高^二

目録番号四三九

文久三年

欠持肝入

拾式通

上若柳散田片付代御百姓^并年数持添地前願

亥ノ六月

丈左衛門 控 牒

目録番号四三八

〔年数散田片付調断片〕

主人御知行上伊澤下若柳

御百姓死亡庄五郎跡地

年数散田之所

高^二貫^一百六拾壹文

田代九百六拾貳文

一五百四拾壹文

下若柳

庄 治

一三百四文

上若柳

友 吉

一百拾七文

下若柳

良 吉

畑代百九拾九文

一百拾八文

上若柳

友 吉

一五拾壹文

多 吉

目録番号四三八

乍恐奉願候御^二事^一

上伊沢上若柳無行衛
孫右衛門跡地

古散田

高^二貫^一五百拾八文 上野様御知行新田

田代^二貫^一四百六拾九文

畑代四拾九文

但右高此度同村御給人様前

御百姓新右衛門養男和七^卜

申者代御百姓^二被立^一下度

奉願候尤右高當年〆末

拾五ヶ年散田並御免高二

被成下度奉願候か川〆

御地頭様方御指支無御座

与〆追々格之願申上候

節御證状被渡下段共

被仰渡候二付如斯奉願候

右之通奉願候無行衛

孫右衛門跡地御年貢諸式皆済

仕候新右衛門養男和七義末々

共御年貢諸式無滯上納

仕候者二御座候間如願之

無地代金二而代御百姓二被渡

下度前理書二申上候通り

當年〆末拾五ヶ年散田並

御免高二被成下度奉願候

此已後出入無御座双方

親類五人〆与合与頭地肝入

肝入立合地形境見届

廣狭無之様分渡候上

高寄畝代名元引合

相透無御座仍而拙者共

連判を以如此二奉願候已上

無行衛遜右衛門跡地
代御百姓

和七

文久三年

徳助

六月

五人与 万三郎

上野様地肝入 巳之五郎

右村欠持肝入 丈左衛門

大肝入 千田五郎右衛門殿

乍恐奉願候御事

上伊沢上若柳死亡
多左衛門跡地

年数散田

高老貫百七拾九文 上野様御知行

田代九百三拾九文

一八百九文 本地
一百三拾文 新田

畑代式百四拾文 本地

右之内

高百四拾三文 本地

田代百文
畑代四拾三文

但右高同村御給人様前

御百姓市五郎方江永代

持添地ニ被渡下度奉存候

尤右高當年今末五ケ年

散田並御免高ニ被成下度

奉願候

高田代百三拾文 新田

但右高同村御藏入御給人様前

御百姓圓四左衛門方江永代

持添地ニ被渡下度右品々

前同斷

高九百六文 本地

田代七百九文
畑代百九拾七文

但右高同村御給人様前

御百姓用藏娘四聿

李兵衛二与二申者代御百姓二

被立下度奉願候尤右

高當年今末拾五ケ年

散田並御免高ニ被成下度

奉願候且御地頭様方

御指支無御座由追々

格之願申上候節御

證狀被渡下候段申し

被仰渡候ニ付如斯奉

願候

右之通奉願候死亡多左衛門跡地

御年貢諸式皆濟仕候市五郎圓左衛門

養藏娘用とも聿李兵衛二等末々共御年く

諸式無滯上納仕候者ニ御座候間

如願之無地代金ニ而代御百姓并

永代持添地ニ被渡下度前理書二

申上候通り當年今末拾五ケ年散田並

御免高ニ被成下度奉願候此已後

出入無御座双方親類五人与合

与頭地肝入肝入立合地形境見届

廣狭無之様分渡候上人数帳并

御田地見帳御檢地帳江も高寄畝

代名元引合相透無御座遺

仍而拙者共連判ヲ以如此

奉願候已上

大肝入

千田五郎右衛門殿

右村欠持肝入

丈左衛門

乍恐奉願候御事

上伊沢上若柳無行衛
三之助跡地

古散田

高壹貫百四拾三文 上野様御知行新田

田代九百八拾九文

畑代百五拾四文

但右高同村御給人様前

御百姓專右衛門養弟

龜吉卜申者代御百姓二

被立下度奉願候尤右高

當年今末拾五ケ年散田並二而諸役

御免高二被成下度奉願候

且御地頭様方指支無御座候

由追々格之願申上候節

御證狀被渡下段共被仰

渡候二付如此奉願候

文久三年

六月

死亡多左衛門跡地作子二而
永代遜受人

市五郎

右品々同断与頭
圓左衛門

右地代御百姓
空兵衛

市五郎親類二而
五人与
孫市

五人与
傳左衛門

圓左衛門親類二而
五人与
彦三郎

五人与
栄吉

空兵衛親類二而
五人組
養蔵

五人与
万乃丞

市五郎与頭
源之丞

空兵衛与頭
長太郎

上野様地肝入
巳之五郎

右之通奉願候右三之助

跡地御年貢諸式皆濟仕候

專右衛門養弟龜吉儀末々共

御年貢諸式無滯上納仕候者^二

御座候間如願之無地代金^二而

代御百姓被渡下度前書理

書之通當年^分末拾五^ヶ年

散田並諸役御免高^二被成下度

奉願候此已後出入無御座双方親類

五人^与合与頭地肝入肝入立合

地形境見届廣狭無之様

分渡候上人数帳^并御田地

見帳御檢地帳^江も高寄

畝代名元引合相透無御座候

仍而拙者共連判を以如此^二

奉願候已上

文久三年

無行衛三之助跡地
代御百姓

龜

吉

六月

親類^二而五人^与
嘉藏

五人^与

治左衛門

与頭

源之丞

上野様地肝入

巳之五郎

同村欠持肝入

丈左衛門

大肝入

千田五郎右衛門殿

乍恐奉願候御事

上伊沢上若柳無行衛
栄助跡地

年数散田

高五百式拾八文

一四百八拾六文^{新田}

田代式百八拾五文

一四拾卷文

一式百四拾四文

一五拾八文

一百八拾六文

御藏入新田
上野様御知行
本地
新田

畑代式百四拾三文

一式文^{本地}
一式百四拾卷文^{新田}

上野様御知行

但右高此度同村御給人様前

御百姓徳左衛門姉聳卯右衛門^卜

申者代御百姓^二被立下度

奉願候尤右高當年ゝ

末拾五ヶ年散田並御免高ニ

被成下度奉願候且

御地頭様方御指支無御座

与ヨし追々格之願申上候

節御證状被渡下段共

被仰渡候ニ付如斯奉願候

右之通奉願候無行衛榮助

跡地御年貢諸式皆濟仕候

徳左衛門姉聳宇右衛門義

末々共御年貢諸式無滞

上納仕候者ニ御座候間如願之

無地代金ニ而代御百姓ニ被渡下度

前理書ニ申上候通り當年ゝ

末拾五ヶ年散田並御免高ニ

被成下度奉願候此已後出入

無御座双方親類五人組合

与頭地肝入肝入立合地形境

見届廣狭無之様分渡

候上人数帳并御田地見帳

御檢地帳江も高寄畝代

名元引合相透無御座

仍而拙者共連判を以如此ニ

奉願候已上

無行衛榮助跡地

代御百姓

五人組

与頭

上野様地肝入

右村欠持肝入

大肝入

千田五郎右衛門殿

乍恐奉願候御亥

上伊沢上若柳死亡
八助跡地

年数散田

高八百三拾文 上野様御知行

宇右衛門
虫喰い

廣 吉

三五郎

巳之五郎

丈左衛門

田代四百四拾弐文

一三四拾弐文 本地
一百文 新田

畑代三百八拾八文 本地

但右高同村御給人様前御百姓

浅右衛門從弟聳貞助ト

申毛シモの代御百姓ニ被立下度

奉願候尤右高當年ノ末

拾五ヶ年散田並御免高ニ

被成下度奉願候且御地

頭様方御指支無御座由

追々格之願申上候節御

證状とも被渡下段被仰

渡候ニ付如斯奉願候

右之通奉願候死亡八助跡地

御年貢諸式皆済仕候浅右衛門從弟聳

貞助義末々共御年貢諸式

無滯上納仕候者ニ御座候間

如願之無地代金ニ而代御百姓

被渡下度前理書ニ申上候通り

當年ノ末拾五ヶ年散田並

御免高ニ被成下度奉願候

此已後出入無御座双方親類

五人与合与頭地肝入肝入立合

地形境見届廣狭無之様

分渡候上人数帳御田地見帳

御檢地帳江も高寄畝代名元

引合相透無御座仍而拙者共

連判を以如此ニ奉願候已上

文久三年

六月

六月

死亡八助跡地

代御百姓貞助

親類ニ而五人与文蔵

五人与千助

与頭

上野様地肝入浅右衛門

右村欠持肝入巳之五郎

丈左衛門

大肝入

千田五郎右衛門殿

乍恐奉願候御亥

上伊沢上若柳無行衛
三八跡地

古散田

高四百三拾壹文

田代三百拾四文

一九拾八文 上野様御知行本地
一式百拾六文 煤孫集見様御知行本地

畑代五拾七文 上野様御知行

一百拾壹文 本地
一六文 新田

但右高同村御給人様前

御百姓清四郎弟長五郎_卜申

者代御百姓_江 被立下度奉願候

尤右高當年_合 末拾五_ケ年

散田並御免高_二 被成下度

奉願候且御地頭様方指

支無御座由追々格之願申

上候節御證状被渡下段

共被仰渡候_二 付如此奉

願候

右之通奉願候右無行衛三八跡地

御年貢諸式皆済仕候清四郎弟

長五郎儀末々共御年貢諸式

無滯上納仕候者_二 御座候間

如願之無地代金_二 而

代御百姓被渡下度前理書

之通當年_合 末拾五年

散田並御免高_二

被成下度奉願候此已後出入

無御座双方親類五人組合

与頭地肝入肝入立合地形境

見届廣狭無之様分渡

候上人数帳_并 御田地見帳

御檢地帳_江 も高寄畝代

名元引合相透無御座候

仍而拙者共連判を以如此_二

奉願候已上

無行衛三八跡地

代御百姓

長五郎

親類_二 而五人_{与合}

米

蔵

文久三年

六月

五人与
与頭

廣吉

上野様地肝入

三五郎

巳之五郎

煤孫集見様地肝入二而
右村欠持肝入

大肝入

丈左衛門

千田五郎右衛門殿

乍恐奉願候御夏

上伊沢上若柳無行衛
作之丞跡地

古散田

高壹貫八百六拾四文 上野様御知行

田代壹貫七百九拾七文 本地

畑代六拾七文

一五拾壹文 本地
一拾五文 新田

右之内

高壹廿貫八百四拾九文

田代壹廿貫七百九拾七文

畑代五拾弐文

但右高同村御給人様前

御百姓彦右衛門方江永

代持添地ニ被渡下度奉存候

尤右高當年分末拾ケ年

散田並御免高被成下度

奉願候

高畑代拾五文 新田

但右高下若柳御藏入并

御給人様前御百姓肝入

丈左衛門 高指引入權左衛門方ニ
永代持添地

被渡下度右品々前

同断

右之通り奉願候無行衛作之丞

跡地御年貢諸式皆濟仕候

丈左衛門并彦右衛門義末々共御年貢

諸式無滯上納仕候者ニ御座候間

如願之無地代金ニ而永代持添

地ニ被渡下度前理書ニ申上候通り

當年分末拾ケ年散田並

御免高^二被成下度奉願候此已後

出入無御座双方親類五人

与合与頭地肝入肝入立合

地形境見届廣狭無之様

分渡候上人数帳并御田地見帳

御檢地帳江も高寄畝

代名元引合相透無御座候

仍而拙者共連判を以如此^二

奉願候

文久三年

六月

無行衛作之丞跡地
作子人^二而遜受人下若柳
肝入丈左衛門高指引人

權左衛門

〃〃遜り受人上若柳
彦右衛門

丈左衛門親類
今朝吉

彦右衛門親類
正治

丈左衛門五人与
勘之助

彦右衛門五人与
栄左衛門

丈左衛門与頭
万太

彦右衛門、
今吉

上野様地肝入

巳之五郎

下若柳肝入^二而
上若柳欠持肝入

大肝入

丈左衛門

千田五郎右衛門殿

乍恐奉願候御衷

上伊沢上若柳無行衛
林性坊跡地

古散田

高六百八拾四文 上野様御知行新田

田代五百九拾八文

畑代八拾六文

但右高同村御給人様前

御百姓徳助方江永代持

添地^二被渡下度奉存候

尤右高當年^分末拾五ヶ年

散田並御免高^二被成下度

奉願候

右之通奉願候無行衛

林生坊跡地御年貢諸式

皆濟仕候徳助義末々共

御年貢諸式無滯上納仕候

者ニ御座候間如願之無地代

金ニ而持添地ニ被渡下度

前理書ニ申上候通り當年

末拾五ヶ年散田並御免高ニ

被成下度奉願候此已後出入

無御座双方親類五人

与合与頭地肝入肝入立合

地形境見届廣狭無之様

分渡候上人数帳并御田地見帳

御檢地帳江も高寄畝代名元

引合相透無御座仍而

拙者共連判を以如此ニ奉願候

已上

文久三年

六月

無行衛林性坊跡地

作子ニ而遜受人

徳助

親類ニ而五人与

新右衛門

五人与

万三郎

上野様地肝入

巳之五郎

右村欠持肝入

丈左衛門

大肝入

千田五郎右衛門殿

乍恐奉願候御事

上伊沢上若柳死亡

辰五郎跡地

年数散田

高七百式拾四文 道家熊五郎様御知行本地

田代五百七拾五文

畑代百四拾九文

但右高同村御給人様前

御百姓徳左衛門方江永代

持添地ニ被渡下度奉存候

尤右高當年ニ末拾五ヶ年

散田並御免高ニ被成下度

奉願候

右之通奉願候死亡辰五郎

跡地御年貢諸式皆濟仕候

傳左衛門義末々共御年貢諸式

無滯上納仕候者^ニ御座候間

如願之無地代金^ニ而永代持添

地^ニ被渡下度前理書^ニ申上候通り

當年^ノ末拾五ヶ年散田並

御免高^ニ被成^脱下度奉願候此已後

出入無御座双方親類五人

与合与頭地肝入肝入立合

地形境見届廣狭無之様

分渡候上人数帳^并御田地見帳

御檢地帳^江も高寄畝代

名元引合相透無御座候

仍而拙者共連判を以如此^ニ

奉願候已上

与頭

倉之助

道家熊五郎様地肝入^ニ而
右村欠持肝入

大肝入

丈左衛門

千田五郎右衛門殿

乍恐奉願候御衷

上伊沢上若柳死亡
清七跡地

古散田

高八百七拾文 上野様御知行新田

田代七百四拾六文

畑代百貳拾四文

但右高同村御給人様前

御百姓萬四郎方^江 永代

持添地^ニ被渡下度奉存候

尤右高當年^ノ末拾五ヶ年

散田並御免高^ニ被成下度

奉願候

死亡辰五郎跡地作子^ニ而
遜受人

傳左衛門

親類^ニ而五人組

忠 太

五人与

民 蔵

右之通奉願候死亡清七跡地

御年貢諸式皆済仕候万四郎義

末々共御年貢諸式無滯上納

仕候者ニ御座候間如願無地代金

ニ而永代持添地ニ被渡下度

前理書ニ申上候通り當年分

末拾五ヶ年散田並御免高ニ

被成下度奉願候此已後出入無御座

双方親類五人与合与頭地肝入

肝入立合地形境見届

廣狭無之様分渡候上

人数帳并御田地見帳御檢

地帳江も高寄畝代名元

引合相透無御座候仍而

拙者共連判を以如此ニ奉願候

已上

与頭

長九郎

上野様地肝入

巳之五郎

右村欠持肝入

丈左衛門

大肝入

千田五郎右衛門殿

乍恐奉願候御衷

上伊沢上若柳死亡

弥八跡地

年数散田

高三百九文 上野様御知行本地

田代八拾四文

畑代貳百貳拾五文

右之内

高田代八拾四文

但右高同村御給人様前

御百姓三五郎方江永代

持添地ニ被渡下度奉存候

尤右高當年分末拾五ヶ年

散田並御免高ニ被成下度

奉願候

文久三年

六月

死亡清七跡地

作子人ニ而遜受人

親類ニ而五人与

五人与

万四郎

廣五郎

久作

高畑代貳百貳拾五文

但右高同村御給人様前御百姓清四郎

方江永代持添地ニ被渡下度奉存候

尤右高當年の末拾五ヶ年散田並

御免高ニ被成下度奉願候

右之通奉願候死亡弥七

跡地御年貢諸式皆済仕候

三五郎義末々共御年貢諸式

無滯上納仕候者ニ御座候間如願之

無地代金ニ而永代持添地ニ被渡下

度前理書ニ申上候通り當年の

末拾ヶ年散田並御免高ニ

被成下度奉願候此已後出入

無御座双方親類五人組合

与頭地肝入立合地形境

見届廣狭無之様分渡

候上人数帳并御田地見帳

御檢地帳江も高寄畝代

名元引合相透無御座候

仍而拙者共連判を以如此ニ
奉願候已上

文久三年

六月

死亡弥七跡地作子人三而

遜受人
三五郎

親類
清四郎

五人与
廣吉

上野様地肝入
米蔵

右村欠持肝入
巳之五郎

大肝入
丈左衛門

千田五郎右衛門殿

乍恐奉願候御亥

上伊沢上若柳死亡

吉右衛門跡地

年数散田

高八百貳拾四文 上野様御知行

一貳拾六文 本地
一七百九拾八文 新田

田代七百四拾六文

畑代七拾八文

一式拾六文 本地
右之内

高畑代拾七文 本地

但右高此度同村御給人様前

御百姓文三郎方 江永代持添

地 二被渡下度奉存候尤右

高當年 〆末拾五ヶ年

散田並御免高 二被成下度

奉願候

高八百七文

田代七百四拾六文 新田

畑代六拾壹文

一九文 本地
一五拾貳文 新田

但右高此度同村御給人様前

御百姓長太郎方 江永代

持添地 二被渡下度右品々

同断

右之通奉願候無行衛死亡

吉右衛門跡地御年貢諸式皆濟仕候

文三郎弟長太郎義末々共御年貢

諸式無滯上納仕候者 二御座候間

如願之無地代金 二而永代持添

地 二被渡下度前理書 二申上候通り

當年 〆末拾五ヶ年散田並

御免高 二被成下度奉願候此已後

出入無御座双方親類五人

与合与頭地肝入肝入立合地形

境見届廣狭無之様分渡

候上人数帳 并御田地見帳御檢

地帳 江も高寄畝代名元

引合相透無御座候仍而

拙者共連判を以如此 二奉願候

已上

死亡吉右衛門跡地
作子人 二而遜受人

文三郎

文久三年

右同断

長太郎

六月

文三郎親類 二而五人与

萬之丞

長太郎親類 二而五人与

養藏

五人与

長左衛門
作五郎

大肝入

上野様地肝入
巳之五郎
右村欠持肝入
丈左衛門

千田五郎右衛門殿

目錄番号四四一

地形年季質地ニ相渡

証文之事

下若柳御百姓
大宮屋敷

吉三郎

目錄番号四四〇

地形遜り年季地之事

高田代四拾文^印 壹圓成田此面様

御知行四石五斗五升

右高田地四拾文斗^ハへ地代金拾式切お以當年^ハ向三ヶ年

季ニ相遜り候義相違無御座候右高^ハ出ル御年貢者

不及申御郡役共ニ貴殿方ニ而可被相勤候年季相過

地代金相立申候ハ、右地所可被相返候仍而親類^并

指南人連^名お以^{證文}如此ニ御座候已上

若柳村肝入
右遜り人
文三郎^印

文化三年四月

同村親類
口入
新太夫^印

同村指南人
義藏^印

新里村

卯平殿

高畑代四拾文 御蔵入本地七切めい

右之通此度為諸上納之地代金

九切を以當戌ノ年^ハ申年^迄

拾年拾作年季質地ニ相渡候義

相違無御座候年季中右高

出ル御年貢ハ不及申ニ御郡役

も貴殿方ニ而可被相勤候年

季相過地代金相返候ハ、右地

可被相返候尤右地ニ付御年貢

諸懸りハ不及申ニ相對借金^ハ

一帳付之木者無御座候仍而

為後日之双方并親類

指南人五人組与合与頭立合

地形堺見届肝入衆御踏渡

申受□□候上立合人連判之

上御証文如斯御座候以上

天保九年四月

地形遜人右

彦三郎

地形指南人二而
五人与合 卯右衛門

地形渡受人二而
五人与頭

長藏殿

右之通年限質地二相渡候段

承届相違無之ニ付地形踏渡

之上末書如斯御座候以上

同年同月

右ノ

長藏殿

右村肝入

保吉

掬油

地形年季質地二相渡

証文之亼事

下若柳御百姓

六左衛門

高畑代四拾文

但右高一圓丹野善七郎様

御知行本地 八切めい

右之通為諸上納之右高此度

地代金八切ニ相定受取去未ノ

年今向酉年迄三ヶ年外略ス

右ノ

六左衛門

親類指南人

安政七年

庄太

与頭 喜平

二月廿日

丹野善七郎様地肝入
右村肝入

慶治殿

丈左衛門

右之通

同年同月

殿

高田代式百文

但右高一圓成田武様御知行

銘方不分

右之通地代金拾六切也

年数去未ノ年分三ヶ年

儀 忝松

田代百四拾壹文

但右高伊達上野様御知行

銘下三石銘散田並

畑代五拾三文

但右高氏家松之進様御

知行脱方本地七切めい

右之通為諸上納之右高

此度地代金貳拾五切ニ相

定受取右高当申ノ年分

子ノ年迄五ヶ年五作之

年季也

安政七年

二月廿日

右ノ

指南人

与頭

氏家松之進様地肝入

伊達上野様地肝入

友 巳之五郎

右村肝入

源太郎 勝治 喜平

右之通

殿

覚治様

右村肝入 友吉 丈左衛門

指南人 源八

与頭 新太夫

御同人様地肝入

右ノ 儀 忝

目錄番号四四三

地形年季質地ニ相渡

証文之事夏

下若柳御百姓

源太郎

高百九拾四文

右之通

殿

殿

目錄番号四四四

進上

御内様

地形年季質地^二相渡

証文之事

下若柳御百姓

源太郎

高田代五百八拾三文

但一圓氏家敬之進様

御知行本地四石五斗銘

右之通為諸上納之此度地代

金拾貳切相定右金受取當[〓]

未ノ年[〓]末亥ノ年[〓]迄五ケ年

五作之年季質地^二相渡候

外略ス

右ノ

源太郎

右親類[〓]同村

三右衛門

指南人[〓]同村

庄兵衛

五人組

善作

安政六年

六月十五日

新里村
右地遜受人

三郎右衛門殿

右之通

〓

三右衛門殿

七郎治

六左衛門

喜平

与頭
甚助

指南人
上若柳友吉

下若柳肝入

丈左衛門

新里村肝入
兵作

目錄番号四四五

地形年季質地^二相渡

証文之[〓]事

上伊沢下若柳
御百姓治太郎

高田代三百文 一圓上野様御知行本地

一貳百文 四石七斗之所
一百文 五石銘之所

高田代百四拾五文 脇坂三郎様御知行本地 三名八斗銘

右之通右高地代金拾貳切ニ相

当末ノ年々向五ヶ年五作之

定受取年季質地ニ相渡候義相

違無御座候年季中右高ハ出ル御年

具ハ不及申御郡役共貴殿方ニ而

可被相勤候尤右ニ付相對借金ニ

御帳付之青木ハ無御座年季相

過地代金相返候ハ、右地

可被相返候依而双方并親類

指南人五人組ニ与頭地肝入立合地

形踏分連名ニを以證文ニ如斯

御座候已上

右地渡人

治太郎

安政六年

二月

親類ニ而五人組
惣左衛門
指南人ニ而
与頭 三右衛門

五郎助殿

右之通

〔年季質地控・断片〕

長三郎

高田代百四文

此地代金七切ニ而五ヶ年

松藏

高田代拾五文

此地代金貳切ニ而七ヶ年

兩人分共

安政六年

六月十一日

作十郎殿

目錄番号四四七

地形年季質地ニ相渡

證文ニ之事

上伊沢下若柳御百姓
七四郎

高田代百七文

但右高戸田典膳様御知行本地 四石五斗銘

目錄番号四四六

右之通為諸上納之地代此度金拾

四切到借用當未ノ年當亥ノ

年迄五ヶ年五作之年季實地二

相渡候義實正一御座候二

安政六月

五月二日

同村右地渡人

七 四郎

同村右親類二而

指南人治郎兵衛

五人引組

松 藏

林之丞

伊惣二

養 助

長太郎

兵 作

作十郎

同村与頭

作十郎

右地預り人
喜三郎殿

親類
三右衛門殿

右之通

戸田典膳様地肝入二而
同村肝入

丈左衛門

喜三郎殿

目錄番号四四八

地形永代遜渡内證文一

之支二

上伊沢下若柳御百姓
伊惣二

高田代式百八文

但御藏入本地四切七分五厘銘

高畑代式文

但戸田典膳様御知行本地六切

五分めい

右之通為諸上納之此度地代金一
此度 本地代金拾六切江増金

拾式切式分五厘受取

預金合式拾八切式分五厘二

相定右高永代二相遜候義相

透無御座候此末右高分出ル御在一
二 脱か

具ハ不及申御郡役共貴殿

方二而可被相勤候右地二付

相對借金御帳付之青木
右御年具かかり并

〆無御座候□何方〆茂構〆

申義無御座候且 御上納□

□江 高分願被相出候節ハ

何時成共印形無遲滯

指上可申候仍而後日透乱〆

為無御座双方并親類指南人五人〆与〆

合与頭地肝入肝入御立合申受

地形境見届候上立合人連

判を以證文如斯御座候已上

安政六年

五月二日

同村右地渡人
右親類
伊惣二
林之丞
五人〆与〆合
松蔵

用助

七四郎

兵作

長三郎

作十郎

右地願人

喜三郎殿

右之通地代金お以永代遜渡候段

承届相違無之候〆付地形境踏

分相渡候上如斯御座候已上

同年同月

喜三郎殿

親類
三右衛門殿

戸典膳様地肝入〆而
肝入 丈左衛門

目錄番号四四九

地形年季質地〆相渡證文之事〆

下若柳御百姓
東 作

高田代五百八文

但志右高圓藤澤敬治様御知行本地四石五斗銘

當時無仕付當荒之所

右之通為諸上納之右高此度地代金拾八切〆相定受取右地

當未ノ年〆末丑ノ年〆迄七ケ年七作之年季質地〆相渡

申儀實正〆御座候此未右高〆出ル御年貢者不及申〆御郡

役共貴殿方〆可被相勤候尤右地〆付古々諸上納懸〆并相圖〆

借金御帳付之青木〆無御座候年季相過〆地代金相返候

ハ、右地可被相返候依〆而後日透乱〆為無御座候〆双方〆并

親類指南人五人組地肝入立合地形境見届相渡候上肝入衆

御末書申受立合人連判を以如斯〆御座候已上〆

安政六年四月十五日

同村右地渡人
東 作

同親類^二而
与頭 今朝吉

指南人
善 吉

同五人組
治右衛門

新里村右地受取人
地肝入
留五郎

武治殿
林 作

右之通地代金を以^レ此度年季質地^二相渡候段承届相透
無之候^二付地形境踏分相渡候上末書如斯候以上

下若柳肝入

同年同月同日
丈左衛門

新里村肝入
武治殿
兵 作

目錄番四五〇

地形年季質地相渡

證文之事^証

下若柳御百姓
七四郎

高田代百文

但上野様御知行御^口新田

式切七分銘

右之通此度為諸上納之

地代金拾切を以^レ當西^二ノ年

より亥ノ年まで三ヶ年

三作之年季質地^二相渡

候儀^二相透無御座候^二右年季

中右^ノ出ル御年くハ不及

申^二御郡役共貴殿方^二て

可被相勤候^二年季相返義

地代金相返候ハ、右地

可被相返候尤右地^二付

相圖^二借金御帳付之^二類

木無御座候依而後曰^二

透乱為無御座双方

親類^并指南人五人^二与^二合

与頭地肝入立合地形境

見届肝入衆御踏渡申

受候上立合人連判

ヲ以如斯御座候以上

文久元年

十月三日

右地渡人

七四郎

親類^二而指南人

治郎兵衛

五人与

兵作

〃
四右衛門

〃
金之丞

〃
長三郎

〃
直藏

与頭
伊惣治

地肝入
作十郎

右地^二受入
已之五郎

右地^二受入
用助殿

目錄番号四五—

地形年季質地

相渡證文之^証^事 亥

下若柳御百姓

佐藤長三郎

高田代

此働畝三人役

右之通為活計^二之地代^一

金四兩卜米式石^二而

受取當酉^二ノ年^一

亥^二ノ年^一迄^三三ヶ年^二質地^一

相渡候義實正^二御座候

此末右地方^二出ル御年具^一

ハ不及申諸御郡役共貴

殿方^二而可被取計候尤

右地^二付何方^一不分

之義有之間敷候

年季時地代金相

返候ハ、右地可被相返候

依而為後日之親類

指南人立合地形境見

届副戸長衆御踏渡

申受連印を以證文

如斯御座候以上

右ノ

長三郎

親類

明治六年

六月

指南人

安戸部の略作右衛門殿

目錄番号四五二

〔地形年季 并 永代分高調断片〕

高六百六拾四文 東吉分

右八安圍二入

地形年季分高調

高卷文 同人

高三百六拾四文 万四郎

右八安圍へ入

高五百七拾壹文 勘之助

高拾四文 栄作

高四百四文 与五左衛門

右八安圍へ入

年季分

高七百四文 庄太

高貳百六拾三文 長三郎

高貳百五拾文 源太郎

高三百四拾四文 庄太分

高五百五拾壹文 同人分

内百七拾文 園吉へ入

高三百六拾五文 上ノ園佐吉分

高百六拾四文 上ノ惣右衛門分

高六拾文 新里ノ義右衛門分

高八百四拾八文 新太郎分

高拾五文 庄太分

右八園吉分

高貳百五拾五文 大吉分

地形永代分左二

高八百九拾七文 留藏分

高貳文 上若柳清七分

高拾文 末吉分

右八明治二年分与太郎江入

高百拾四文 東作

内百九文 散田前

高拾五文 作之丞分 伊惣二分

高四百八拾三文 東作分

右八安圍分 新里ノ

高五百五文 義平分

高式百四文 喜三郎

高五文 新里長松

高八百壹文 留五郎

高八拾文 八藏分

高四文 新里ノ義右衛門

高八百六拾五文 榮之助

高式拾三文 万吉

高五百八拾六文 用助分

高拾七文 榮吉

高五文 同人

高五文 同人

壹紙

高式ノ三百五拾五文

一壹ノ百八十八文 勇吉

田代壹ノ百式拾九文

畑代五拾九文

一壹ノ百六拾七文 勇治

田代九百三拾四文

畑代式百三拾三文

壹人前持高調

高壹ノ百八拾八文 松崎仲太夫 勇吉

目錄番号四五三

地方質地遜渡證券

字箸塚 第六番 第十大區七小區

一田反別 壹反七畝廿式步 下若柳

字同 七番

一田反別 壹反五畝三歩

字大立目 三十六番

一田反別 六畝拾歩

合反別 三反九畝五歩

此地價米五石也

前頭之米額正 請取當亥年 丑ノ年 迄向三ヶ年

三作質地ニ相預リ候義正也右地形貴殿へ相預候上ハ地租

金ハ不及申右地江相掛リ諸郡役経費金出貴殿方ニテ
其時々無遲滞可被相濟候且右地年季明ニ罷成地價米
相返候ハ、速ニ被相戻度候依而為後日之親類指南人
連名之上証人衆調印及戸長殿奥書証印申受
地所年季質地ニ相遜候證券如件

七小區下若柳
右地遜人

阿部 保治

目錄番号四五四

地形年季質地遜渡仮證券^証

第十大區七小區

下若柳

一田^{小倉多}式反歩^六

此地價米五石也

前顯米額正ニ^{當亥ノ年今丑ノ年迄向三ヶ年三作}遜渡候義相透^逋
無之候右地ニ^者付年季中^{諸納掛}リハ^無論
相對之借材^等亦無之候地所貴殿へ相遜候上^者

年季中諸納^等亦聊無遲延可被相濟候
右地年季明罷成地價米相返候ハ、
右地速ニ被相戻度依而親類伍長指南人
連印之上証人衆調印申受為後日之
仮證券如件

目錄番号四五五

地形年季質地遜渡證券^証

第十大區小七區

下若柳

字御駒堂

一働畝式人役

此地價米式石也

前顯米額正ニ^{請取當亥ノ年今丑ノ年}逋向三ヶ年三作之遜渡候義正ニ^右
年季中ハ貴殿方ニ^テ區費金^者不及
申ニ^{諸納}亦聊無遲延可被相濟候

右地季明ニ罷成地價米相返候ハ、
速ニ右地被相戻度依而為後日之

親類指南人連印之上証人衆俵

證券如件——右地遜人

阿戸部虎吉

目錄番号四五六

天保八年分

地肝入保吉

水澤様御分質地之分内分ケ牒

十二月

治太郎

高田代壹ノ百拾三文

中ノ上内
一三百七拾文 五郎助

内
一八拾三文 當引
一廿八文 返免

残上納高式百五拾九文

此御物成

一米壹石式斗式升
一代五百三拾七文
一〃三百九文
一〃拾三文

五色
ぬか
せん

合代五百八拾九文

中ノ上内
一四百文 義左衛門

内
一九拾壹文 當引
一三拾壹文 返免

残上納高式百七拾八文

此御物成

一米壹石三斗壹升
一代五百八拾文
一〃四拾貳文
一〃拾四文

五色
ぬか
せん

合代六百三拾六文

一三拾文 甚 助

内
一六文 當引
一貳文 返免

残上納高式拾貳文

此御物成

一米壹斗也
一代四拾四文
一〃三文
一〃壹文

五色
ぬか
せん

合代四拾八文

御内様分

一高田代九拾貳文 倉之助

一高田代百三文 庄左衛門

一田代百拾五文 巳之助

はさみ込文書

三百拾文也

七月空日

一三百拾三文 治太郎

内 此田五人役内一人役無仕付
一四拾文 當引
一 返免

残上納高百九十六文

此御物成

百廿三文分
一米五斗八升
一代四百五拾四文
一、拾八文
一、六文
五色
ぬか
せん

合代四百七拾八文

林之丞

高田代貳百四拾九文

四石七斗

一七拾八文内 卯 吉

一三拾九文 當引

残上納高三拾九文

此御物成

一米壹斗八升 田方四石七斗
一代百拾三文 五色
一、六文 八入ぬ可か
一、貳文 せん

合代百貳拾壹文

一百七拾壹文 林之丞

内
一拾文 別段
一百拾九文 當引
一五文 返免

残上納高四拾七文

此御物成

一米貳斗貳升 元奈し
一代貳百四拾八文 五色
一、八文 ぬ可
一、三文 せん

合代貳百五拾九文

高五百拾七文

治太郎

田代三百拾三文
畑代貳百六文

此内

一田代百九拾文 當引

残上納高三百貳拾九文

田代百貳拾三文
畑代貳百六文

此御物成

一米五斗八升 田方壹、文四石七斗
一金壹切九毛 畑方四切九百文
一代七百五拾三文 五色
一、拾九文 ぬか
一、拾六文 せん

四口合金壹切九毛

代七百八拾八文

はさみ込文書
(貼付箇所不明)

高田代壹ノ八拾文 榮作

一五百四拾八文^内 五切めい 保吉方へ

此御物成 壹圓皆無引

一五百式拾壹文 五色

一人足五人五分

此代式百七拾五文

一五百三拾四文 榮作

^内 四石七斗也

一三百三拾九文 當引

残上納高田代百九拾三文

此御物成

一米九斗壹升 いろ
一五百五拾壹文 ぬ可
一式拾九文 せん
一拾式文

ノ五百九拾式文

^外 一人足五人八分

此代式百九拾文

高五百八拾文 榮作

田代五百三拾六文 四石七斗
畑代四拾八文 六切半

^{此内}

一田代三百拾六文 當引
一畑代七拾文 別段

引合三百八拾六文

残上納高百九拾四文

はさみ込文書
(貼付箇所不明)

田代百四拾六文
畑代四拾八文

此御物成

一米六斗九升 田方壹ノ文四石七斗

一代八百四拾壹文 五色

一金三分壹厘式毛 畑方六切半

一代式拾式文 ぬか

一ノ拾文 せん

合金三分壹厘式毛

此代八百七拾三文

高田代壹ノ八百七拾五文 勘太郎

一式石六拾七文^内 林之丞方へ 壹圓皆無引

此御物成

一代三百八拾七文 いろ
一壹ノ六百八文 勘太郎
一壹ノ四百五拾八文 無仕付
一百五拾文 主石四斗五升
^内 本高

一壹ノ百八拾九文 當引
一百五拾文 銘下分皆無

残上納高田代

此御物成

一米 五色
一代 ぬ可
一ノ せん

合代

高田代式百六拾六文 式石三斗五升 榮作

ノ畑代三拾壹文 同人

田代五百四拾八文 三切五分めい
 〃拾文 同めい
 〃式百五拾六文 式石三斗五升
 〃代七拾七文 六切五分

高畑代三百三拾壹文 四切九分めい 治太郎

一五拾文 内 四切九分めい 義左衛門方へ

此御物成

一金貳分四厘五毛
 一代七拾三文
 一〃三文 畑金 五色 せん

合代七拾六文

一三拾文 民助 四切九分めい

此御物成

一金壹分四厘七毛
 一代四拾四文
 一〃貳文 畑金 五色 せん

合代四拾六文

一四拾五文 倉之助

此御物成

一金貳分貳厘壹毛
 一代六拾五文
 一〃貳文 畑金 五色 せん

合代六拾七文

一貳百六文 治太郎

此御物成

一金壹切九毛
 一代貳百九拾九文
 一〃拾文 畑金 五色 せん

合代

高畑代百三拾貳文 六切半

一拾五文 内 四右衛門

此御物成

一金九厘七毛 五人
 一代貳拾貳文
 一〃壹文 畑金 五色 せん

合代貳拾三文

一拾五文 義之助

此御物成

一金九厘八毛
 一代貳拾貳文
 一〃壹文 畑金 五色 せん

合代貳拾三文

一貳拾六文 卯吉

此御物成

一金壹分六厘九毛 七人
 一代三拾八文
 一〃拾三文 畑金 五色 せん

合代五拾壹文

一拾五文 長作

此御物成

一金九厘八毛 五人
 一代三拾八文
 一〃拾三文 畑金 五色 せん

合代五拾壹文

一六拾壹文 新太郎

新太郎

此御物成

一金三分九厘六毛
一代八拾八文
一〃三文
畑金 五色
せん

合代九拾壹文

高畑代六拾六文 卯吉

〃〃 三拾九文 四右衛門

〃〃 拾五文 長作

高畑代百七拾六文 六切半

作之丞

貼付 高畑代三拾八文

長十郎

一 式拾五文 卯吉方へ

此御物成

一金壹分六厘三毛
一代三拾六文
一〃壹文 式ス
畑金 五色
せん

合代三拾七文

一 式拾五文 七藏方へ

此御物成

一金壹分六厘三毛
一代三拾六文
一〃壹文
畑金 五色
せん

合代三拾七文

一 拾六文 四右衛門方へ

此御物成

一金壹分四毛
一代貳拾三文
一〃八文
畑金 五色
せん

合代三拾壹文

一 百四文 作之丞

此御物成

一金六分七厘六毛
一代百五拾壹文
一〃五文
畑金 五色
せん

合代百五拾六文

高畑代九百八拾九文 四石七斗 利作

中之上 内 一百四拾貳分 五郎助方へ

一 残上納 當引

此御物成

一米
一代貳百六文
一〃〃
田方 五色
ぬ可 せん

合代

一 八百四拾七文 利作

一 内 當引

残上納高

此御物成

一米
一代米
一〃〃
田方 五色
ぬ可 せん

合代

高田代貳百七拾六文

四切めい

林之丞

一七拾六文

丑太郎方へ

此御物成

一圓皆無

一代百拾文

五色

一貳百文

林之丞

残上納高田代九拾貳文

此御物成

一金三分六厘八毛

四切半

一代貳百九拾文

五色

合代

新田

高畑代三拾七文

三切五分めい

一拾七文

四五郎助

此御物成

一金六厘也

畑方

一代貳拾五文

五色

合代貳拾六文

一貳拾文

治太郎

一金七厘也
一代貳拾九文
一、壹文

畑方
五色
せん

合代三拾文

目錄番号四五七

明治七年

七小區

副戸長

阿部丈左衛門

年季中内分反別壹人毎調帳

六月改

千田米太郎

反別壹丁壹反三七七歩

高田代壹ノ七百三拾六文

但割並し百文ニ付七セ六歩八リツ、

此内分

壹反九七七歩

壹丁壹反三七二歩

貳拾七文

一拾文

反別壹丁六七貳拾壹歩

高橋源太郎

高田代壹ノ三百八拾四文

但割並し百文ニ付七七七歩壹リツ、

此内分

壹反九七九歩

一貳百五拾文 權十郎

八反七七拾貳歩

一壹ノ百三拾四文 慶治

高橋圓藏四

田反別壹丁貳反貳七貳拾九歩

高田代壹ノ四百七拾四文

但割並し百文ニ付八七三歩三リツ、

此内分

貳反貳拾六歩

一貳百五拾文 源右衛門

八反四七四歩

一壹ノ五拾七文 圓藏

ノ壹ノ三百七文

貳反貳拾六歩

残高百六拾七文 卯三郎

但永代分

佐藤長三郎

田反別壹丁三反四七拾貳歩

高田代壹ノ四百五拾五文

但割並し百文ニ付九七貳歩壹リツ、

此内分

四反六七四歩

一五百文 作右衛門

八反八七八歩

一九百五拾五文 長三郎

阿部榮作

田反別
壹丁壹反九七拾八歩

高田代壹ノ貳百五拾九文

但割並し百文ニ付九七六歩ツ、

此内分

壹反四七貳拾八歩

一百五拾六文 武右衛門

八反七七壹歩

一九百九文 榮作

ノ壹ノ六拾五文

壹反七七拾九歩

残百九拾四文 五右衛門

永代分

高橋久七

田反別七反貳七貳拾三歩

高田代七百三拾九文

但割並し百文ニ付九七八歩六リ也

此内分

貳反四七拾九歩

一、式百五拾文
壹反拾六歩 作右衛門

一百七文 新田 慶治

五七二歩
一、五拾式文 新田 久七
ノ四百九文 同人高

三反式七拾五文

残高三百三拾文

此譯 二、誤 右永代分

式反四七拾九歩

一、式百五拾文 作右衛門
内七拾九文 新田

七七式拾六歩

一、八拾文 新田 四右衛門

及川留蔵

田反別四反壹七拾五歩

高田代四百式拾八文

但割並し百文ニ付九七七歩ツ、

此内分

八七拾歩

一、八拾六文 留治

八七拾歩

一、八拾六文 健左衛門

八七七歩

一、八拾五文 留蔵

壹反六七拾八歩

一、百七拾壹文 四右衛門

及川與蔵 二、与

田反別壹丁五七拾歩

高田代壹ノ三百七拾文

但割並し百文ニ付七七七六歩ツ、

此内分

三反式七三歩

一、四百拾七文 丈左衛門

七反三七七歩

一、九百五拾三文 与蔵

及川正太

田反別五反六七拾六歩

高田代七百式拾七文

但割並し百文ニ付七七七八歩ツ、

此内分

式反三七式拾文

一、三百四文 慶治

壹七廿八文

一、式拾三文 永代

壹反式拾七歩

一、百四拾壹文 丈左衛門

式反壹七式拾九歩

一、式百八拾式文 庄太

阿部今朝吉

田反別式丁式反七七八歩

高田代式ノ九百三拾三文

但割並し百文ニ付七七七歩五リツ、

此内分

壹反八七式拾九步

一式百四拾五文 丈左衛門
式丁八七九步

一式六百八拾八文 今朝吉

阿戸虎吉部

田反別八反三七拾四步

高田代壹ノ拾五文

但割並し百文ニ付八七式步弐リツ、

此内分

七七步

一八拾五文 幸吉

七七步

一八拾五文 龜姿松

六反九七拾四步

一八百四拾五文虎吉

佐々木与市

田反別壹丁四七式拾弐步

高田代壹ノ四百文

但割並し百文ニ付七七四步八リツ、

此内分

式反式拾八步

一式百八拾文 龜姿

八反三七式拾四步

一壹ノ百式拾文 与市

阿部惣左衛門

田反別八反六七式拾九步

高田代壹ノ四拾五文

但割並し百文ニ付八七三歩弐リツ、

此内分

式反四七式拾九步

一三百文 平七
六反式七步

一七百四拾五文 惣左衛門

松平種藏

田反別壹丁壹反九七步

高田代壹ノ四百式拾七文

但割並し百文ニ付八七三歩七リツ、

此内分

三反三七拾八步

一四百式文 弥治右衛門

五七拾三歩

内六拾五文 地損

三反三七式拾壹歩

一四百三文 今朝之丞

五七拾三歩

内六拾五文 同断

八七壹歩

一百文 文三郎

壹七拾九歩

内拾文 同断

四反三七式拾歩

一五百式拾式文 種藏

七七拾五歩

一五百式拾式文 種藏

七七拾五歩

内九拾文

阿部甚之丞

田反別七反式七三歩

高田代七百九拾式文

但割並し百文ニ付九七七歩ツ、

此内分

壹反三七七拾九歩

壹反八七式拾三歩

壹反式拾歩

貼付
〔一百拾八文 甚之丞
六七拾四歩〕

式反八七式拾九歩

式反八七式拾九歩

高橋四右衛門

田反別式反七七七拾壹歩

此高三百四拾三文

留藏分丈左衛門今年季入

内分惣計

反別

高田代

阿戸甚之丞

四反壹七式拾式歩

高畑代百式拾八文

但割並し拾文ニ付三七七式歩〔六〕リツ、

此内分

式七拾九歩

壹反三七七歩

壹反三七七歩

壹反三七七歩

一四拾文 長右衛門

目錄番号四五八 資料行方不明

目錄番号四五九

〔御届（内禿無行衛等皆無）〕

下若柳

内禿 并地逃沽却ニ

罷成候分無御座候已上

嘉永四年

仮肝入

二月

貞治

目錄番号四六〇

〔堰普請による代替畑地申請〕

若柳村茂井羅堰

去秋掘込之節石砂利等

北土手江揚候所左堰通り

畑地相倒候ニ付野山ニ而も地主

共向寄勝手之所ニ替地被

渡下候様被成下度趣去秋中

御内々申上置候所右畑地

間数相改候得八百五拾壹間

此坪数百五拾壹坪右上畑与

見詰右替地下々地下相見得

御高割合之見詰を以場所々々

望為申出候所山田林西ニ而

壹ヶ所伊達屋敷林南ニ而壹ヶ所

上堰万四郎西ニ而式ヶ所都合

四ヶ所望申出候ニ付拙者共并与合共九百六坪

元分聊之坪数ニ而立合見分仕候所村々草創之指障ニ罷成申候様

右畑地主共江替地相渡候方与

之坪数ニも無御座間依而右替地△上下与頭共立合坪数相渡候間

吟味仕候間無御吳儀御座候ハ、早速

御下知被成下度如斯

御指圖罷成候様被成下度拙者共

申上候已上

連名を以如斯申上候以上

元治元年 下若柳肝入 丈左衛門

八月

上若柳肝入 五四郎

大肝入 千田五郎右衛門様

殿

目錄番号四六一

〔荒所調書督促〕

都沢長右衛門様ハ荒所ハ

罷也ハリハ之御調御案當ハヲ以ハ

仰渡候分貴公様ハ之御調

者ハ見得不申候ハ候付ハ相出申候

処何様の御間透ハ可有之哉

大肝入衆ハ被相渡御調候分ハニハ相

見得不申尤御代官様ハ并

専太夫様申候指上候様御首尾

相成候事ハ候間都合ハ五通明日中

相出候様拙者儀廻村之上受取

御役々様ハ被指上候様御首尾

合相成申候間右之通ハヲ以

明日中水沢會所ハ指上候様

被成下度拙者儀廻村之上

御調不足取込之御首尾被成候様

□□中相成申候如此

申上候已上

制道役

五月十六日

肝入 丈左衛門様

肝入

丈左衛門様

特懸急御用

制道役

今吉

今吉

目錄番号四六二

若柳村御内新田御檢地帳写

安永八年御竿答向市野々

又右衛門子又之丞分

下々畑六間二拾四間畝、以下同四七式拾四歩

下々畑畝拾壹間拾壹間壹反六七四歩

下々畑五間三拾四間四拾四間五七拾歩

下々畑四間三拾四間四間式拾四歩

右畑合式反七七式歩

五文

拾六文

五文

壹文

式拾七文

又右衛門

同年御竿答向市野々

峠道

下々畑 拾九間 四拾貳間 貳反六七拾八歩 貳拾七文

下々畑 五間 三拾間 五七歩 五文

下々畑 六間 八間 壹七拾八歩 貳文

右畑合三反三七六歩 三拾四文

同年御竿答向市野々 弥五郎分

同年御竿答向市野々

中ノ洞 下々畑 五間 貳拾四間 四七歩 四文

下々畑 拾間 貳拾六間 八七貳拾歩 九文

下々畑 拾間 四拾六間 壹反五七拾歩 拾五文

下々畑 六間 拾貳間 貳七拾八歩 貳文

右畑合三反拾貳歩 三拾文

同年御竿答向市野々

太兵衛分

所平 下々畑 三間 拾六間 壹七拾八歩 貳文

下々畑 拾五間 四拾間 貳反歩 貳拾文

下々畑 六間 八間 壹七拾八歩 貳文

右畑合貳反三七六歩 貳拾四文

同御竿答向市野々

清四郎分

|| また

亦右衛門分

所飛ら

下々畑 拾四間 六拾貳間 貳反八七廿八歩 貳拾九文

下々畑 四間 拾四間 壹七貳拾六歩 貳文

右畑合三反貳拾四歩 三拾壹文

同市野々

明性院圓生坊

前山 下々畑 三拾六間 拾五間 壹反八七歩 拾八文

同 前山 下々畑 拾五間 三拾六間 壹反八七歩 万七分

前山 下々畑 拾五間 三拾六間 壹反八七歩 拾八文

同 前山 下々畑 五拾六間 六拾壹間 壹丁壹反三七 四兵衛分

三口合畑壹丁四反九七廿六歩 百五拾文 但永荒二付寛政四年今御内改之上 御林□相廻候

御竿答野山田 北野山田 貳拾貳間 三拾四間 貳反四七廿八歩 貳拾五文

下々畑 拾貳間 拾四間 貳反四七廿八歩 貳拾五文

御竿答野山田 平四郎

下々畑 拾貳間 拾四間 貳反四七廿八歩 貳拾五文

甚太郎

下々畑 拾貳間 拾四間 貳反四七廿八歩 貳拾五文

九口合三町四反四七拾貳歩

此畑代三百四拾六文

老圓上若柳小割帳へ入

文政五年三月御竿入

之分左二

野山田

徳藏

野山田関添
下々田 四間

壹七拾八歩

拾三文

下々田 拾九間

六七式拾九歩

五拾六文

右田合八七拾七歩

此代六拾九文

右者下若柳小割帳二入

同 万之助

野山田
下々田 九間

壹七式拾四歩

拾四文

下々田 六間

壹七歩

八文

下々田 六間

式拾四歩

六文

下々田 五間

壹七歩

八文

下々田 六間

拾五歩

四文

下々田 五間

式拾壹歩

五文

下々田 五間

壹七歩

八文

下々田 四間

拾六歩

四文

下々田 四間

式拾六歩

五文

下々田 四間

拾六歩

四文

下々田 四間

式拾六歩

五文

下々田 五間

拾五歩

四文

下々田 四間

拾六歩

四文

下々田 四間

三歩

壹文

下々田 九間

拾八歩

五文

下々田 八間

壹七拾八歩

拾三文

下々田 六間

拾八歩

五文

下々田 六間

拾式歩

三文

下々田 四間

拾六歩

四文

下々田 四間

拾式歩

三文

下々田 六間

式拾四歩

六文

壹反五七七歩

合田代百拾九文

上若柳小割帳へ入

弥太郎

下々田 式間

四歩

壹文

下々田 式間

八歩

式文

下々田 四間

八歩

式文

下々田 三間

六歩

式文

下々田 式間

四歩

壹文

下々田 四間

拾六歩

四文

下々田 四間

八歩

式文

下々田 式間 四歩 壹文

下々田 式間 八歩 貳文

下々田 式間 貳歩 壹文

下々田 式間 四歩 壹文

下々田 式間 八歩 貳文

下々田 式間 拾歩 三文

下々田 式間 三七歩 三文

田合三七歩 四拾四文

畑 三七歩 三文 安内

下々畑 式間 七七六歩 七文

下々畑 式間 六七歩 六文

下々畑 式間 同 弥五郎

下々畑 式間 四七拾貳歩 四文

下々畑 式間 貳七拾拾歩 三文

畑合七七貳歩 七文

畑合式反六七歩 式拾三文

一紙

一田合式反六七式拾四歩

此代式百拾貳文

一壹反五七七歩

此代百拾九文

一壹反壹七拾七歩

此代九拾三文

内八七拾七歩 六拾九文

野山田徳藏抱

三畝歩 式拾四文

弥太郎抱

一畑合三丁六反七畝式拾歩

此代三百六拾九文

一畑四反壹七式拾歩

此代八拾三文

明和四年御筈入

田合式反六七廿四文 式百拾貳文

之分上若柳村
小割帳ニ入分

式口合畑四丁九畝拾歩

此代四百五拾式文

一三丁八反六七式歩

此代四百式拾九文

内百五拾文

永荒ニ付寛政四年同村ニ被相廻分

但安永四年同八年御竿

入之分ニ而上若柳村ニ入

内八拾三文 安永四年

三百四拾六文 同 八年

一壹反三七六歩

但文政五年品々前同断
上若柳村ニ入

此代拾三文

一壹反式歩

但同年品々同断ニ而
下若柳村ニ入分

安永四年若柳村野山田御内新田御検地帳

同村御百姓御山守 善 助

帳札ニ 六 助

善右衛門与ニト
改ル

野山田 九間
下畑 拾三間 三七式拾七歩 八文

同 式拾間 此帳札長三郎
下畑 式拾八間 壹反八七式拾歩 三拾七文

此帳札

式七五歩 六助高
一四文 善右衛門

壹反六七拾五歩 長三郎

同 拾五間 九七拾五歩 拾九文

同 拾九間 九七拾八歩 拾九文

右式口 此帳札 六助

右畑合四反壹畝式拾歩 今八善右衛門与
改ル

此代八拾三文

此帳札式反壹七八歩 六助
代四拾式文 今八善右衛門

式反拾式歩 長三郎
四拾壹文

目錄番号四六三

若柳住居士通銘々

御知行高覺付附左二

十五番

安倍正之進

一七百九拾弍文

五番

及川官治

一四貫五百五拾八文

外二御扶持方式人分

一七百八拾八文

十四番

及川丹治

六番

吉田謙

一弍貫弍百五拾四文

外二御扶持方壹人分二三切也

一七百三拾八文

一番

小幡昌人

十五番

鈴木重兵衛

一弍貫百七拾七文

一番

米倉健左衛門

一七百弍拾五文

十四番

斎藤昌治

一弍貫百七拾壹文

五番

鈴木三郎左衛門

一七百拾七文

三番

須田富之進

一弍貫四拾七文

十五番

佐々木助七

一六百四拾壹文

十四番

牧野榮左衛門

一弍貫五文

四番

谷木新左衛門

一六百弍拾三文

五番

高橋喜代之進

一壹貫七百三文

十五番

笠神与平

一五百文

十一番

伊藤富吉

一壹貫四文

一八百四拾壹文

三番

飯倉弁治

一五百文

十五番

小野傳之丞

十一番

郡山八郎兵衛

一貳百九拾八文

十五番

坂野熊之進

一百七拾九文

一百七拾文

龜井友之進

一壹貫拾七文

郷六繁之助

惣高しめ 貳拾六貫八百貳拾七文

右之通御座候以上

米倉健左衛門

慶應三卯年

二月廿日改

目錄番号四六四

〔若柳村難洪御百姓調〕

上若柳山根通貧民共

持高并人数取調左二

人数拾八
一貳貫貳百七拾貳文

野山田
長太郎

壹圓殿様御分

七人
一五百五拾四文

萬之丞

右同断

三人
一壹貫貳拾五文

萬太郎

内五百貳拾五文

殿様御分

九人
一六百三拾貳文

長左衛門

壹圓殿様御分

六人
一五百六拾七文

用藏

右同断

七人
一壹貫四百三拾貳文

九助

右同断

四人
一壹貫百四拾三文

萱刈窪
龜之助

右同断

八人
一壹貫三百七拾三文

徳助

右同断

六人
一七百貳拾四文

谷地
卯右衛門

右同断

八人
一五百五文

上堰
寅五郎

右同断

一壹貫百三拾八文

〃
萱刈雀
榮三郎

内式百八拾式文

〃
殿様御分

一五百九文

〃
鹿合
榮作

右同断

一貳百五拾文

〃
養吉

右同断

一九百六文

〃
李兵衛

右同断

一六十七拾五文

〃
嘉蔵

右同断

一七百四文

〃
忠太郎

右同断

一五百七拾文

〃
民蔵

右同断

一
久蔵

右同人義殿様御分持高無御座
申候得共屋敷者御知行所ニ
御座候間御吟味被成下度分

一三百五拾七文

〃
圓太

右同断

一六百七文

〃
卯之松

右同断

一十四拾五文

〃
源蔵

右同断

一六百五拾七文

〃
市野々
忠左衛門

右同断

一四百八拾三文

〃
米蔵

右同断

一四百三拾文

〃
殿様御分
〃
巴の誤りか
之太郎

右同断

一六百六拾九文

〃
廣吉

右同断

一七百四拾六文

〃
長五郎

右同断

一三百式拾六文

〃
松五郎

内式拾式文 殿様御分

一壹貫百四拾三文

〃
浅右衛門

右同断

一五百四拾九文 〃 吉十郎

右同断

一四百拾三文 〃 千助

内三百三拾五文 殿様御分

一壹貫貳文 〃 文蔵

内八拾六文 殿様御分

一七百拾五文 〃 貞助

右同断

一貳百三拾三文 〃 長右衛門

右同断

一五百七拾四文 〃 弥平

内四百九拾七文 殿様御分

合三拾四人

右之通御座候已上

肝入 五四郎

卯 二月

丈左衛門様

上若柳里前分

人数六人 一七百九拾文 忠助

人数八人 一壹百五拾六文 多吉

人数八人 一壹百六拾六文 庄治

人数六人 一四百八拾四文 源八

人数五人 一三百貳拾六文 荣治

人数拾人 一五百六文 茂助

人数五人 一壹百四拾三文 権七

人数 一壹百四拾壹文 勇助

人数 一壹百七拾六拾七文 義右衛門

人数貳人 一六拾四文 勘之丞

人数三人 一六百五拾九文 丈吉

人数六人 一六百拾文 長五郎

人数八人 一壹百七拾壹文 善治

人数六人 一三百四拾四文 利物右衛門

山入

人数六人 一一百三拾七文 徳兵衛

人数拾人 一貳拾壹文 作十郎

人数九人 一六拾壹文 用助

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---------------|--------------|-------------|---------------|---------------|---------------|-------|-----------------------|----------------|-----|-----------------|-------------------|---------------------|---------------|---------------------|--------------|-------------|-----------------|
| 人数八人 一百拾壹文 | 人数八人 一貳拾三文 | 人数拾三人 一四文 | 人数八人 一拾文 | 人数七人 一六拾貳文 | 人数五人 一三拾貳文 | 人数六人 一三拾五文 | 一貳百四文 | 十五拾四文 人数七人 右八十左衛門父 | 人数拾五人 一五拾三文 | 一拾文 | 一六拾貳文 水吞正治分共 | 人数貳人 一四拾九文 万吉跡 | 人数四人 一六拾貳文 平右衛門分 | 人数拾人 一四拾九文 | 人数六人 一百拾三文 卯右衛門分 | 人数四人 一拾貳文 | 人数 一五百三文 | 人数 一壹ノ三百八拾九文 |
| 國太 | 弥右衛門 | 市助 | 永吉 | 虎吉 | 源治 | 鶴松 露奈 | 十左衛門 | 覚左衛門 | 留治 | 八郎治 | 平右衛門 | 卯右衛門 | 栄之助 | 熊五郎 | 助五郎 | 圓治 | 覚右衛門 | 万三郎 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--------------------|-------------------|-----------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|-------------------|-----------------|---------------|-------------------|--------------|---------------|-----------|-------------------|---------------|---------------|---------------|
| 人数 一壹ノ六拾貳文 | 人数拾貳人 一壹ノ三百三拾九分 | 人数七人 一壹ノ三百九拾貳文 | 人数七人 一貳百四拾四文 | 人数八人 一百四拾壹文 | 人数八人 一貳百五拾文 | 人数五人 一三百七拾四文 | 人数八人 一五百五拾三文 | 人数六人 一壹ノ五百五拾九文 | 人数九人 一貳百六拾七文 | 人数拾人 一五拾三文 | 人数貳人 一壹ノ五百六拾六文 | 人数拾人 一拾壹文 | 人数七人 一三拾貳文 | 人数 一五文 | 人数七人 一壹ノ貳百四拾六文 | 人数五人 一五拾九文 | 人数四人 一四拾八文 | 人数 一壹ノ六拾貳文 |
| 三之助 | 下若柳分 | 治太郎 | 与蔵 | 圓蔵 | 源太郎 | 長三郎 | 金右衛門 | 清作 | 勘之助 | 金之丞 | 大吉 | 善左衛門 | 与茂吉 | 徳兵衛 | 東作 | 四郎助 | 松五郎 | 万太 |

合八拾三人

一六拾五人 上

一拾八人 下

右之通難渋者共取調

如斯申上候已上

地肝入三而
肝入 丈左衛門

慶應三年 上若柳_{肝入}五 四郎

二月

熊田 惣吉様

(注) 慶應二年人数帳によれば、難渋(貧)百姓は、上若柳は一三九人頭中六五人下若柳は七一人頭中一八人。つまり上若柳46パーセント強、下若柳は25パーセント強ということになる。慶應四年人数帳と比較すると、人头数に増減はない。

何があったのか。『仙台市史・年表』によれば、この年、仙台藩からの幕府提出には、水害干害による損耗高五万八千六百三石余と。ちなみに前年の慶應二年も水害干害による損耗高八万六千三百石余と。

岩手県奥州市文化財調査報告書第二集

奥州市胆沢古文書資料集第二十七集

胆沢の古文書

若柳惣之町阿部家文書解読編二三（土地その四）

令和八年二月二十七日印刷

令和八年二月二十七日発行

編集・発行 奥州市教育委員会

岩手県奥州市江刺大通り一番八号

（歴史遺産課）

印刷 あべ印刷株式会社

岩手県奥州市水沢佐倉河字東広町六〇